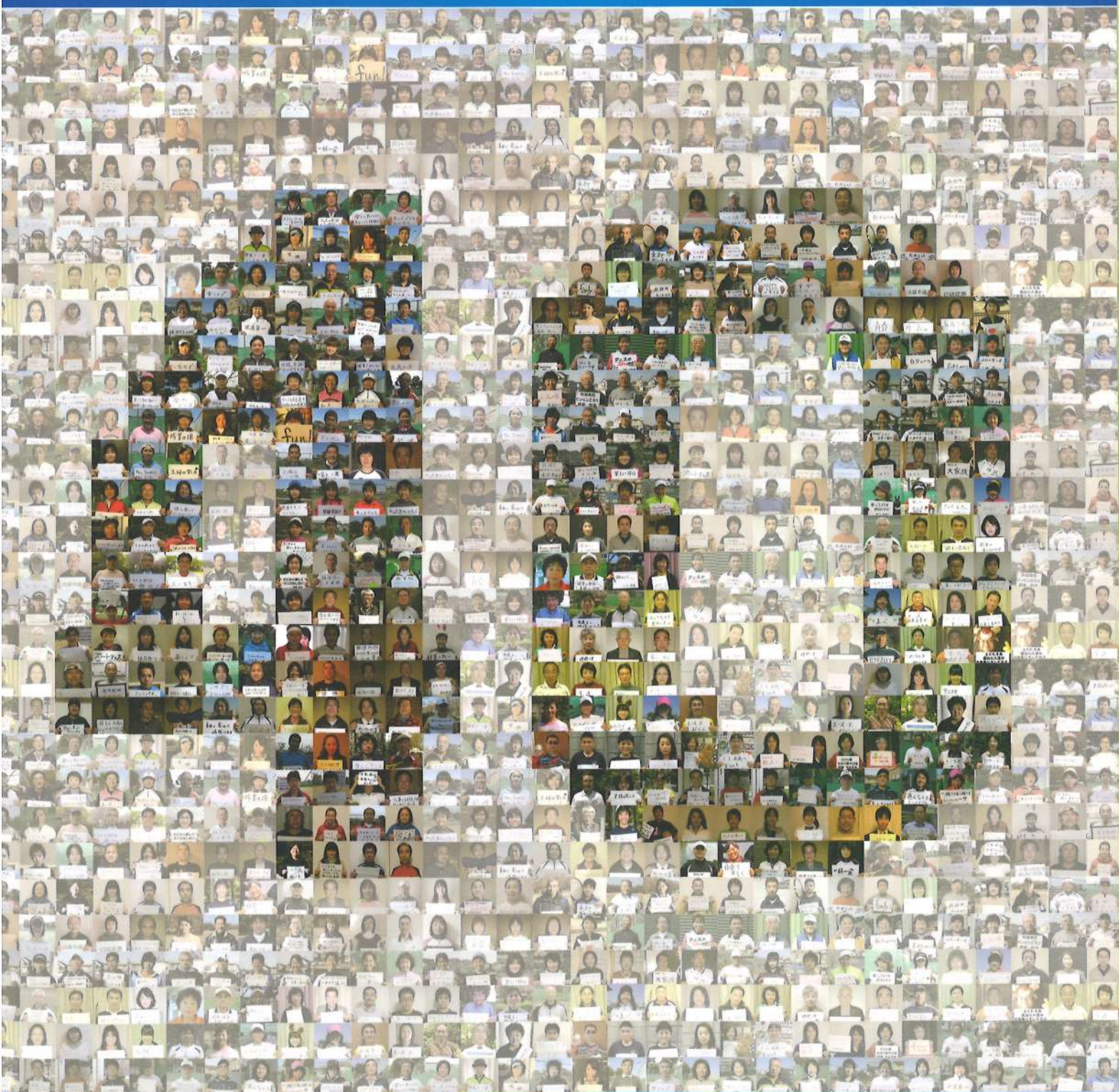


40年のあゆみ

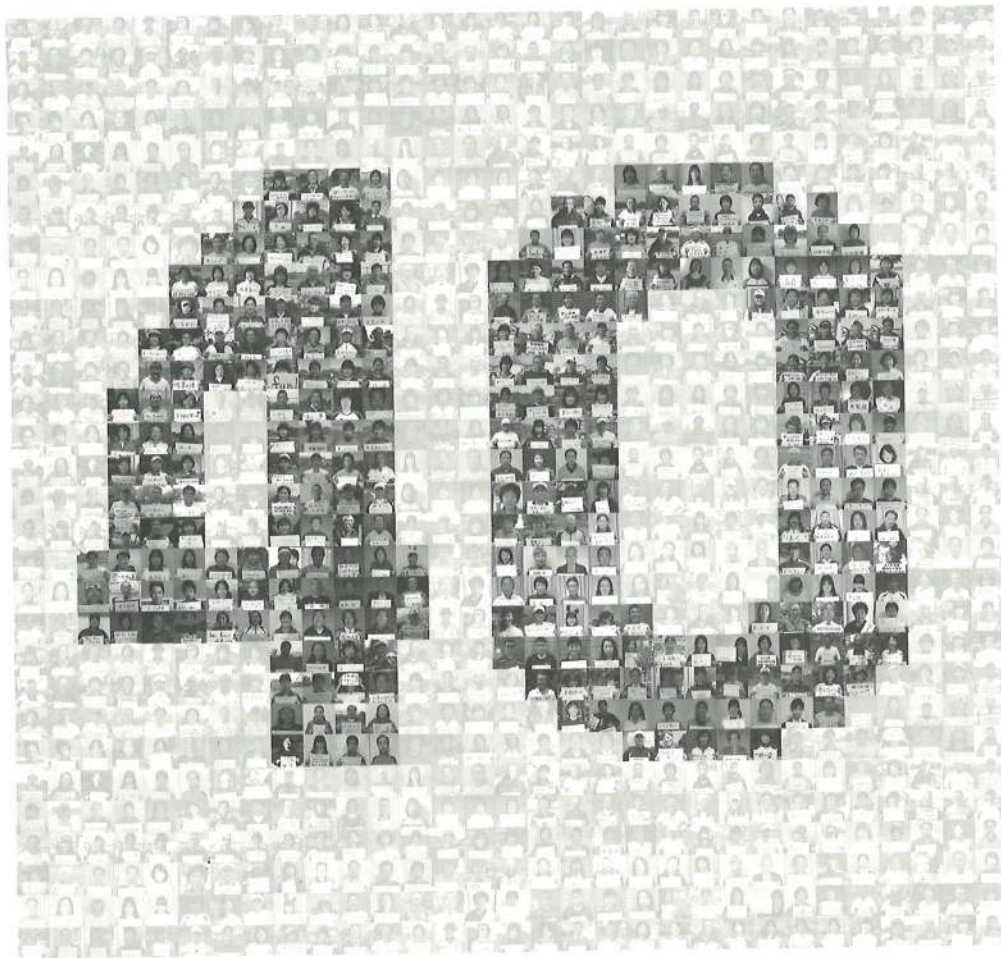
(1973年～2013年)



東村山市民テニスクラブ協議会

40年のあゆみ

(1973年～2013年)



東村山市民テニスクラブ協議会

巻頭言

東村山市民テニスクラブ協議会

会長 川路 俊一

東村山市民テニスクラブ協議会（市民テ）は、「体づくり・人づくり・街づくり」をめざし、テニスを通しての縁を大切に今年で創立40周年を迎える事になりました。この度、「40周年記念誌」を発刊できることを会員皆様と共に喜びたいと思います。東村山市体育協会、東村山市テニス連盟、柏崎テニス協会の皆さん方関係各位、並びに柳初代会長・松井前会長を筆頭に数多くの会員のおかげで成り立ってきた事に心より御礼を申し上げます。

この10年間の市民テの歩みを書いてみたいと思います。まず平成17年に久米川コートの改善について、全会員の協力のもと請願書を市議会に提出、その後平成19年から4年間久米川コート整備を受託、その受託金で「東日本大震災」の義援金を拠出しました。35周年（平成20年）記念事業では社会貢献の一環として技術部が中心となり東村山市体育協会の協力のもと「第2回テニスジュニア体験レッスン」を開催しました。

次に市民テにとって重要なコートの確保ですが、平成18年に市営コートが抽選予約システムに変わった為「コート取実行委員会」を発足させ6年経過しました。その後平成24年にその大変な業務を全会員に認知して貰う為「コート取部」を立ち上げました。又、市民テのホームページを平成17年から運用を開始しコート確保状況もいち早く会員に知らせる事が出来る様に成りました。コート確保という事から言えば10年前と比較して学校開放によるコート、ナイター練習会等が増加して十分な状況になっていると思います。市民テのイベントである「柳杯」は去年で第16回（16年）という歴史を築き市民テにとって立派な財産に成長しました。もう1つのイベントである「本井教室」は平成21年から学校開放の東村山西高等学校を利用する事となり、平成22年から市民テ全体のイベントという位置付けから参加料無料となりました。この様に10年間でも様々な変化がありました。これから先、いい事ばかりでなく色々な問題が発生すると思います。

初代会長柳さんが【皆で楽しむ為に皆で苦しもう】、前会長の松井さんは【市民テは1つである】と言っていましたが300名を越す市民テ会員が一致団結すれば社会貢献は基よりどんな難題でも解決出来る筈です。「言うは易く行なうは難し」と良く言われますが、1つ目標を掲げ達成したら次の目標に向かっていく事で更にすばらしい組織になっていくと考えています。時間も時代も決して止まってくれません。失敗を恐れず常にチャレンジして行くべきと思います。50年、60年・・・100年を迎える頃は時代名称が昭和・平成・〇〇と変わっているはずで歴史の重みを感じます。世代が変わっても市民テの原点を忘れずに引きついでいく事が明日へつながる事と信じています。

目次

巻頭言	協議会会長 川路 俊一	2
1. 40周年によせて		5
市民テ40年によせて	森 清吉	6
40周年によせて	本井 満	7
我がまちに「市民テ」産声、歩みだす	武谷 直也 (萩山クラブ)	8
松井さんの素顔	藤岡 信照 (青葉クラブ)	11
40周年記念イベント裏話	石原 啓五 (諏訪クラブ)	12
太田先生…思い出すこと	藤岡 信照 (青葉クラブ)	14
私と市民テ・創設40年の秘訣	山田 智靖 (栄 クラブ)	15
市民テでの出来事	河野 麻理 (栄 クラブ)	16
市民テとの出会い	河原 千秋 (美住クラブ)	17
私と市民テ・三世代にわたり	小嶋 まこと (諏訪クラブ)	18
僕とテニス	小玉 浩靖 (美住クラブ)	20
大家族	小泉 聡 (萩山クラブ)	22
ジュニア時代(過去)～現代～未来へ	松井 咲子 (萩山クラブ)	23
私にとっての市民テ	丸山 久留実 (美住クラブ)	24
テニスの楽しさ	崎田 実夏子 (栄 クラブ)	25
ジュニアスクール 3冊のノート	小桧山 隆 (萩山クラブ)	26
40周年おめでとう	松原 秀樹 (美住クラブ)	28
2. 特集 私にとっての市民テ		29
萩山クラブ		31
青葉クラブ		43
栄クラブ		53
諏訪クラブ		61
美住クラブ		73
3. 年度別会員名簿		83
4. 役員一覧		95
5. 年 表		99
6. 会 則		127
7. 編集後記		133

40th

東村山
市民テニスクラブ
協議会



1. 40周年によせて



市民テ40年によせて

東村山テニス連盟会長

森 清吉

森 清吉

◆1941年（昭16年）2月27日 東京都生まれ

◆法政大学卒

◆主な戦績等

1958年全国高校総体シングルス優勝（法政二高）

全日本ジュニア18歳以下ダブルス優勝、

1962年・全日本学生テニス選手権ダブルス準優勝（法政大学）、

元デビスカップ代表選手、アジア大会監督、1975～81年

日本デビスカップチーム監督（神和住、坂井、九鬼平井、福井を起用）

財団法人 日本テニス協会・国体委員長 ・東村山市テニス連盟会長

この度、東村山市民テニスクラブ協議会が発足40周年を迎えられることを、心からお祝い申し上げます。

30周年記念誌（30年のあゆみ）が刊行されてから、すでに10年が経ったようです。歳月の速さへの感慨以上に東村山市民テニスクラブ協議会が素晴らしく発展充実されていることに、心からの敬意を覚えております。

全国的に見て、こんなに小さい市で、こんなにテニス愛好者がテニスを通じて団結しているところが他にあるだろうか、時に驚異の念すら感じております。

これは、初代会長柳利夫氏（故人）のテニスに対する人一倍の情熱と二代目会長松井貞二氏（故人）の「全員は一人のために、一人は全員のために」とテニス仲間を広げて「人づくり、街づくり、を目標」というスポーツ精神が川路俊一会長以下、役員全員に引き継がれているからです。その間、さまざまな困難を克服しながら、テニス普及・発展にもなみなみならぬ努力を重ねられました。

東村山テニス連盟としても大変喜ばしいことであり心よりお礼申し上げます。今後は、皆様方の技術向上は勿論のこと、たくましく健全なテニス愛好者の育成のため、ご助力を賜りますようお願い致します。

終わりに、東村山市民テニスクラブ協議会が、この10年を1つの契機とされ、さらに大きく飛躍発展されますようお祈りし、お祝いの言葉といたします。



40周年によせて

本井 満

本井 満

◆1941年（昭和16年）8月29日 大阪府八尾市生まれ

◆関西学院大卒

◆主な戦績等

全日本選手権 単準優勝（1964年）／混合優勝（1973年）

デビスカップ 1965年出場／シングルス1勝0敗、ダブルス1勝0敗、

全豪（1965年／最高1回戦）

63年太田監督の下ユニバーシアード競技大会単銅メダル、複銀メダル

元デビスカップ代表選手・元デビスカップ代表監督・元フェドカップ代表監督

ロサンゼルス五輪（公開競技）、ソウル五輪代表監督

太田芳郎氏からの信頼厚く、太田教室の助手を依頼され、それが現在の
本井教室へとつながった。

第1回本井教室は、1979年（昭和54）8月に開催（年表による）、本人が
病気のため中断時期もあったが、今年（2013年）も開催された。

東村山市民テニスクラブ協議会が創立40周年をお迎えになられましたことを、心からお喜び申し上げます。

20年、30年、40年と節目にはいつも会員の皆様が、それまでの活動や運営の思い出を語り心からの祝杯を上げ、さらに次の節目に向かってどのように進めていくべきかエネルギーに討議される素晴らしいサークルだと常々敬服しています。

私と「市民テ」と初めての出会いは、なんと1978年に開催された第3回指導者教室に講師として参加させていただいたときに溯ります。

当時、名誉会長だった太田芳郎様（故人）は、学生時代にユニバーシアード（世界大学生協議会）の選手としてブラジル大会に出場した時のチーム監督で、かつ私のテニスの大師匠でした。その太田先生から東村山市で実に楽しい雰囲気のコートがあるのだから一度来るようにとお招きいただいたのです。以来、45歳（現在72歳）のとき脳腫瘍の手術で欠席した1年を除き続いています。そして、ある時には私が皆様に説明している背後から「うん、それは正しい！」との先生の大きな独り言と「私の緊張」、受講生の大笑いといった和気あいあいの楽しいひと時もあつたりの、大変ハッピーな気持ちになる教室でありました。

これも、一重に歴代会長や、幹部、技術部の方々の温かいサポートのお蔭と感謝しています。とくに初代会長の柳様（故人）のユーモア溢れる明るい毒舌と底抜けの優しさ『スマンナ！』の一言はいつまでも忘れることができない思い出です。10年前の30周年にも拙文を書かせていただきましたが「市民テ」は、さらにまた一歩前進されているように感じています。

仕事柄あちこちのテニスの会やサークルの方々とお会いする機会が多いのですが、「市民テ」のように組織が確りしていて、運営の精神（心）を明確に示し活動されている会は数少ないのではないのでしょうか。松井前会長が述べておられたように、ただ単にテニスをする為に集まるというだけでなく「テニス」を通して「健康づくり、人づくり、街づくり」を目指すことが大切だと。これは、まさしく発足当初の全ての幹部、メンバーの熱い心が脈々と引き継がれている証だと思います。

どうぞこれから5年、10年をターゲットに「市民テ」活動のさらなる隆盛とご発展を、心からお祈りしています。

40周年を顧みて 『我がまちに「市民テ」産声、歩みだす』

萩山クラブ 武谷 直也

はじめに

1973年5月3日、久米川駅東住宅の一人のテニス愛好者の呼びかけで「東住宅テニスクラブ」（以下、「東住ク」）が発足してから今年で40年になりました。

設立総会時の会員は6名でしたが6月の名簿作成時には25名に増え、その後も毎年入会者は後を絶たず今日に至っております。

しかし、この間、他市への転出、逝去などで数多くの退会者もあって、今日では設立からの会員は筆者1人になりました。このような現状から、この度40周年記念誌発行に当たり発足から数年の「市民テ」の活動を記して欲しいとの依頼がありましたので、当時の活動の様子が今後の「市民テ」の活動にいくらかは役に立つのかなと思いつつ執筆を引き受けることにしました。

当時のわがまちのテニス環境

「市民テ」設立の頃は、ソフトテニス（当時、軟式庭球）の愛好者は市民クラブを組織して練習会を定期的に行っていましたが、テニス（当時、硬式庭球）は民間企業数社のテニス愛好者が企業内で部活動としてテニスをしていたに過ぎず、市民のためのテニスクラブも民営のテニスクラブもありませんでした。1962年に体育協会に加盟していたソフトテニス連盟（当時、軟式庭球連盟）は既に春秋の市民大会を主管していました。

テニス連盟（当時硬式庭球連盟）は1970年に設立され、同時に体育協会に加盟し、春秋の市民大会を主管していましたが、「市民テ」が1973年にテニス連盟に加盟してからは春秋の市民大会の種目の充実を図るとともに、都民大会の選手選考も行うようになりました。

「東住ク」が結成されるとほぼ同時に恩多運動公園に3面のテニスコートが建設されました。スポーツを通じてまちづくりを目指していた市がこれを機会に市民を対象にテニスの初心者教室を開催し初めますと、これが毎回毎回大盛況のありさまでした。受講者は大半が東村山市のいわゆる地の人ではなく、他市からの転入者ということもあってか、教室の大勢の卒業生はこれを機会にテニスの継続、そしてテニスを通じて仲間づくりを希望していることがアンケートで分かりましたので、この要望に答えようと、教室の指導を買って出ていました「東住ク」の門戸を開き希望者を全員会員として迎えることにしました。

その結果、会員が膨れ上がり運営上の便宜から「東住ク」から恩多町に住む会員を中心とした会員を分離し「恩多テニスクラブ」（以下、「恩多ク」）を1974年に新設し、両クラブで現在の「東村山市民テニスクラブ協議会」（以下、「市民テ」）が結成されました。ちなみに、この年に東村山市は多摩地域で初めて「スポーツ都市宣言」を行っています。

翌年、1975年には「本町テニスクラブ」（以下、「本町ク」）が、1979年には「美住テニスクラブ」が新設されました。

歩み始めた「市民テ」

「市民テ」の日常業務は、まず練習日の土曜日、日曜日のテニスコートの確保とその結果の会員への案内です。発足当時はソフトテニスの空きコートを使用するのが精一杯でしたが、一時期コートの申し込みが受付順となったときは、マンパワーでコートの確保のために早朝4時頃から受付窓口の運動公園管理事務所に列を作るという時期もありました。この事態を改善するためにソフトテニス連盟および市の体育課との話し合いの結果、「市民テ」も一定のコートが定期的に確保できるようになり、これまで確保できた時間帯などを随時「東住」の自治会の掲示板に案内を出す必要もなくなりました。

増加の一途をたどる会員の練習会をどう運営するかが大きな課題となり始めたとき、相対的にテニスの技術のある会員が定期的に初心者を対象にテニスの技術を指導することになりました。そのために指導者の集団として技術部が設けられ、指導体制ができてからは会員の多くがよりテニスを楽しむようになりました。

責任のできた指導者は、自らのテニスの技術を磨くと同時に指導方法を学ぶために、外部の指導者にその教を求めました。一例として当時「いつでも」「どこでも」「だれも」がスポーツのできる環境づくりをモットーに全国で活動していました「新日本体育連盟」に加盟し、そこでのテニスの指導者教室に参加し自らの技術の向上を図ると同時に指導方法を学んできました。

先述のように、会員の増加に伴うクラブの新設で連絡等は相当便利になったとは言え、「市民テ」全体の会員相互の結びつきはやや希薄になって行く傾向に少しでも歯止めをかける意味から、「東住ク」と「恩多ク」とが出来た時点で、両クラブを包括する「市民テ」の機関紙として「ガット」を発行することにしました。

1975年3月の創刊号から1976年4月まではほぼ2ヶ月に一度の発行でしたが、毎回の定期練習会に参加できない会員にとっては「市民テ」の活動を身近に知ることのできる一助になりました。今日のように月刊紙になったのは広報部が確立した1978年からでした。

ここで「ガット」のいわれに触れておきます。今日ではラケットに張られている糸（ストリングス）はナイロンなどの合成繊維のものが一般的に使用されていますが、昔は牛や羊などの腸を加工、撚って糸状にしたものが使用されていました。これが本物のガットと呼ばれるもので大変高価でした。

我々が「市民テ」は本物だということです！ラケットのフレームはクラブを象徴しており、貼られたガットは縦横35本、そのガットはがっちりと支えあった会員を象徴していて、一クラブの構成人数は40人程度がいいのではとの意味も込められていました。

そのほかにも会員同士の絆を大切にしようとの思いから、バスを仕立ての毎年の各クラブの合同夏合宿、様々な趣向を凝らした暮れの忘年会などを催し「市民テ」の全会員の親睦が図られるように心がけました。

目的を持って結成された組織は、会員及び入会の呼びかけなどのためにその目的や決まりを成文化しておく必要があります。「市民テ」では会則です。この会則は地域サークルでは珍しく前文がありますが、これは我が国の憲法に準じて書き入れたものです。そこにある「皆は一人のために」「一人は皆のために」及び「みんなで決めてみんなで実践」は、クラブの自主的・民主的な運営を言い表しています。この精神が会員にしっかり浸透している限り、これからも「市民テ」が市民に定着し、発展することは間違いないことでしょう。

おわりに

組織が一定の軌道に乗るまでは、牽引車の役割を担う幾人かの人物およびよき理解者がいるものです。「市民テ」においても例外ではありません。そのような人物から二人に絞って紹介しておきます。

その一人は、「東住ク」の生みの親であります柳利夫氏（1997年、享年65歳）です。氏は当時、ある出版業界の役員をしていますが、東住宅の自治会活動にも熱心な方で「東住ク」も自治会活動の一つとして世話役を買って出たというわけです。といいますのも、テニスを趣味にしていた氏は、週末には三鷹市にあった出版業界のテニスコートまで出向いてテニスをする有様でした。これをなんとか近場でできないものかと東住の住民に呼びかけ「東住テ」を組織しました。いきさつ上、初期の頃は、練習コートの確保のために、体育課との交渉およびコートを優先確保していたソフトテニスのクラブとの話し合いなど渉外活動にほとんど一人で昼夜を問わず奔走していました。

当初は、確保されたコートの情報も自治会の掲示板にその都度掲示するとともに、行き渡らない会員には電話連絡などで周知を図っていました。このような献身的で地道な活動と会員の協力が実って、土曜日、日曜日、祝日の練習コートの一定の面数と時間帯が確保できるようになりました。これで「市民テ」が地域テニスサークルとして定着できる見通しがついたと言えます。

次に良き「市民テ」の理解者であると同時に、良きテニスの指導者でもありました「市民テ」の名誉会長太田芳郎氏（1994年、享年94歳）について触れておきます。氏は新潟県柏崎市の出身で、東京文理科大学卒業後満州鉄道に就職し、昭和の初期にそこからテニスの日本代表として主にヨーロッパに派遣され、各種のテニス大会で活躍されるとともに、デヴィスカップ代表選手としても活躍されました。終戦後は満州から引揚げられ東村山に居を構え、大学で教鞭を取られる傍ら日本テニス協会の要職に就くとともに当市の初代の教育委員長を10年、当市の初代の体育協会の会長を10年間務められました。このような経緯から、当市の体育協会と柏崎市体育団（現在、柏崎体育協会）が姉妹関係（現在は、姉妹都市）を結ぶことになり、民間人による両市のスポーツの交流に大変貢献されました。要職から身を引かれたのを期にテニス連盟の会長をお願いし、引き受けていただきました。

これを機会に、姉妹関係として実質的な両市の体育団体の交流を図るために、体育協会の加盟会員で初めて東村山市テニス連盟と柏崎テニス協会が太田杯を冠に頂いた親睦対抗戦を毎年（11回以降、2年おき）定期的に開催すると同時に、市内のクラブの育成を図るためにクラブ対抗戦として太田杯争奪市内団体戦も実施してきました。

氏は東村山市を第二の故郷としてこよなく愛されたからこそ、できた組織は簡単に壊してはいけないとの信念もあって、「組織は小さく産んで大きく育てよ」をモットーに私たちに指導してくださいました。今日の「市民テ」は正にその精神を受け継いできたと言えるではないでしょうか。

ちなみに、氏は上記の功績が評価され1991年に初めて東村山市議会から『東村山市名誉市民』の称号が送られています。

願望として最後に一句添えて筆を置きます。

☆☆☆ 「市民テ」に出会えて我がまち故郷に ☆☆☆

松井さんの素顔

青葉クラブ 藤岡 信照

1992年以降柳さんに継いで会長を務められた松井貞二さんは、現在の市民テの基礎をしっかりとしたものに築き、展開していかれたと思います。話好きでことある毎にお酒を飲みながら積極的に会員との交流を進められてきた松井さんには色々な側面がありました。思いついたまま書いてみました。

・髪の長い女性

意外に思われるかもしれませんが、彼は女性は髪の長い人が好きだったようです。娘さんが小さい頃髪を切ろうとすると、いい顔をしなかったと聞いています。

・奥さんとのダブルス

とにかく運動神経の優れた人だったせいか、走り回るのが大好きでした。特に奥さんと組むダブルスの試合にはハッスルしていました。コート³/₄は自分を守るものだと決めていたようで、奥さんの「オトーサン」という声にハッスルして走り回り、拾いまくっていました。そしてそれがとても楽しそうでした。

・合宿

体を動かすことが好きなので合宿にはよく参加しているようでした。市民テだけではなく学校のそれにも参加して、若い人を相手に「皆がバテているのに最後までやっているのは自分だ」と言っていました。市民テの合宿も同様に一番最後にコート³/₄を去るのを常としていました。

・お酒

弘前出身のせいかどうかは分かりませんが、とにかくお酒は好きでとても強かったです。少し酒が入った方が良いショットができると信じている所がありました。会議なども少し飲んだ方がいいと言って、「酒が入る会議はだめだ」と言う私と対立していました。

・生徒

建築を教えていましたが、生徒の事を一番よく考えていましたし、建築の教科書改訂には積極的に参加したと聞いています。昨今学校が管理教育の方へ傾いていく方向に強い怒りを持っているようで、声高ではありませんが、よくそのことを話していました。

・年賀状

松井さんは会長就任から毎年「ガット」の新年号に年賀状を投稿されていました。全部を読み返してみました。共通している主張は「一人一人の協力が必要」ということです。これだけ沢山の会員がいて、各々年代、性別、職業等々が異なるが「テニスをしたい」という気持ちだけで繋がっている市民テの発展のためには彼の主張がとても大切でこれがないと成り立たないと感じました。

・市民テ会則前文

市民テの柱となっている「会員は一人のために、一人は全員のために協力します」という会則前文が好きで事ある毎に、話したり、書いていました。自身誰もがあまりやりたくない会長の役割を長い間勤められた事に前文への彼の実践があると思います。

40周年記念イベント裏話 ～コートが無いじゃん～

40周年記念イベント実行委員長
諏訪クラブ 石原 啓五

激しい振動と、黄色の閃光が僕を襲った。芝生に朝露の残る、心地よい晩秋の昼下がりに、違和感を与える振動と光は“良くない”知らせであると瞬時に感じさせる。黄色の光の下には、小さな光が右から左に流れている。その流れは“良くない”ではなく“悪い”知らせである事を暗示させた。

それは、クラブ会長からの電話だった。
「40周年の実行委員をやってくれない」
久米川コートのボールの数以上に、断る理由は沢山有る。
『35周年もやったし・・・』
「そうだよ～ね。その経験を生かしてやってくんない」
『最近、土曜日にも仕事に出る事が多くてさあ・・・』
「そうだよ～ね。そこをなんとかお願いできないかな」
『少しの間、市民テの役職から離れたいんだけど・・・』
「そうだよ～ね。それを承知でお願いできないかな」
『・・・』 沢山有るはずが・・・。

うちの会長は、説得がうまい。いつの間にか実務の話になり、第一回の実行委員会に出席する事になってしまった。さらに“悪い”予感 は 現実へと向かって行くのであった。

後日、実行委員に招集がかかり、最初に役員選出の話し合いが行われた瞬間“悪い”予感 は さらなる現実味を帯びてゆく。委員の視線が僕に集中するのだ。程なく、実行委員長を仰せつかり、イベントの概略、日程、会場について話し合いに入ってしまった。

経験豊富で優秀なメンバーから、活発な意見交換が行われ、次々に概略が決まって行く中、肝心要の「会場が確保できていない」と運営委員より話があり、民間コートは「確保できていない」ではなく「できない」状況であることがわかりました。

さてさて・・・。コートのない、テニスイベントなんて話になりません。市営コートを使うにしても、久米川・恩多の両方を使うのか、恩多だけ、久米川だけを使うのか。そもそも、2・3面しか確保できなかったらどうするか等、不確定要素が多過ぎて、市営コートではイベントはできないのではないかと、意見もありました。

しかし、前向きな実行委員のみなさんは「最大限コート確保に努めて、確保した面数に応じてイベント内容を考えましょう！」と満場一致で、市営コートでイベントを開催することが決まりました。

(実は、コートの確保面数がわからない状況では、イベント内容も検討できません。5月上旬まで、実行委員会は3ヶ月間お休みにになりました)

お陰様で、20分の19コマ(95%)のコート確保することができましたが、イベント開催まで2ヶ月しか有りません。早速、試合形式・チーム編成・チームわけの方法、記念品・お弁当・飲み物等の手配、余興の準備を進めました。実行委員のスキルと行動力でイベント内容、タイムスケジュールは瞬く間に決まって行きました。

ただし、この話は“悪い”予感から始まっています。そうです。お天気です。雨の場合、誰が、何時に中止の決断をするか、実行委員長である私が、最後に重い決断を下さなければならないのです。中止になったら、まして、中止にして天候が回復したら、イベントを楽しみにしていたクラブの方たちと、実行委員をがっかりさせることになります。これほど、週間天気予報を見たこ

とは無かったと思います。

幸い、当日は夕方まで雨の心配無し！段取りの悪さもありバタバタしましたが、参加いただいたみなさまにご協力いただきながら、無事に全てのスケジュールを消化することができました。イベントが終了し、後方付けが終わった頃、強い雨が降り始めました。私の“悪い”予感雨に流され、良い思い出だけが残るステキな1日になりました。

最後にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

◇参加いただいたみなさま、ご理解・ご協力ありがとうございました。

◇参加できなかったみなさま、今回の経験を後進に伝え、より良いイベントが開催できるようにいたします。次の機会は是非、参加して下さい。

◇運営委員のみなさま、コート取り、連絡等、実行委員を支えていただきありがとうございました。

◇実行委員のみなさん、お疲れさまでした。最高のチームでした！

♡♡♡ 市民テ最高！感謝！♡♡♡

豆知識

各クラブの創立と変遷

私たちの東村山市民テニスクラブ協会は、1973年（昭和48年）5月3日、故柳利夫宅に集まった、塚村昌治・川見栄・若林愛子等を含む6名によって、“東住宅テニスクラブ”＝通称『東住クラブ』として旗揚げされたものです。（「10年のあゆみ」年譜から 以下は各クラブの創立及びその変遷である。

年・月・日	クラブ	町・地域
1973年 5月3日	東住クラブ創立	東村山市全域
1974年11月15日	恩多クラブ創立	恩多町
1975年10月	東村山市民テニス協議会創立	東住クラブ・恩多クラブ
1975年12月1日	本町クラブ創立	本町・栄町・久米川町
1977年9月23日	青葉クラブ創立	青葉町・秋津町
1979年3月10日	美住クラブ創立	美住町・富士見町・野口町・廻田町・多摩湖町・諏訪町
1989年10月	東住クラブ廃止 恩多クラブに統合	恩多町・萩山町
1991年12月8日	諏訪クラブ創立（クラブ再編）	諏訪町・久米川町・野口町
1992年 1月1日	萩山クラブ創立・本町クラブ（クラブ再編）	萩山町・本町・栄町
2006年 1月1日	栄クラブ創立（クラブ再編）	栄町・富士見町
2006年 1月1日	諏訪クラブ（クラブ再編）	諏訪町・久米川町・野口町・本町（転入）
2006年 1月1日	萩山クラブ（クラブ再編） 恩多クラブ廃止	萩山町・恩多町（本町・栄町・久米川町転出）
2006年 1月1日	美住クラブ（クラブ再編）	美住町・廻田町・多摩湖町（富士見町・野口町・諏訪町転出）



太田先生…思い出すこと

青葉クラブ 藤岡 信照

市民テの名誉会長を務められていた太田芳郎先生が亡くなられてもう17年経ちます。先生に会ったことのある市民テの人も少なくなりました。そこで少し思い出してみました。

先生は筑波大学（元教育大学）で長く教鞭をとられただけあって、人を差別したりすることが大嫌いで、若い人の意見もジックリ聞くという姿勢を貫かれていました。嫌いなものは「かんおけ、カラオケ、デカラケ」と韻を踏んで言われていました。

私が市民テに入ったときにはまだ太田先生も良くコートに出ておられ、時にはダブルスの試合もされました。相手の組が太田ペアだと皆少し遠慮して早いボールを送らないようにしていましたが、先生は「私はもうあまり走れないけれどどんな早いボールでも大丈夫だから遠慮しないで」と言われていました。確かに先生の近くにいったボールは見事なボレーで返しておられました。

太田先生の家は萩山にあり（今の久米川病院の通り）、時は覚えていませんが、市民テの家族数十人でご招待を受けたことがあります。子供も連れて来てということだったので、我が家も小学生のチビを連れてうかがいました。広い庭の中に池がありそこに沢山のオタマジャクシがいて、子供たちは大騒ぎをしながらそれを捕っていました。そばで太田先生がお酒を飲みながら、にこにこして見ておられました。

また1980年8月に北軽井沢にある先生の別荘への招待があり、時間があつた5人で参加しました。（柳、武谷、阿辺川、儀間、藤岡）車で鬼押し出しをすぎた直ぐの所がありました。五右衛門風呂だったことと、朝起きると外へ出て谷間に降りて行き、そこに流れている清流を使って歯磨きしたことを思い出します。コートも確保して頂きテニスをした後に、丁度1975年にウィンブルドン女子ダブルスで優勝した沢松（現吉田）和子ファミリーが来ており、太田先生に「あら先生」と言って近寄って話しかけられました。思っていたよりずっと背が高かったことと、一緒に写真を撮ってもらった思い出があります。

私が数年続けていた青葉クラブ会長を交代する時、冗談でガット（1991年6月号）に「長期独裁政権崩壊の真相」という記事を書いたことがありました。丁度その頃体調をくずし入院されていた太田先生を御見舞いに行ったところ「藤岡君何か困った事をしたのか」とまじめに心配をかけてしまいました。ガットはちゃんと読んでおられるのだなと思いました。

先生の葬儀は長坂斎場で行われましたが、少し前まで活躍していた九鬼潤、沢松和子、遠藤愛や多くの筑波大学生が参列され、若い人達が柩を担いだのが印象的でした。

市民テの創設期にはこのような人がおられたと言うことが現在の発展の礎になっていることを誇りにしたいと思います。

私と市民テ・創設40年の秘訣

栄クラブ 山田 智靖

市民テ、40周年おめでとうございます。

私が市民テに入会したのは、30周年の翌年だからちょうど10年目になる。ほとんどテニスをしたことが無かった私は、最初の年、スクールに入り、10年経ってもまだスクールにお世話になっている。技術部の方には感謝してもしきれない。一向に上手くならないのでまだ卒業できないのだが、市民テのいいところは下手な私でも楽しくプレーさせてもらえるところだ。コートに立てば民間スクールとは違い、試合中でも優しく厳しく諸先輩がアドバイスをしてくれる。

プレーだけではない。テニスで足の爪が何度も剥がれる話をしたら、靴下を2枚履くとよいとアドバイスされ、その後は全く爪を痛めることがなくなった。擦り傷した時も、「3日間は剥がすでわないぞ」と、親切にテープを貼ってくれる先輩。親切なだけでなく、昔はコートに来たら自らコート整備をしたものだが、今はすぐプレーしたがる苦言を呈す。コートマナーやらいろいろと教えてくれる、そんな温かいクラブである。

久米川コート以外の思い出もある。2年目、旧萩山クラブが忘年会担当だった時のこと、クラブ会長宅でイベント内容を検討した。巨泉のクイズダービーを模して「市民テ・クイズダービー」をやった。本番前に、持っていったPCプロジェクターが壊れ、隣の東村山警察署にプロジェクターを借りに行ったのが今でも思いだされる。

翌年、クラブ再編成で新たにできた栄クラブになったが、この年から事務局次長、局長を4年間務めることになる。

諸先輩方々に指導されなんとか無事に期間を全うできた。収入があるわけでもないのに、自宅で遅くまで市民テの残業を行い、深夜までメールが飛び交い、会社にもそのやり取りが入る。こんな仲間達が支えてくれているからこそ、40年という長きにわたり一市民団体が継続できているのだと思う。老若男女がテニスを楽しむところ、そんな環境をつくってきたのは諸先輩が同じ意思で行動してきたからだと思う。初代会長達が制定した会則「前文」は市民テの精神を表している。「全員は一人のために、一人は全員のために協力します」。この精神があればこれからも50年、60年と続いていくと、40周年を迎えた今あらためて思う次第である。

豆知識

公益社団法人東村山市体育協会

創立 1964 (昭39) 年

目的：体育・スポーツの振興及び市民の体力向上と健康の増進並びにスポーツを通して市民相互の融和を図る等々、東村山市がめざす「緑あふれ くらし輝く都市 東村山」の実現に寄与する。

組織：軟式野球連盟をはじめとする競技団体（23団体）と、武道系の剣道連盟など（9団体）や民踊連盟などのレクリエーション団体（7団体）等々、スポーツを愛好する市民団体（全39団体）が集い、12,300余名を擁する大きな組織である。

活動：現在、当体育協会は市との共催事業である「市民体育大会」や「みんなで走ろう会」をはじめ、市民スポーツの振興育成を推進するとともに、市民の融和を図るための諸事業を展開し、平成12年度には市から受託を受けてスポーツ教室事業等を主催実施。

市民テでの出来事

栄クラブ 河野 麻理

市民テニスに入会して早8年がたちました。入会当初は知っている人もあまりいなくてコートでも人見知りしていましたが、皆さんによくしていただいて、たくさんの知り合いができました。市民テニスに入って本当によかったと思っています。

今回、40周年ということで原稿をお願いされましたが、「このあいだ、『私とテニス』の原稿を書いたばかりだし、ネタがないなあ、何を書こうかな？」と迷った結果、今までのテニスに関する出来事を振り返ってみることにしました。

★テニスでの反省点、失敗、珍プレー編

- ・ふくらはぎの肉離れ3回。もうあの痛さは経験したくありません。
- ・最後までボールを見過ぎて、ラケットではなく眼にボールをあてたこと2回。みんなは「大丈夫？」とかけよってきてくれるけど、けっこうはずかしいです。
- ・超チャンスボールをスマッシュして隣のコートに打ち込んだこと。敵も味方も哑然…隣のコートの人もビックリですよ。
- ・ポーチに出て空振り（結構ある）。
- ・シングルの試合中、「オーライ、オーライ」と言いながらボールを打ったこと。「誰に言ってるの？」と周りの人も不思議に思ったことでしょう。
- ・当たりそこないand思いもよらないショットが決まってしまうこと（数知れず）。「今のは狙ってうちました！」と言えるようになりたいですね。
- ・正面にボールが来たら思わずスッとよけてしまう。よけないで打たなきゃだめでしょ？…なかなかボールへの恐怖心が克服できません…。
- ・日中テニスを頑張ると、夜テニスの夢を見てしまう。そうすると右腕がバサッ、バサッと動いてだんなの睡眠を妨害。一応私も目が覚めますけどね。

★テニスの腕前は？

- ・目に見えて上達するわけでもなく、とりあえず現状維持？いや、体力が落ちた分マイナスかも。
- ・小さいころからかけっこは得意でしたが、テニスの場合「よーい、ドン」の合図がないため走り始めるタイミングが難しい（こんなこと考えるのは私だけでしょうか？）。走りだしが遅れる分、コート内をやたらと無駄に走り回っているような気がします。

★飲み会

- ・途中から記憶がない（これも数知れず）。さすがに最近はないかな？

★その他

- ・医療相談を受けることが増えた。コートに行くと1回は必ず相談を受けます。麻酔のことだったら答えられるけど、他のことは答えに詰まることも…。家に帰ってから本で調べたり、勉強し直したりしています。ハハハハ…
- ・多種多様な人たちと友達になれるのがいい。仕事だけでは得難い経験です。まだまだいろいろありそうですが、こんな感じで長くのんびりと楽しくテニスをやっていけたらと思う今日この頃です。

市民テとの出会い

美住クラブ 河原 千秋

市民テニスクラブ創立40周年おめでとうございます。40年の歴史は長いですね。

40年前といえば……私が何歳の頃だったとは言えませんが、世の中フォークソングが流行していて、ユーミンやかぐや姫が大好きだった私は、フォークソング部に所属し、毎日ギター片手に歌い自己満足の世界に浸っていました。

そんな青春時代を送り、就職してすぐに会社のテニス合宿に誘われて参加したのがテニス初体験でした。ボールを打てばホームラン！少し走ればすぐに息切れ。帰宅した翌日は全身筋肉痛で、ふつうに歩けない程でした。スポーツとは無縁だった私には、楽しさより疲労しか残らない体験でした。

でもそれがきっかけで、テニスをする機会は少しずつ増え、結婚してからはテニス好きな夫の影響で、近所のご夫婦や親戚、時には幼い息子たちと週末にテニスをして遊んでいました。

その後、子供が小学校のサッカー部に入ってから、毎週末のように試合の応援に行くようになり、テニスとは少し離れていました。

子供が中学に入り親の手が離れた時に、サッカー部で声援を一緒に送っていたあるご両親から、市民テニスクラブに入らないかと誘って頂き、夫と共に市民テニスクラブに入会させて頂いたのが、もう10年程前になります。

市民テに入るとすぐに、土・日は久米川コートに通い始め、行けば皆さんと6ゲーム先取の試合が楽しめる。なんと幸せな事！と感じていました。しかし、なかなかゲームで勝てません。それから上達したい一心で、平日もコートを取り、テニススクールに通い、まるで学生の部活のようにテニスに打ち込みました。

美住クラブの練習会では、色々な方に球出しをして頂いたり、ポイントを取るためのアドバイスも頂いて、とても為になりました。

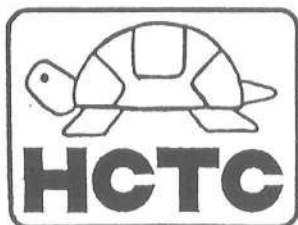
最近、年々身体がきつくなってきていますが、テニスは私の元気の源です。市民テニスクラブに入った事で、こんなにテニスに夢中になり、また、テニスを通じてたくさんの方々に出会え、私の人生を豊かにしてくれました。市民テニスクラブおよび市民テニスクラブの皆様方に感謝いたします。

豆知識

シンボルマーク：亀の由来

創10周年事業の一環として公募され、複数案の中から「みんなで仲良く・のんびりと」テニスを楽しむ市民テのイメージにふさわしいと選定された。デザインは東住クラブ（当時）の笹野井さん。

亀のマークにはゆっくり確実に歩むという教訓も含まれているようだが、まさに市民テにピッタリのマークになっている。会員名簿やガットに掲載されて、いまだに市民テの象徴としての位置を保っている。



『私と市民テ・三世代にわたり』

諏訪クラブ 小嶋 まこと

この度は市民テニスクラブ創立40周年おめでとうございます。私とテニスの出会いは、幼稚園に通っていた頃になります。両親が市民テに入会した為テニスが身近なものとなり、元々活発な方だったので、すぐにテニスの魅力にハマってしまいました。小学生になると当然のように市民テに入会し、ジュニアのスクールにも通わせてもらいました。朝が弱かったので、自転車でコートにたどり着くまでは嫌で嫌で仕方なかったのですが、いざレッスンが始まると「楽しくて！楽しくて！」たくさんボールを打ちたいという気持ちは大きくなりました。

中学に入ると、部活は硬式テニス部がなかったので軟式テニス部に入部しましたが、高校に入ると部活で週に何度かテニスをしていたものの、あれほど夢中になっていたテニス熱もなぜか冷めてしまい、だんだん久米川コートからも離れていきました。それでも、太田杯やクラブの練習会には参加させて頂き、お陰様で市民テとの関わりは途絶えることはありませんでした。

ところがそれから数年後、テニス熱が再燃しました。というのも当時、小檜山さんが中心となって市民テは若手が大変盛り上がり、その仲間に入ってみて、イベントに参加をしたり、試合に出たりするのをきっかけに、やっぱり私はテニスが好きなんだ！と再認識しました。

そこからは、またテニスに夢中になりました。土日の時間がある時は日が暮れるまで久米川コートでテニスをし、水曜日のナイター練習会も仕事を早々に切り上げ、タクシーで運動公園に駆けつけました。そんな中、若手グループの一員でもあった今の主人を捉まえ結婚し、その後二人の子供にも恵まれました。その子供たちも現在テニスに夢中で、三世代に渡るテニス一家となりました。近い将来、子供たちと組んで試合に出るのが、我が家の楽しみのひとつです。

今の私のテニス生活と言えば、平日に市民テで知り合った仲間達との、笑いの絶えない主婦テニスを目いっぱい楽しんだり、時には試合にチャレンジしたり、今がいちばんテニスとは切っても切れない日々を過ごしています。幼いころから現在に至るまで、市民テを通じて色々な人と出会い、私のテニス+人生はとても充実しています。出会った方々に感謝です！

最後に三世代に渡り皆様にお世話になっている私の家族を紹介させていただきます。

☆母：河野宏子（美住クラブ）。

今はラケットを全く握っていませんが、以前はスクールに通ったりと、熱心に練習していた時期もありました。時々市民大会を見にコートに姿を現します。

☆兄：河野好太郎、兄嫁：麻理（栄クラブ）。

身内も羨む仲良し夫婦。何かにつけて頼りにしています。

☆夫：小嶋大吾。

長男の相手をするために、コートに足を運ぶ機会も増えました。

☆長男：耕平（小6）

ジュニアのスクールでは皆さんに可愛がっていただいて、楽しく通わせてもらっています。ありがとうございます。

☆長女：美咲（小2）2年後入会予定？

☆最後に今は亡き父：河野好明（元美住クラブ）。

初代美住クラブ会長を約10年。市民テとテニスを長年愛していました。テニスの楽しさ、ボールを諦めずに追うことを教えてもらいました。

長文になってしまいましたが、今後も私たちファミリーを宜しくお願い致します。

豆知識

テニス保険

会員全員が加入しているテニス保険は、

- ① 相手に対する賠償（賠償責任保険）
- ② 自分の死亡・怪我（傷害保険）
- ③ 自分のラケットの破損（用品保険）

以上、3つの保険から成り立っている。

<具体例>

1. 同一コートで練習、試合中の相手の怪我は、1)の賠償義務が発生せず賠償責任保険の対象外となり、2)の自分の傷害保険を使うことになる。
2. メガネにボールが当たりメガネが壊れたときは保険の対象外となる。
3. 用具保険についてはラケットはフレームの破損等の修理ができないので、購入年月日から減価償却をして補償されるが、ガットは保険の対象外となる。
4. 自分の怪我でもテニス肘（エルボ）は、保険対象外となる。傷害保険の定義は、急激かつ偶然な外来事故となっておりエルボとか椎間板ヘルニアなどは対象にならない。捻挫、打撲、切り傷等は病院の行った回数に応じて補償される。

<保険の申請>

テニス保険の対象となる怪我をした場合、所属クラブの会長に速やかに報告し、保険申請のための準備を行う。

僕とテニス

美住クラブ 小玉 浩靖

僕が市民テに入会させていただいたのは20歳のころ、もう9年の月日経ちます。入ったころはまだ大学生で、土日のテニスをする場所を探して入会しました。立場は大学生、大学院生、社会人と変わり、住家も東京、名古屋、大阪と移り変わっていきましたが、いろいろなことが変わってもずっと一緒にいたい理由がここにはあります。

僕がテニスを始めたのは3歳のころ、親の趣味がきっかけです。小さいころから親の主催するサークル活動にくっついてテニスを教えてもらっていました。地元は青森でしたので、テニスができる時期は4月から11月の雪の無い間だけ、当時はテニスも盛んではなくジュニアからテニスをしている子供は県内に数人でした。子供の時はテニスをするよりも親の試合の度に県内のいろいろなところに行けるのが楽しくて、テニスコートのある公園の遊具広場で遊ぶことが一番の楽しみでした。試合に出始めたのは10歳前後、毎週練習して腕を磨き、試合でもそこそこ上位に食い込めるくらいになっていました。教えてくれていたのは両親と今の僕と同じくらいかそれより年上の人たち、更にはおじいちゃんおばあちゃんと言えるくらい年の差がある方々で、考えると市民テが心地良いという僕の基礎はここで作られていたのだと思います。今でも実家に帰るとみんなで一緒にテニスをして、年に1回は団体戦も出ています。

東京へ単身出てきたのは15歳、高校の頃です。東村山に住み始めたのは高校推薦の民間寮が久米川付近にあったからで、ここでもテニスは続けようと思っていました。高校にはテニス部があったので早速入部しましたが、土日は練習がなく、どうしようかと考えていた時に出会ったのが、全生園の方々でした。上手くなるためにと通い始めたロンドテニススクールで一緒だった方がたまたまその職員で、日曜やっているけど一緒にやらないかと誘って下さいました。もちろん学生は僕一人、最初は不安もありましたが皆様とても良い方々で、長い間お世話になっておりました。そこでは市民テの方々もたくさん参加されていて、そこで市民テの存在を知りました。平日や土曜もやっているからもっとテニスしたいならと誘っていただいてすぐに入会し、ご存じのとおり朝から晩までいつでもいるような生活を送っていたというわけです。市民テに参加させていただいている時間が本当に楽しくて、住んでいた寮を出なくてはいけなくなったときも東村山に残った一番の理由は、市民テがあるから、という入れ込み具合でした。

市民テでは栄クラブ、美住クラブと移り、クラブを超えてたくさんの方々にお世話になりました。有難いことに、テニス以外の飲みや遊びにもたくさん誘っていただきました。もともとテニスも市民大会Bで全く勝てないくらいだったのですが、毎週市民テに入り浸り色々な方に相手をしていただくうちにどんどん上達することができました。市民テと出会うことがなければ、テニスの腕はもちろん、休日の過ごし方や人との関わり方など、今の自分は全く違うものになっていたに違いありません。高校・大学・大学院と東村山で長い間市民テにはお世話になり、仕事を始めるにあたり名古屋に引っ越すことになりましたが、市民テをやめようとは全く思いませんでした。年に何度かあるイベントや合宿、太田杯・柳杯等の団体戦で皆様と楽しむことができるというだけで、入会している価値は多大にあると感じております。

今までの年月過ごした僕とテニスとの関わりを述べさせていただきましたが、僕がテニスをしていて最も良かったと感じることは、ひととの出会いです。市民テはもちろん、小さいころには青森の方々と、今は名古屋そして大阪に住んでおりますが、そこでもテニスを通じてたくさんの出会いがありました。テニスをするということで地域のサークルや試合に参加することができ、住む場所や仕事などの環境が変わっても、趣味がテニスということが僕と他の人とを繋ぐ1つのツールとなっています。どこへ行ってもテニスをきっかけに誰かと出会うことができ、テニスをしている僕を通じて知らない土地のひと同士を繋ぐことも今は企画し動いています。今ではテニスがあれば、知人・友人・恋人(?)は自然にできるものと確信しております。

テニスをしていなければ今いるたくさんの友人と出会うことはありませんでした。これほど楽しい経験をすることも、社会で人と付き合う方法を学ぶことも、様々なひとたちの中で自分の知らない考え方を知ること、どれも僕の人生を形作る上で無くてはならない大切なものです。これもテニスを教えてくれた両親と、テニスに夢中にさせてくれた市民テの方々のおかげだと思っています。

このように、僕の人生にとってテニスはとても大切なものです。僕はこれからもテニスを通じて様々なひとたちと出会い、それを通じて多くの経験をしていくことでしょう。それに加え僕が皆様から教えて頂いたように、この素晴らしさを皆様に知ってもらうための活動もどんどん行っていきたいと考えております。

テニスを楽しみ、人生を楽しんで、これからも市民テ生活を満喫していきましょう！

豆知識

太田先生

■ 太田 芳郎 ■

1900年(明治33年)1月11日 新潟県柏崎市刈羽村生まれ。東京高等師範学校(のちの東京教育大、現筑波大)卒1994年(平成6年)3月29日、94歳で亡くなった。

◆主な戦績等

全日本選手権 単優勝(1926年)、デビスカップ 1927~30年出場/シングルス13勝8敗、ダブルス0勝1敗、4大大会シングルス本戦 全豪(-)、全仏(1930年/最高4回戦)、ウィンブルドン(1927~30年/最高3回戦)、全米(1927年/最高2回戦)、1967・68年デビスカップ代表監督。元フェドカップ代表監督。元デビスカップ代表選手。戦後、東村山市に居を移し、昭和31年から12年間にわたり東村山市教育委員会委員長として、昭和39年から10年間は東村山市体育協会の会長として活躍。平成3年には東村山市名誉市民第1号の称号を与えられた。柳元会長とは気が合い、お酒を共にする機会も多かったといわれている。



■ 太田杯争奪市内団体戦(通称:太田杯団体戦) ■

東村山市の名誉市民で東村山市テニス連盟会長を歴任された、太田芳郎氏の名前を戴いた大会。東村山市テニス連盟が主催する連盟登録団体による団体戦。男子の部、女子の部があり、各々1部、2部があり、ダブルス3ポイント(3ペア)で争われる。

■ 太田杯市町村対抗戦(東京都) ■

東京都市町村テニス協会(都下の市町村の体育協会に加盟しているテニスの組織で構成されている)が主催するダブルスによる団体戦、市町村対抗庭球大会の別称。平成25年は第33回大会となる。

男子3、女子2、壮年1、複合1の7ポイントで争う。1部と2部があり、毎年4チームが成績により自動的に入れ替わる。過去、東村山市の最高成績は、1部準優勝。平成24年度に東村山市は2部でベスト4となり平成25年度は1部昇格したが、残念ながら、来年度は2部に降格。

また、この他に、新潟県テニス協会公認の太田杯テニス大会(柏崎市)や柏崎・東村山対抗戦にも太田杯が授与されている。

大家族

萩山クラブ 小泉 聡

『親父もやってるし、テニスやってみるか。』20年前、中学入学前にして、それまで活動していた野球、水泳をやめた時のこと。市民テのスクールが、テニス人生の始まりとなった。

コーチは浅田さん、中沢さん、森田さん当時ジュニアは7、8人だったと思う。全くの初心者だった私はグリップの握り方など一から教えてもらった。

ストローク、ボレーなどはある程度できていたが、サーブに関してはまったくといった的外れだった。それは今も変わらない。

当時ほとんど意思表示をしなかった私は、さぞかし指導しにくかったことと思う。市民テ以外で、外部のスクールの経験がない私の基礎となっているのは、この市民テである。そして今、ジュニアを教える立場となり、当時の自分を思い出しながらの指導している。

外部のスクールとは違い、レベルに応じたクラスもなくマニュアル也没有。そのため一律に教えればいいのではなく、その子どもに合った教え方も必要だと感じています。もちろん、楽しいと思ってもらうために、やる気も出さなければなりません。

テニスが楽しいと感じてくれるJrが増えるようなスクールにし、Jr達が私のようにまた市民テに帰ってきてくれることを願っています。

そして、市民テニス40周年。ジュニアから始めて2年前には妻が入り、現在子どもが二人となりました。次の50周年の時には、娘二人も、スクールで、お世話になっていることと思います。

ジュニアから始めた私にとって、市民テのイメージは、大家族。小さい子どもから年配の方まで一体となって、構成され、みんなが家族のようなお付き合い。

テニス以外でも釣りやゴルフ、毎週行われる宴会。今の時代、特に東京では、地域一体がなかなか見られません。それをこの東村山市民テニスクラブは叶えてくれます。

この貴重な場を、自分の子どもをはじめ、多くの方に知って、体験してもらいたいと思っています。

豆知識 ジュニアスクールの誕生

創立：1979年にジュニア会員を募集し、その時集まった小学生6名、中学生6名に対しジュニアの親が指導者の中心になりジュニアスクールが始まった。ジュニア会員の最小年齢は小学2年生であった。

理由：東村山市民テニスクラブは、創立当初からテニスをやりたい人に声を掛け会員を増やして来た。特に家族会員を大切にすることに気を配ってきたが家族会員も増え、両親がテニスをやっている時、子どもをどうするかが問題になった。

実施：ジュニアスクールは恩多コートに7時45分に集まり、8時から9時半まで練習を行った。時を経て球出しは技術部が引き受けるようになり、ジュニアスクールは継続された。ジュニア会員が5名に減少した際等、「ジュニアのあるべき姿」が何度か議論されたが、それでもジュニアスクールは継続された。1991年からジュニアは、11才から中学3年までとなり現在にいたっている。

ジュニア時代（過去）～現代～未来へ

萩山クラブ 松井 咲子

現在、私は大学3年生になり、技術部に入って3年が経ちます。そんな私が初めてテニスに出会ったのは、父が参加していた市民テの練習会についていった時でした。父が試合しているのを見ていた私に、みなさんが優しく声をかけて下さり、テニスのことをたくさん教えていただきました。

この年の一月から、ジュニアスクールに入れるということで楽しみに行ってみると、小学校も違う同年代の子供達が、おじさんやおばさんに教えてもらってテニスをしていました。持ち方や打ち方を全く知らない私は、幼馴染みの男の子と同年の子達と別メニューだったのをよく覚えています。昔から運動神経は鈍い方で、はじめの何ヶ月かは、なかなかラケットにあたらず、だんだんあたってきたなと思ってコートに入らず、フェンスを超えてホームランばかりでした。あまりにもホームランばかりで、当時別メニューだった子達とよくホームランの数を数えて笑っていたなと懐かしく思います。高校で部活に入るまでの間、私は市民テだけで、市民テのみなさんにはたくさんテニスを教えていただきました。いつの間にか「テニスをするのはここ」というように市民テは、私の大好きな場所になっていました。

高校1年生で市民テのジュニアは卒業でした。その後も妹と一緒にやっていた年下の子供達もいたので、卒業しても部活が休みの時は、スクールに顔を出し手伝いをさせてもらっていました。コーチではないけれど、球出しをしたり、自分がスクールにいた時いただいたアドバイスを参考にしながら彼等に教えてあげたりするのは、将来教師になりたい私にはとても有意義で、自分自身も勉強になる時間でした。そんな中、嬉しいことに技術部に声をかけていただき今に至ります。

はじめに、自分にテニスが教えられるのかなど色々不安はありましたが、「あなたにできることをあなたらしく教えてくれれば良い」という言葉をいただいて、私にテニスというものを教えてくれた市民テで、今度はこれからテニスを始めるジュニアの子ども達に、私があの時感じた楽しさを教えてあげたいと思いました。またこのジュニアスクールは様々な小学校や中学校の子ども達と一緒にテニスがで、大人も地域の人達で親以外の大人と接する良い場だと思います。一つの小さな社会として挨拶やマナーなど私自身もたくさん教えていただきました。技術はうまいコーチがたくさんいるので、私は挨拶やマナーなど小さいけれど大切なことを私らしく伝えられればと思っています。教えたこと伝えたいことなどたくさんありますが、私も子供達に教わることもまだまだたくさんあります。

これからも私らしく明るく元気にジュニアスクールを通して、子供達と一緒にテニスも心も成長していければと思っています。

私にとっての市民テ

美住クラブ 丸山 久瑠実

私にとって市民テはたくさんの人たちとテニスができることです。

部活では年が近い人たちとしかできませんが、市民テでは色々な人とテニスができます。

また、市民テには教えてくれるコーチがいて、たくさんアドバイスをくれます。部活でうまくいかないときでも、市民テに行けば楽しくテニスができるのです。

そんなところが私はとても好きです。

これからも仲間と一緒にどんどん強くなりたいです！



豆知識

久米川テニスコートのご作法

- コートに入ったらまずは元気にご挨拶「こんにちは」
- 帰るときにもご挨拶「お先に、お疲れ様」
- 出席簿に名前を書きましょう。
- 試合に入りたい人は、ゲームエントリー表に氏名を書きましょう。
- 練習する人はコート後方にラケットを並べましょう。何人待ちかが一目瞭然。
- 10分間の練習が終わったら、自分の使用したボールを拾ってかごに入れましょう。
- 試合は1人でも待っている人がいる場合、6ゲーム先取、ノーアドバンテージ。
- 畑に入ったボールは、取りに行ってもいいけません。畑を荒らしてしまいますから。
- 大声をなるべく出さない。周辺市民にはそれぞれの生活スタイルがあります。
- 最後の方は、協力して片付け、市民テの倉庫に忘れないように鍵をかけましょう。

テニスの楽しさ

栄クラブ 崎田 実夏子

私は、市民テニスに入って良かったことがあります。それは、テニスの楽しさを改めて実感したことです。

最初に入ったとき、強い人が多いというイメージだったので、ついていけるか心配になりましたが、コーチの方々がとても丁寧に教えて下さったので、自分の苦手な部分がわかって、とても楽しくテニスができました。

又、たくさんの人とプレーができるので、色々な打ち方が分かり、自分のプレーに活かすことができました。

練習のメニューでは、ストロークやボレー、スマッシュなどを行いますが、一番印象に残っているのは、スマッシュが決まるまでぬけられないメニューです。私はスマッシュが苦手なので、なかなかぬけられず、成功したときは、ホッとして、嬉しかったことを覚えています。

市民テニスに入って二年が経ちます。技術はまだまだですが、これからもテニスを上達していきたいです。市民テニスのある日が楽しみです。



豆知識

久米川テニスコートは…

久米川テニスコートは市が地主さんから年間約2000万円前後の単年度の土地賃貸借契約を結んで借り受けて設置しており、賃借料は毎年交渉をしている。

テニスコートの整備は、市が公益社団法人東村山体育協会に年間約50万円で委託している。市は平成18年度に約400万円をかけ土を入れ替える大規模な整備を行った。

久米川テニスコートは地主さんからの返還請求があれば返還しなければならない土地のため、テニスコートの人工芝化などテニスコート及びテニスコート付帯設備の充実が難しいのが現状である。



ジュニアスクール 3冊のノート

技術部ジュニア担当
萩山クラブ 小松山 隆

私もかれこれ市民テに入って17年になります。若手若手といわれてきましたが、今では息子や娘たちがジュニア世代ド真中のオッサン会員になりました。入会した当初はまだかろうじて20代で、気づくと技術部のメンバーに入っていました。そしてジュニアの育成をまかせられるまではそう長くはかからなかったと記憶しています。「市民テは一つ」の精神を常に持ち、将来のテニス仲間の育成をするために頂いたこの役割には大変誇りとやりがいを感じております。テニスの楽しさ、あきらめない気持ち、テニスする喜び、そして、テニスを通じた人との絆、まさに市民テならではの世代を超えたテニス仲間がここから育っていく、そんな場がジュニアスクールです。

さて、そんなこんなやってますといろんなことがあります。ジュニアというのは面白いもので、個性の宝庫と言わんばかりのナイスキャラだらけです。一人ひとりをしっかりみてないと見失ってしまうくらいエキセントリックな動きをします。ときにはボケときにはツッコミ、テニスに対してもまっさらな状態の子が大半で、この子たちをどう指導していこうかとコーチ陣も必死の真剣勝負でした。

この十年間ではタイトルにもありますが、平成18年からジュニアノートというものを作りました。どんなものかといいますと……

「集合！今日はだれがノーと書いてくれるかな～？あと誰が号令係やってくれるかな～？」から始まり、自薦他薦、コーチからの指名、ジャンケン、なんとなく、とかで、その日のレッスン内容や感想をまとめる係が決まります。レッスが終わると居残りでノートをまとめます。何を書いてもOKのこのノートは子供たちとコーチ、子供たち同士のコミュニケーションのアイテムの一つとなっています。

皆さんはこのノートの存在を知っていたでしょうか？おそらく初耳の方が大半だと思います。久米川コート市民テ倉庫内に置いてあるスクール用の緑色の箱の中に潜んでおります。決して素晴らしくきれいにまとめあげたものではありません、むしろ、誤字脱字、未熟字、暴字、意味不明発言、等々のオンパレードです。興味ありましたら閲覧可能です。

振り返ると当時中学生で無愛想だった子も今では我々と一緒にちらかれるほど面白くなって市民テに戻ってきたり、小学4年生、まったくの初心者でおとうさんにつれられて入った市民テでジュニアスクール生から技術部員になってジュニアの指導に当たっている子も出てきました。

この40周年記念誌発行を機に、改めてノートを開いて思いだすことがたくさんあります。市民テをいったん離れていった子達でも、現在部活動などでテニスを続けているといった話を耳にすると、うれしくなり安心します。反面、テニスやめちゃったよって聞くと、本当にテニスの楽しさを教えることができたのかなというちょっぴり切ない気持ちにもなります。

それでも、テニスは生涯スポーツ。市民テの玄関に鍵はありません、いつかまた市民テに戻ってきて一緒に楽しめたらなと思います。今後は前述の若手技術部員達にジュニアたちをどんどん引っ張っていきもらい、ジュニアノートも4冊目5冊目と続くよう、我々もサポートしていきたいと思っています。



40周年おめでとう

事務局長
美住クラブ 松原 秀樹

30周年記念から早くも、10年の月日経ち私も64歳となりました。公私とも、おかれている立場が劇的に変化しており、心と現実のギャップに戸惑う毎日です。（まだまだ、心は20代？）

さて、事務局の役割を全うするため、自分の能力の無さを日々感じながらも務めさせていただいております。幸いにも、優秀なスタッフに恵まれ、くしくも40周年記念の年に『クラブ再編問題』という重要な課題を遂行しているところです。（この寄稿が皆様のお目にとまるころは、再編が終了しているかと思いますが…。）長年、慣れ染んだクラブの名称も変わっているかと思っています。多分、いろいろとご意見もあろうかと感じておりますが、『さらなる、市民テの発展』の新たな一歩と思っていただければ幸いです。

市民テ運営委員会の最大のミッションは、会員皆様がテニスを快適に出来る環境整備であると自負しております。上記の重要案件も多くの皆様が満足できる方法で対応させていただきました。

今後、今回のクラブ再編は、数年経って本当の評価が出るのかなと感じております。（10年後かな？）

紙面をお借りいたしまして、40周年記念事業（記念誌・イベント）&クラブ再編にたずさわったスタッフ、特に、市民テ会員諸氏のご協力、運営委員会メンバー、クラブ再編委員会諸氏に、あらためて感謝する次第です。『ありがとうございました！』

最後に、市民テのポスト数（運営委員会、各クラブ）は、何と通常106ポスト、本年はそれにプラス40周年&クラブ再編を含めると144ポストに及びます。（兼任を含め）

くしくも『全員は一人のため、一人は全員のため』の精神で運営されている組織である証であると思います。多少の失敗は『おおめに見てね！』、頑張った人には『頑張ったね！』など、是非とも励まし、応援、声援、感謝の温かい言葉をかけて上げてください。それが、市民テの上記、精神だと思いうからです。

当然、テニスをしているときも、同じ言葉で盛り上げていきましょう……………

『市民テ50周年に向けて』再スタート…

処暑 末候 9月2日 『禾乃登』（こくものすなわちみのる頃）

豆知識 運営委員会

市民テの会則にあるように「運営委員会」は総会に次ぐ決定機関となっています。各クラブの会長と決められた役員が参加して、現在は原則毎月開催されています。

会議では総会決定事項の具体的な運営、各クラブの要望事項の審議、などについて話しあわれています。運営委員会は開かれた会議として会員の誰もが参加できることになっています。

なお運営委員会で審議に時間がかかるような重要な事項については別途諮問委員会、実行委員会などの名称で会議を構成し運営することもあります。

40th

東村山
市民テニスクラブ
協議会

2. 特集

私にとっての市民テ



萩山クラブ

(萩山町・恩多町)

【クラブの歴史】

- 1973.5.3 東住クラブとして発足……東村山市全域を対象として発足
- 1989.10 東住クラブが廃止となり、恩多クラブに統合、クラブ名は【恩多クラブ】となる
- 1992.1.1 本町クラブに萩山町が恩多クラブから転入、クラブ名は【萩山クラブ】となる
萩山町・栄町・本町
- 2006.1.1 クラブ再編に伴い栄町・本町が転出、恩多クラブと合併、クラブ名は【萩山クラブ】となる
萩山町・恩多町

萩山クラブの紹介

萩山クラブ会長 小林 修二

市民テ40周年おめでとうございます。萩山クラブは、萩山町・恩多町の2町で活動しております。特徴は大人から子供まで皆で楽しみ盛り上げてゆこうと言うスタイルです。

市民テの中でもキャラの濃い方々が多く、テニスの上級者はもちろん、バカヤローこの野郎コンビをはじめ、打ち上げの席には欠かせない芸達者な方、家族で入会し楽しんでいる方、夫婦で参加されている方々がいいます。その中でも3つのグループに分けるとすると

- ①市民大会、太田杯、柳杯と本気の勝負を楽しむ・・・本格派
- ②土日の早朝、水曜ナイターに参加される・・・・・・健康派
- ③久米川コートでいろいろな方とテニスや会話を楽しむ方、テニスの後のビールを楽しみに参加している方（これ私）・・・・・・楽しむ派

があると思います。

いずれも、皆共通することは、テニスが大好き！スポーツとして、戦いの場として、コミュニケーションの場として萩山クラブは最高の場所ではないでしょうか。

萩山クラブは、家庭的な雰囲気を持ち、来る者は拒まずの精神で活動しており、練習会、夏合宿など他クラブからの参加も大歓迎です。

とにかく盛り上がるのが好きなクラブですから、コート内ではもちろん打ち上げや歓迎会、合宿では飲めや歌えの大合唱です。

そんなクラブですが、来年再編になることでどのようなクラブが出来るかは分かりませんが、楽しく、良きクラブであることを願います。

豆知識

東村山市テニス連盟

創立：1970年（昭和45年）4月1日

所在地：東京都東村山市野口町（連盟理事長宅）

目的・事業：東村山市テニス連盟（以下テニス連盟と呼ぶ）はテニスの普及と発展を図るとともに、テニスを通じて、市民の健康の増進及びスポーツマン精神の育成並びに会員相互の親睦をはかることを目的とする。

テニス連盟はその目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) テニスの各種大会の主催及び主管並びに協賛
- (2) 上部団体が催す各種のテニス大会への参加
- (3) テニスの指導講習会の実施及び協賛
- (4) テニスに関する調査研究・資料統計の整備
- (5) その他本会の目的達成に必要な事業

以上



萩山といえば合同合宿！
若者多いな～



若手？



おっしや～！



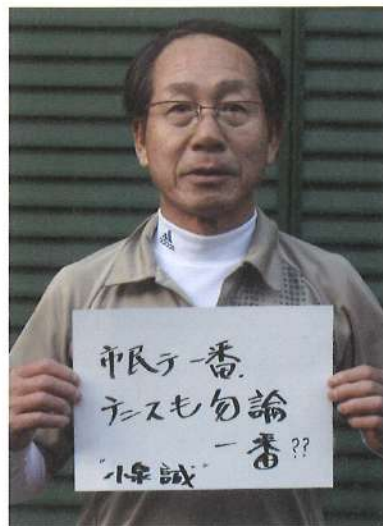
自慢のキレイどころ



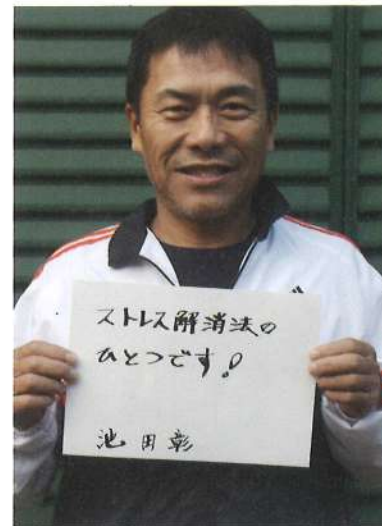
会長特権！



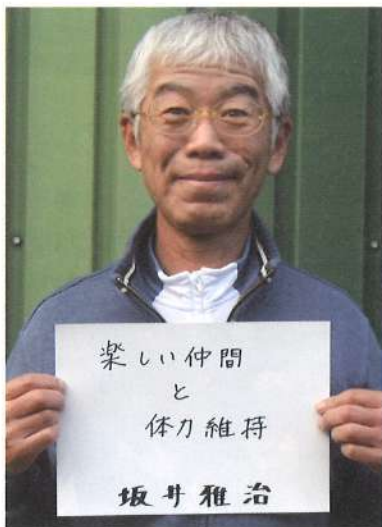
小林 修二



小泉 誠



池田 彰



坂井 雅治



菅井 實



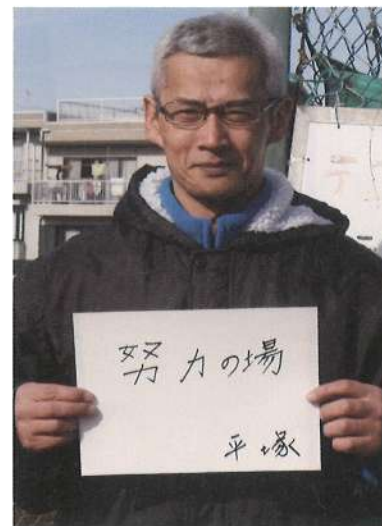
富永 規子



金子 美代子



田村 初枝



平塚 英司



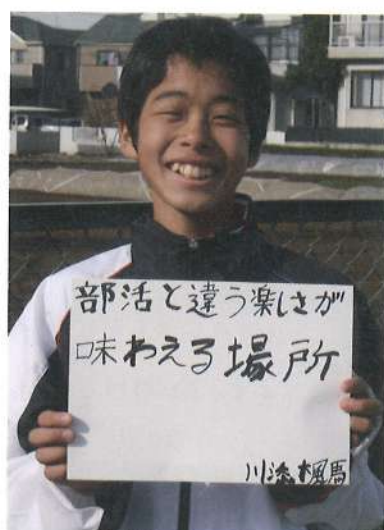
川添 勝



小林 豪



松井 咲子



川添 楓馬



川添 莉奈



岡田 房子



滝沢 真珠子



滝沢 真理子



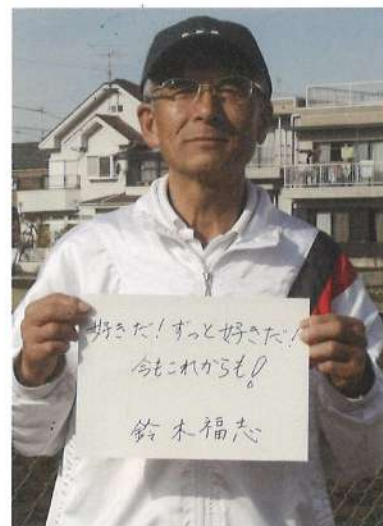
菅野 浩子



河嶋 和興



水谷 剛



鈴木 福志



田中 卓



森 小百合



松井 和則



大竹 正史



久保 潤一郎



藤田 和彦



新沼 美智代



阿部 夕里



高木 太輔



高木 慎平



高木 由紀子



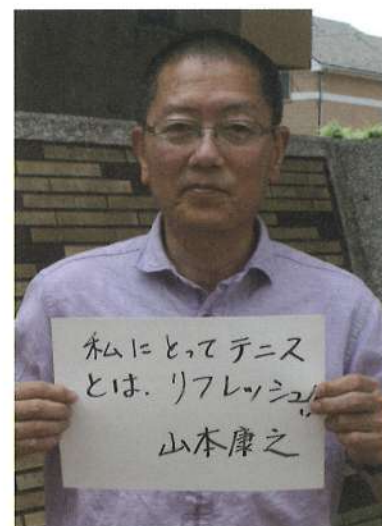
佐藤 修一



小林 亜紀子



小林 南奈



山本 康之



大和田 洋子



齋 則子



川路 育子



増本 朝子



小泉 聡



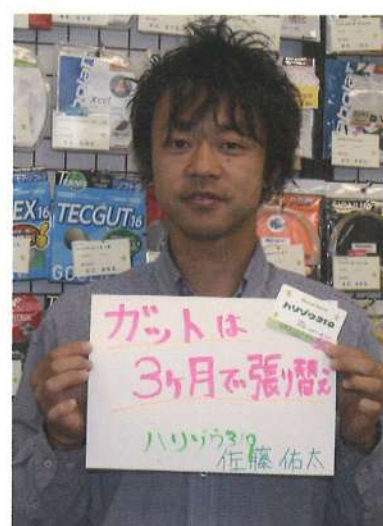
大川 濃



神保 恵



齋 陽日樹



佐藤 佑太



竹内 貴子



河嶋 ちよ子



藤田 雅美



伊藤 直美



伊藤 建和



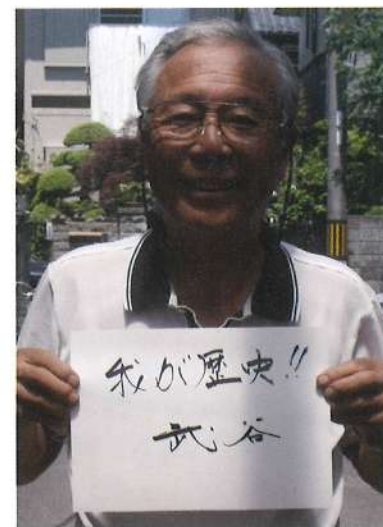
阿部 眞一郎



宮川 友理亜



宮川 由理恵



武谷 直也



松井 望海



松井 紀子



松井 唯美



古村 敏之



古村 浩三



古村 和子



岩崎 弘



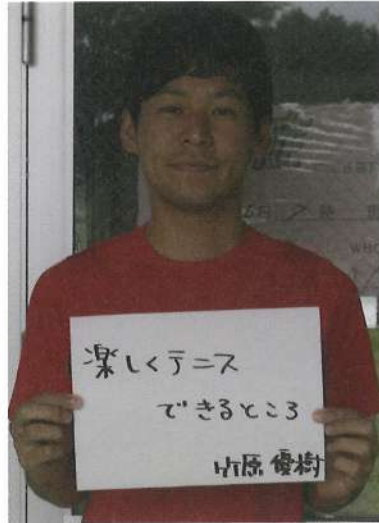
川路 俊一



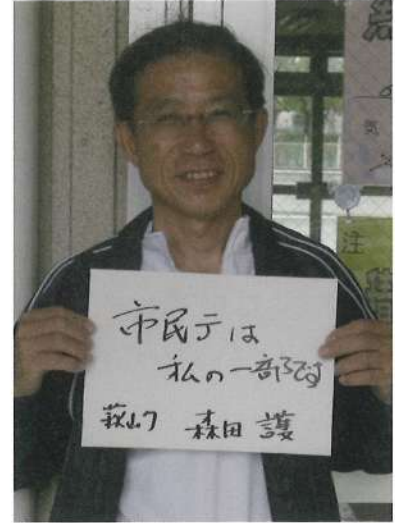
大川 長子



中丸 直也



竹原 優樹



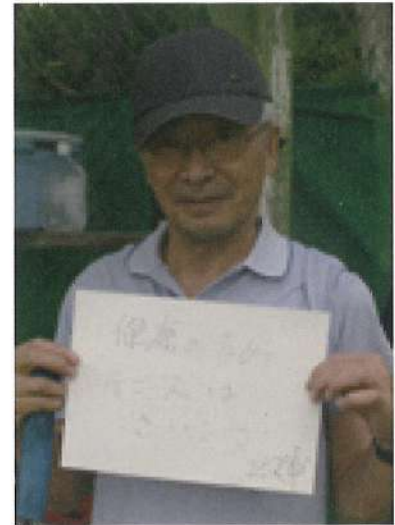
森田 護



栗坂 秀夫



朝倉 守



三浦 勝



加瀬 暁子



高島 恭子



高島 健造



小松山 駿



小松山 ほの香



小松山 鈴香



小松山 隆

青葉クラブ

(青葉町・秋津町)

【クラブの歴史】

1977.9.23 東住クラブから独立して【青葉クラブ】設立

青葉町・秋津町

青葉クラブの紹介

青葉クラブ会長 市原 順次郎

先ずは、創立40周年おめでとうございます。40年という時間を考えると、当年にとって45歳、私の人生の記憶が残っている部分とほぼ同じような時間を歩んで来たのかと考えると、相当な歴史と重みを感じます。他に類を見ない総勢300名を超える大所帯とそれだけのメンバーを束ねる組織力、心底からのテニス好き集団だからこそ、ここまでの組織に成れたのではないのでしょうか。

先日、10年前の「30周年記念誌」を川路会長から一部いただき、読ませていただきました。市民テに入会してから8年、ここ4年ほどは運営委員会に携わっていますが、それ以前のことは勿論知る機会もありませんでしたので、今までほとんど知らずにいた市民テ初期からの先輩方の活躍ぶりを再確認し、10年前、20年前、30年前の役員名簿から、いろいろな皆さんが支えてきた結果あつての今日の姿を感じ取ることができました。

現在、何かの間違いで私が青葉クラブ会長を任されていますが、40周年にあたって、これまでに活躍いただいた歴代の青葉クラブ会長を任期順に紹介させていただきます。

米田寛、高瀬欣也、米田寛（2回目）、藤岡信照、江原由高、儀間進、荒牧孝臣、
浜敬子、阿萬哲大、石田勝弘、安彦藤作、阿部昌史、小池邦彦、岩切京一、
矢野武彦（敬称略）

私以前の青葉クラブの歴代会長は14名でしたが、名前を見て懐かしく思い出している方もいるのではないのでしょうか？タイムマシンにでも乗ってそれぞれの時代の市民テを見に行ってみたいですよ！それぞれの会長の持ち味と、その当時にも相当いろいろな事があつたでしょうから。

私から見て特出するべき歴代会長は、2回会長の米田さん、紅一点の浜さん、そして、最長8年間会長を務められた藤岡さん。8年は素晴らしく長いですよ。生まれた子供が小学校に入学してしまうのと同じ期間！

そんな長い期間、私なら当にクビになっているでしょうから…
とにかく歴代14名の半分以上の方はまだまだ現役ですから、私も含め、これからも力合わせて盛り上げて行きましょう！

☆現在の青葉クラブとは？

- ・男性36名、女性29名、総勢66名（うちJr.7名）+休会1名。
- ・久米川コートを見渡すと、常連プレイヤーの青葉率はかなり高い。
- ・テニス&お漬物。（手作り）
- ・女性が男性の3倍元気。（これはどこのクラブも一緒？）
- ・みんないい人（ちょっとホメすぎ）

私の超ざっくりとした青葉クラブの紹介はこんな感じになりますね。あと、書き足りないところは皆さんのご存知の通りですよ！そうです。ご存知の通り。

最後に40周年を節目にクラブ再編が決定していますので、この紙面をお借りして、離れ離れになる青葉クラブ（青葉町、秋津町）の皆さんに一言。「ありがとう！」

クラブの解体は寂しい部分もありますが、「市民テは一つ」という精神を大切にすることによって、再編はこれまであまり関わるチャンスの薄かった仲間と懇意になる良い機会と捉え、新しいクラブの発表を楽しみに待つ気持ちで市民テ41年目を迎えたいと思っています。まー、小学校のクラス替えみたい感じですかね？ 誰と一緒にいるかな？



お散歩



素敵な横顔



早く
飲みてー



カモン!



集合!



阿部 昌史



阿部 仁士



阿部 純子



阿萬 哲大



阿萬 実枝子



石田 勝弘



市原 順次郎



市原 魁



稲橋 サカエ



香川 とも子



香川 千夏



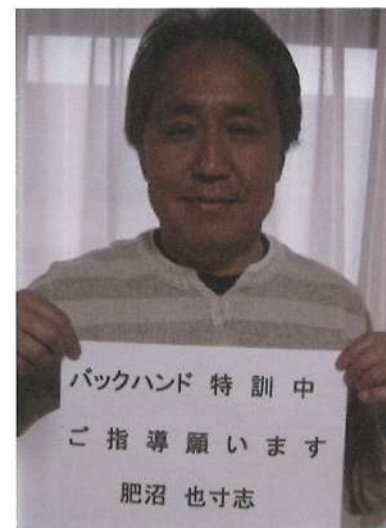
春日 千代子



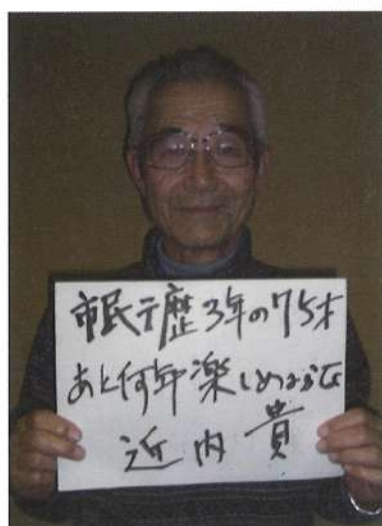
刈間 久美子



小池 邦彦



肥沼 也寸志



近内 貴



斎藤 純子



佐伯 美代子



岩切 京一



岩切 加代子



岩切 ゆか



岩切 大樹



岩瀬 毅



江下 洋



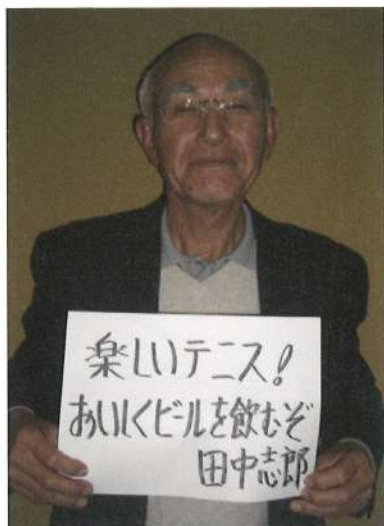
太田 忠之



太田 玲子



大武 光子



田中 志郎



谷村 武史



谷村 美和



鶴町 朋子



富田 和子



長尾 明和



野口 和裕



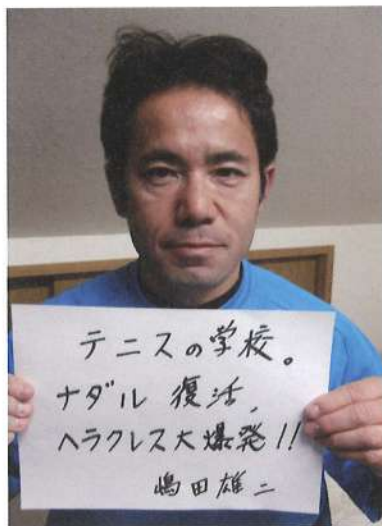
野口 留奈



澤田 正男



椎津 稔



嶋田 雄二



嶋田 稜真



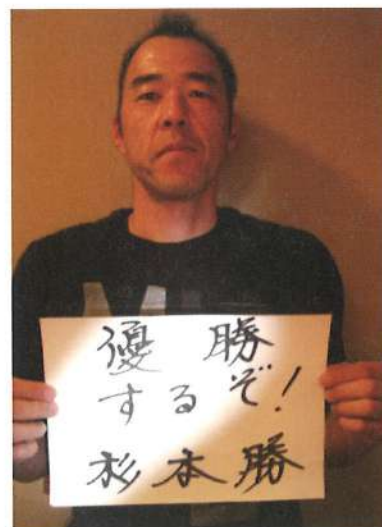
嶋田 綾音



志村 佳夫



志村 陽子



杉本 勝



竹内 一能



矢野 明美



山内 芳江



山口 広重



吉田 早苗



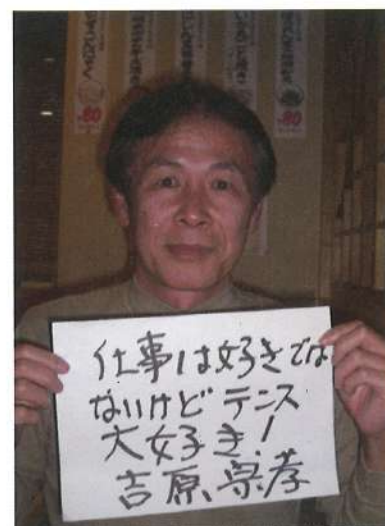
吉田 紳



吉田 慧



吉田 正



吉原 宗孝



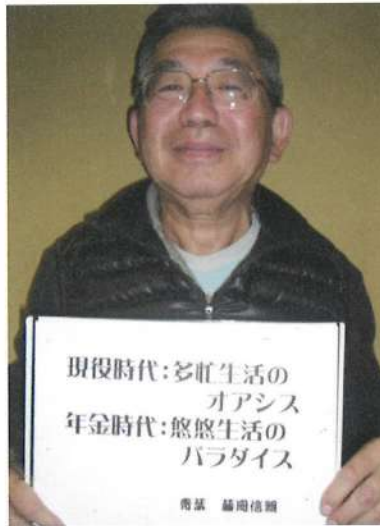
野見山 淳子



野見山 初音



浜 敬子



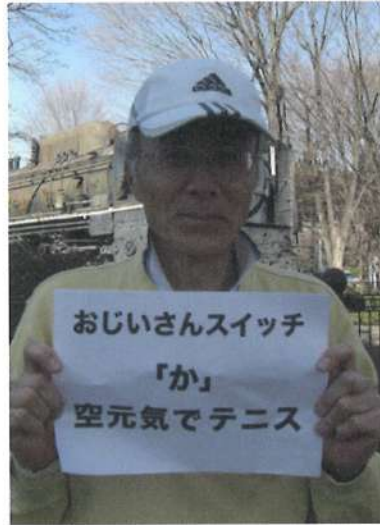
藤岡 信照



藤岡 順子



逸見 淳



松木 義三



森川 彰



矢野 武彦



渡辺 恵美子



渡辺 章

栄クラブ

(栄町・富士見町)

【クラブの歴史】

2006.1.1 クラブ再編に伴い萩山クラブから転出の栄町と美住クラブから転出の富士見町とで【栄クラブ】設立
栄町・富士見町

栄クラブの紹介

栄クラブ会長 愛甲 啓也

栄クラブは8年前のクラブ再編成で美住クラブと萩山クラブの一部の会員から新たに出来たクラブなので、他クラブに比べると歴史の短いクラブです。

設立以来、年々会員数が減少し、現在は、男性24名、女性17名と5クラブの中で最少のクラブです。

会員のテニスレベルは初・中級がメインです。栄クラブ独自の練習会としては、東村山高校、東村山西高校、東村山運動公園での月1回のナイター（4月～11月）、及び夏季合宿です。

練習会では3面コートを確保し、指導者レベルの会員を中心に、基本練習（ストローク、ボレー）、ダブルスフォーメーション練習、ゲームなど少人数なりの充実した練習会を開催しています。

クラブ内の雰囲気は'和気あいあい'としていて、団体戦などの打ち上げなどでは成績に関係無く盛り上がっています。

豆知識

柳杯とは

創 設：平成9年初回の運営委員会で柳さんの功績を称え市民テの精神「共に楽しむため共に苦しもう」を引継ぎ柳さんの名前が忘れられない様に、『柳杯ミックスダブルス団体戦』という名称で団体戦を企画することを決定した。

試合形式：ミックスダブルス団体戦

目的・理由：ミックスダブルス団体戦にする事は、団体戦は各クラブ間の結束を深められる事、ミックス形式に関しては、昔から男子・女子別々の太田杯団体戦はあるがミックスの団体戦は無かったためと男女間の風通しを更に良くし親睦を深めていけるのではと考えた。クラブ対抗にした理由は、実行委員メンバーは試合進行だけに専念し他の業務は各クラブが責任を持って行う事で実行委員の負担が軽減でき全員参加で作り上げていく形になると考えたからです。



実施：平成9年に1回目を実施し昨年まで連続16回実施。



テニスより楽しい
女子会



おはようございま〜す。



ハイ! チ〜ズ!!



やったね!



早く飲みたいね〜!



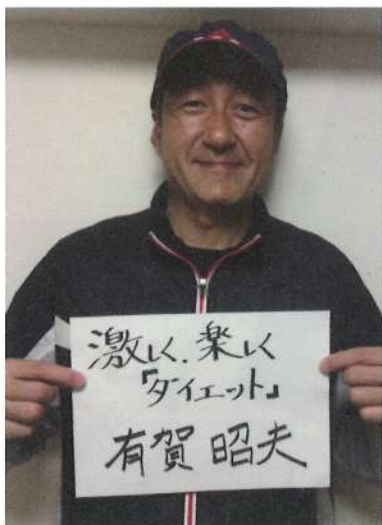
愛甲 啓也



愛甲 恵子



東 修



有賀 昭夫



飯川 勇一



飯川 奈津枝



石原 滋樹



石森 幸雄



石森 由利



北村 弘正



木脇 幸洋



木脇 幹太



桑原 まさ子



酒井 多朗



崎田 実夏子



佐々木 和彦



佐藤 初江



鈴木 裕一



板倉 勇



板倉 香



稲用 一



岩元 清水



上田 敏夫



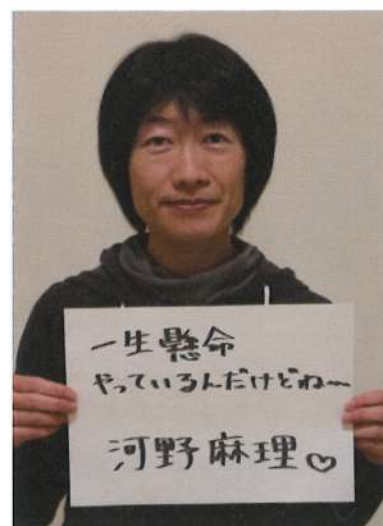
金子 陸平



上川 朋子



河野 好太郎



河野 麻理



中澤 孝泰



中澤 秀美



中村 亮太



丹羽 ひとみ



濱野 高秋



濱野 豊子



野崎 克己



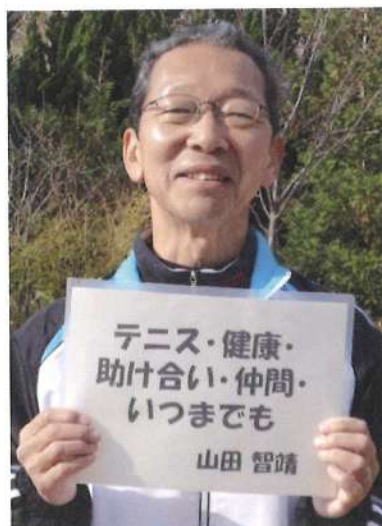
早野 美知子



藤江 直行



松本 健一



山田 智靖



山田 仁美



芭並 知子



谷古宇 勝美



山岸 容子

諏訪クラブ

(本町・野口町・諏訪町・久米川町)

【クラブの歴史】

1991.12.8 クラブ再編に伴い、諏訪町、野口町が美住クラブから転出、本町クラブから転出の久米川町と共に

【諏訪クラブ】設立

諏訪町・野口町・久米川町

2006.1.1 クラブ再編に伴い、本町が転入

諏訪町・野口町・久米川町・本町

諏訪クラブの紹介

諏訪クラブ会長 山本 義章

創立40周年おめでとうございます。私は、市民テに入ってからまだ日も浅く、諏訪クラブの歴史について多くを語れません。よって、私が会長になってからのことを中心に書かせていただきます。

我々諏訪クラブは、久米川町、野口町、本町、諏訪町から成り、2013年は男性38名（うちジュニア3名）・女性36名（うちジュニア2名）計74名で構成されています。人数としては、萩山クラブに次いで2番目に多く、市民テ全体の約1/4ですが、久米川コートの諏訪クラブ出席率は非常に高く、気が付くと久米川コートにいる人の半分以上が諏訪クラブの会員であったということがよくあります。よって、ナイター練習会となるとたくさんの方がいらっしゃいます。それだけ諏訪クラブの会員は、テニス好きな人が多いということです。

しかし、太田杯男子においては2012年まで何年も1部に入ることが出来ませんでした。諏訪クラブ男子は重点目標を1部昇格として何年も過ごしてきました。女子は1部で安定した成績を毎年収めており、男子は非常に肩身の狭い思いをしてきました。

そんな中、2012年の太田杯では順調に勝ち進み、決勝まで進むことが出来ました。あと一つ勝てば念願の1部昇格ができます。しかし、ベテランの人が多いメンバーで決勝まで何試合も戦ってきたため、疲労の色は隠せません。

そのような状態で、試合は1対1となり、3試合目の勝敗で1部昇格が決まることとなりました。試合は一進一退を繰り返し、とうとう5-5、40-40となりました。この1本で決まります。見ている方も手に汗を握ります。プレイをしていた方は、すごいプレッシャーを感じているだろうと考えましたが、諏訪のお二人は平静を保っているように見えました。試合は諏訪側から放ったファーストサーブがしっかりとコートの枠をとらえ、相手のリターンミス。その瞬間、念願の1部昇格が決定しました。言うまでもなく、その日の打ち上げは大いに盛り上がりました。

また、私が会長になってから合宿を夏の暑い時期をさけ、秋に変更して、テニスはもちろんですが、テニス以外に温泉や食事を楽しむ合宿にかえました。これに関しては賛否両論ありましたが、合宿に参加された方から「よかった」と言ってもらえたので、私は正解だったと思っています。

それから諏訪クラブと言えば宴会です。お酒抜きでは諏訪クラブは語れません。なんでこんなに飲むのだろうと思うぐらい、みなさん飲みます。クラブ再編により、諏訪クラブの温泉合宿と酒文化がどのように引き継がれていくのか楽しみであり不安でもあります。

私が、会長になって一番やりたかったことは、幽霊会員の方にコートに来ていただくことでした。ナイター練習会に来ていただくよう直接メールを送ったり、2012年太田杯の際には、電話で誘ったりもしましたが、なかなか来ていただけませんでした。「なぜ」とお聞きすると「自信がない」や「迷惑がかかる」と回答する方がいらっしゃいました。市民テとして、どのレベルの方でも気軽に(スクール以外でも)テニスが出来る環境作りが必要ではないかと考えます。

最後に、今年で諏訪クラブを含む5クラブは再編により無くなります。私はこれを悲観するのではなく、新しいスタートと考え、どのように市民テが変わっていくのか楽しみにしています。



びくとり～!



ハイ、ピース!



うお～りゃ～!



それっ!



どっこいしょ!



浅野 佳子



安彦 藤作



阿部 修



五十嵐 のり子



石原 啓五



石原 益代



伊藤 一男



板倉 花連



今井 奨



川口 直人



川口 洋子



桑原 威博



小嶋 大吾



小嶋 まこと



小嶋 耕平



小島 力



小武海 一喜



小武海 光枝



梅原 幸路



梅野 茜



遠藤 照枝



大木 忠男



大塚 昭子



尾木 優志



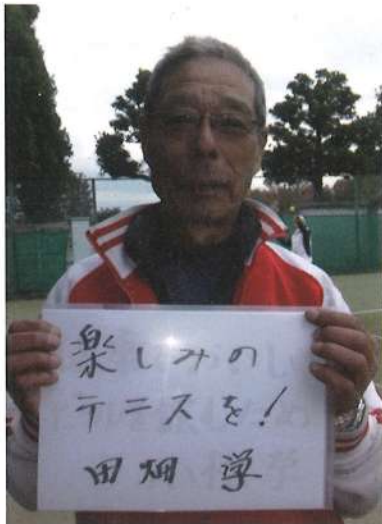
岡戸 久美子



岡戸 まち子



岸川 まち子



田畑 学



永倉 誠



永倉 里見



南雲 妙子



永倉 祥



永倉 萌



中里 幸雄



中里 怜



那須 メリーサ



小松 学



小松 恵子



斉藤 裕子



阪口 繁



佐藤 多喜男



佐藤 忠夫



清水 博子



橘 治美



田辺 学



西村 拓治



西村 由紀子



西村 彩花



西村 憲治



浜 良一



浜 睦子



土方 桂



平井 知代子



藤田 昭高



平沢 みほ



平沢 みさき



平沢 もとか



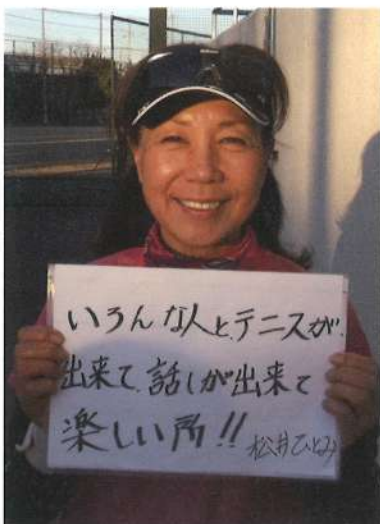
平山 明久未



平山 博章



平山 雅章



松井 ひとみ



松村 庄一



森田 美紀



谷田部 徹



谷田部 典子



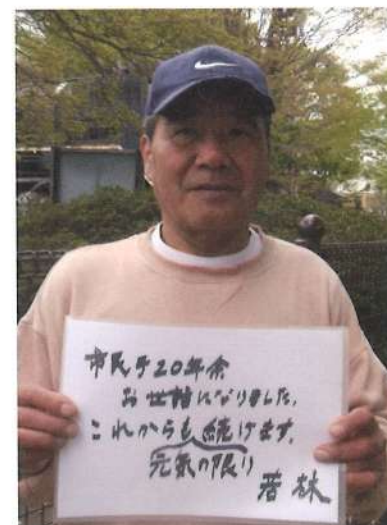
山田 陽一



山本 義章



吉川 真



若林 尚昭



田口 輝彦

美住クラブ

(美住町・廻田町・多摩湖町)

【クラブの歴史】

1979.3.10 東住クラブから独立して【美住クラブ】創設

美住町・富士見町・多摩湖町・廻田町・野口町・諏訪町

1991.12.8 クラブ再編に伴い、諏訪町、野口町が転出

2006.1.1 クラブ再編に伴い、富士見町が転出

美住町・多摩湖町・廻田町

美住クラブの紹介

会長 土屋 幸蔵

創立40周年おめでとうございます。“一人はみんなのためにみんなは一人のために”のスローガンのもと歴代役員の皆様には多大なる御尽力を賜り有難うございました。又会員の皆様の御協力によって40周年という大きな節目を迎える事が出来ました。

これから美住クラブの事を述べさせていただきます。美住クラブは1979年3月、会員数45名で発足しました。

初代会長故河野好明氏（2003年6月9日逝去）は、クラブの誕生から13年間会長を務められ、美住クラブの礎を築きクラブ発展に尽力されました。初代会長として大変御苦労なされたと思います。

クラブ会長は今年で12代目になっております。その間弱小クラブから強いクラブへと。皆で積極的に合宿、練習会に参加して頂く努力をし、加えて当時トップクラスの技量を持つ若い方の入会もあり美住クラブの黄金時代が築かれました。

当時の会長さんが話されていました“華々しくて幸せな会長時代でした。久米川コートで胴上げ2回、柳杯・太田杯で優勝、新品の優勝カップで飲んだビールは最高でした”と。

2006年にクラブ再編を行い、富士見町の会員さんが栄クラブに移られ、その後、会員数は一時的に増加をしたものの、また少しずつ減少し始めました。

2013年、46名の会員と8名の休部会員で明るく、楽しく、アットホームなクラブを目指して来ました。美住クラブのここ一番の団結力は目を見張るものがあります。昨年の市民テの忘年会でも一人一人が一生懸命考え、手造りの忘年会を行うことが出来大成功に終わりました。ここ一番の団結力は、美住クラブ会員皆様の財産だと思います。

今年で美住クラブは解散しますが、会員の皆様、ここ一番の団結力を忘れずに、他のクラブに移っても頑張ってください。

1979年から34年間歴代の会長、副会長、各行事に携わった関係者の皆様、そして会員の皆様、今日まで美住クラブ発展のために多大なご努力を頂き誠に有難うございました。

豆知識

柏崎と市民テのつながり

昭和51年には東村山市体育協会と柏崎体育団はスポーツ姉妹提携を、さらにその後姉妹都市として提携し現在に至っております。柏崎市と東村山市の友好については、太田先生との深いつながりでスタートしたもので、昭和52年11月には第一回目となるテニス交流試合が行われました。近年では隔年ごとに双方の会場で開催され、来年は東村山での開催の年となります。回を増すごとに白熱した試合を展開し、連盟・協会の枠を超えた友情も深まり、とてもいい関係を築かれています。



みんな笑顔



若っ！



すみません



やっほ これっしょ！



短パン みじか～！



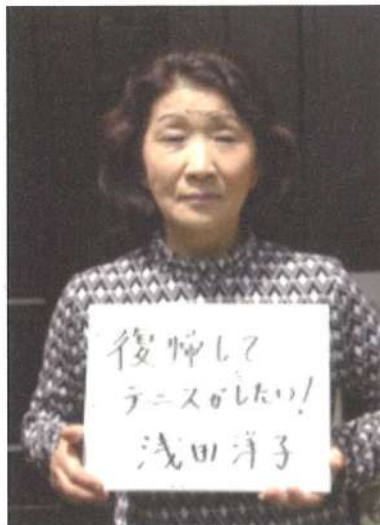
朝倉 信子



朝倉 未悠



浅田 元弘



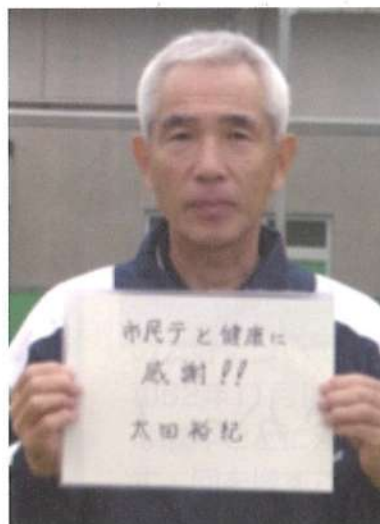
浅田 洋子



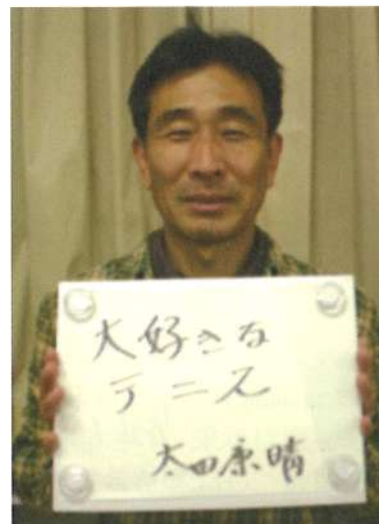
伊地知 裕



河野 宏子



太田 裕紀



太田 康晴



河原 茂



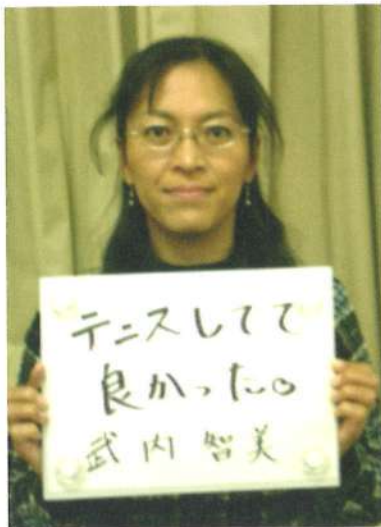
鈴木 孝夫



高田 豊



田島 隆夫



武内 智美



武内 三奈



土屋 幸蔵



河原 千秋



田中 通隆



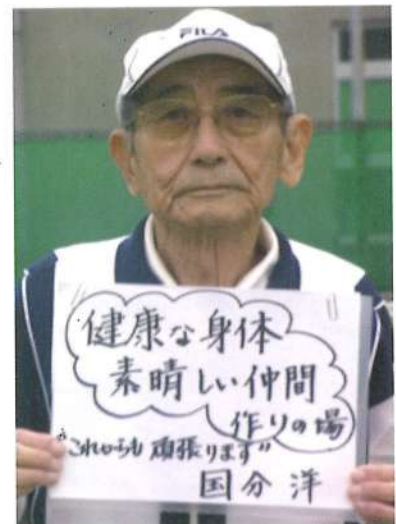
田中 美紀子



津久井 悦子



黒岩 富美子



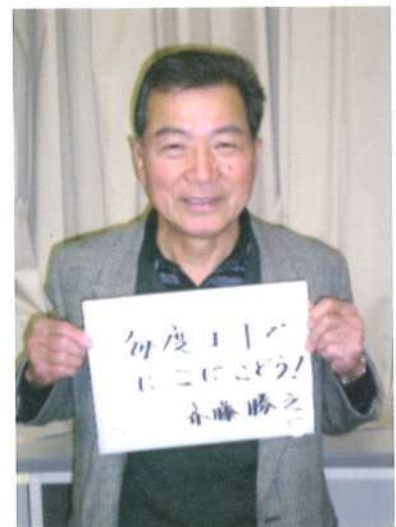
国分 洋



小玉 浩靖



小林 裕子



斉藤 勝之



椎名 啓雄



椎名 祐貴



椎名 洸太



山田 勝巳



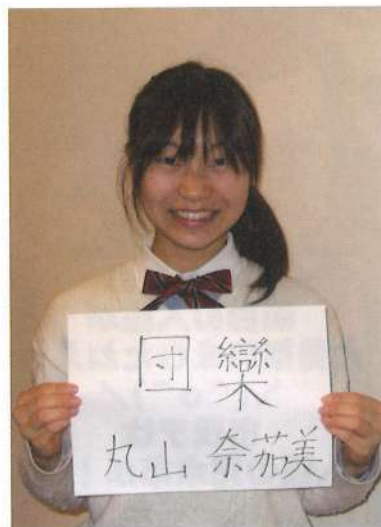
山田 夏子



丸山 裕司



丸山 有紀子



丸山 奈茹美



丸山 久瑠実



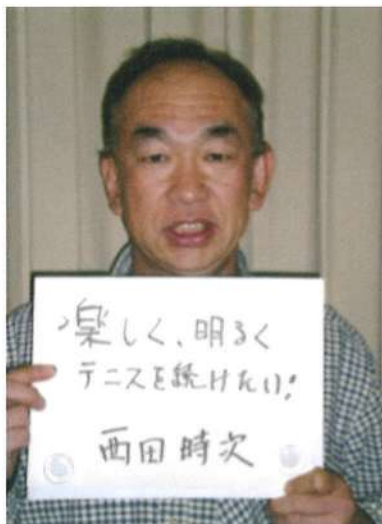
丸山 和加奈



手塚 なほみ



戸田 志郎



西田 時次



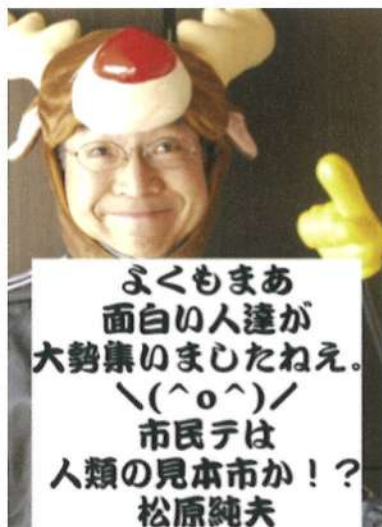
西村 秀和



長谷川 正禎



蜂屋 健次



松原 純夫



松原 秀樹



和田 純子



馬淵 泉



馬淵 渚



吉岡 ひとみ



休部の方を含めた333名の写真を集めるつもりでしたが、
ご本人の意思等により掲載できなかった方もおられました。

40th

東村山
市民テニスクラブ
協議会



3. 年度別会員名簿

■ 市民テ入会年別会員名簿 ■

※太文字は現会員

※ () 内は旧姓

■ 昭和48年 ■

武谷直也	小林帥男	柳利夫	柳力ズ子	武谷千枝子	高瀬欣也	俵郁子
佐野久代	乾和義	桑原康子	広川一夫	広川佳世子	塚村昌治	川見栄
若林忠夫	若林愛子	丸田圭子	伊地知	桑原剛	石塚征雄	山口信子
田辺重男	工藤三枝子	則末忠衛	大堀清充	横山ミヨ子	浦川親俊	米倉秀子
苗代幅弘子	小菅幸子	宮崎峰雄	宮崎綾子	三浦節子	中田立子	祖川範子

■ 昭和49年 ■

山本豊	青山秀雄	山口悦子	長井庸二	阿辺川貞夫	笹野井孝之	筑紫孝
-----	------	------	------	-------	-------	-----

■ 昭和50年 ■

江下洋	桑原まさ子	上釜宏一	木村美代子	山口廸郎	長井ひろ子	藤野好子
伊藤あつ子	古野三喜生	手塚茂男	鈴木請男	蛭田眞三郎	蛭田典子	筑紫明夫
原田豊郎	原夏子	樋口智江	馬淵ふみ	江原明久	高田隆之	秋本きみ江
富士野明子	高橋国子	前田光雄	竹内みつ子	森博美	柴田昌子	米村廸子
横森朝光	楠神俊造	石川弘子	小泉邦彦	国川哲男	梅沢良雄	吉岡弘
穂積富士夫	梶岡純夫	米田道明	米田公子	芦沢富士夫	梅憲治	桑原剛
浦川清子	米倉薫	荒瀬正彦	荒瀬恵子	正木元弘	上釜葉子	宮崎寛
小林洋子	江川和博	徳永隆	徳永泰子	成田美智子	大脇豊	

■ 昭和51年 ■

河野宏子	早川洋一	鍵山璽子	下谷次子	光田一夫	光田紀美代	早川明子
西川俊樹	野口薫	市川栄	市川伸子	桑原千枝子	西原正道	中根一夫
中根和子	光永宴	米倉薫	藤野梢	清野順子	村木暁美	志村美佐枝
小林康秀	小林和美	有川彬	有川栄子	徳永由希子	牟田口誠	藤原三夫
藤原裕子	藤井真人	増沢一浩	鍵山幸生	梅沢琴子	村井秀子	松枝孝夫
鍵山良生	島田喜美枝	田中光枝	飯田幸子	浦山洋子	広川智恵	坪谷房代
向井樟	向井巨子	田中澄子	安田優	津野智明	江川誠	高橋基文
入谷砂知	阿部玲子	本保俊昭	阿部文男	中村一郎	米田寛	米田聡
田中政治	榎本春子	細萱直人	井滝裕敬	阿部裕	小林幸枝	梅沢良雄
上島小夜	高橋力也	楠神剛				

■ 昭和52年 ■

河野好明	川島鋭祐	川島恵美子	杉山邦夫	中村克三	福島方子	木村恵子
山本勝己	山本知子	森とめ子	新井基之	山崎尚	山崎豊子	竹内久米司
杉山哲司	皆川渚子	鈴木靖男	岩田朋子	飯岡澄子	飯岡久美子	当麻祐子
栗原紘	栗原千枝子	山口進	佐藤信子	中津川武純	中津川洋子	小林康彦
吉田節子	立川久江	前之園利明	近藤彰	近藤久美子	曾根淑	月森道夫
月森章子	高森理恵子	翠川明	井上文子	鈴木良英	小谷昭人	原島芳子
大塚幸一	小林康英	宮部直	川村英明	福山肇	福山久美	西広ひろ子
大河内将男	肥沼茂夫	簗妻直樹	簗妻敬子	安西利江	遠藤美香	河野玲子
草野ゆき江	土方久美					

■ 昭和53年 ■

井上修三	藤岡信照	藤岡順子	佐藤多喜男	松村庄一	飯川勇一	松井貞二
桜井宣行	桜井時代	儀間進	儀間加代子	坂井 ^(小林) 紀子	松村マツエ	工藤昭洋志
工藤三千子	森田易言	米原隆	米原勉	石原好子	米沢行夫	米沢稔
山本健	樋口善一	桂秀樹	横山久磨尾	岩立和巳	森希一	草野栄子
新井好喜	崎元香苗	野村良子	平井美千代	黒沢てい	広川としえ	池田和子
池田澄子	池田敏子	LP,ニコール	降旗光子	降旗佐知子	迎恒夫	迎千栄子
藤崎瑞恵	島田和雄	島田昭代	岡部ゆり	川下カツ	土屋三千男	土屋奈津子
山本林子	篠田恒	篠田和彦	小山テル子	佐藤正和	浅田透	浅田美千代
辻静夫	甲斐豊	中村千鶴子	斉藤晃	斉藤隆	窪田靖子	橋本洋
石橋圭子	林利恵美	中村光孝	小林朝子	樋口俊彦	樋口千鶴子	三村忠良
三村邦子	鈴木千賀子	桶口晴子	山崎光子	山本芳子	鈴木有規子	倉地五百子
倉地祐佳	小安秀雄	小安賀代子	杉山佳代子	井谷孝子	五十嵐智世	神谷一博
米田寿子	長谷川順三	長谷川剛	田中明	井沢修	早川悟	小俣由記子
町田直樹	磯野泰雄	磯野秀雄				

■ 昭和54年 ■

松井光子	田畑ヤイ子	武田栄美子	松本恭介	松本美智子	三安利寿	三安孝子
中田力男	吉田 ^(曾) 恵美子	和田嘉記	森真人	山下英明	山下鈴子	山本学
福島肇	福島久美	竹川秀子	酒井健一	広野久	神立恵子	堀内孝子
米沢静夫	米原澄子	河合智恵子	越山典子	光永いづみ	光永高	酒見佐千彦
坂本末吉	坂本サク子	伊野光子	高橋達子	嶋崎佐夜子	高瀬栄子	高瀬永臣
吉村正夫	横山研児	田中英	田中均	森覚純	斉藤哲哉	斉藤みつえ
熊倉由紀子	十島とも子	米山実	山岡理子	柿沼利治	竹内治代	村山涼子
竹内とし子	荒牧佳子	友部真一	八木隆夫	八木洋子	下谷奈津子	中村久稔
竹中市郎	木村正宏					

■ 昭和55年 ■

小泉誠	木村宏	大武光子	小嶋 ^(河野) まこと	志村 ^(藤岡) 陽子	河嶋ちよ子	森田泰弘
江嶋照代	間野 ^(健山) 典子	江原由高	江原匡重	石黒末広	増本建一	井上準之助

江崎 ^侯 久美子	吉永洋司	吉永基子	豊山知子	中川富	中川ひで子	江原由利子
阿部三夫	石黒安子	坂本裕美	岡野喜一	岡野千賀子	友利秀美	鶴田英生
鶴田順子	滝川桜子	佐々木光一	佐々木多津子	柳明香	高山紀子	森谷克枝
杉山卓也	清水進一	清水典子	早川規子	難波豊子	難波孝之	江藤裕一
江藤浩二	藤井泰造	藤井登志恵	丸山修一	丸山節子	中根一郎	志村まさ子
武谷千春	岡本忠訓	岡本満子	岡本美穂	千葉幸子	田中栄光子	田中清英
酒井明子	酒井麗乃	岡田竹詩	江沢弘子	森下尚武	菊田義尚	菊田マスミ
高橋暁	高橋るみ子	海老沢朝子	堀川勝己	増本慎子	関口智子	相沢俊夫
米沢孝子	加藤互也	加藤寛	阿辺川宏	肥沼裕子	福島百合子	福島健一
池田博	江嶋正之	渡辺暁子	隅田朋之	隅田晶子	名久井正子	栗原清恵
酒見美恵子	篠田恒	亀村憲男	亀村ちとみ	久木栄子	棚田玲子	内山功
矢守章	児玉護郎	児玉幸子	芦田昌秋	関口晃弘	錠博司	朝長玲子
田中理	田部ひとみ	遠藤桂一	遠藤睦子	吉田能子	加茂悟	加茂紀代子
中沢利昭	久保めぐみ	富岡昌江	光畑恭子	斉藤恵美子	儀間肇	儀間輔
森好子	十島民	大武利治	米田理恵	須藤一男	須藤裕代	中込篤
篠塚文一	篠塚久美	宮川咲代	阿部浩幸	橋本綾子	浅見れい子	市村芳江
矢内陽子	江藤智恵	細淵セツ子	細淵洋美	中村久子	本保栄子	折橋豊子
渡辺孝子	椎橋一明	椎橋和子	小松田鶴子	山川理美	龍至晶子	辺見規江
香川悦子	江川洋子	広岡純二	久世澄江	山田伸子		

■ 昭和56年 ■

浅田元弘	浅田洋子	黒岩富美子	河野好太郎	河嶋和興	岡田房子	小池邦彦
藤田昭高	坂井雅治	太田裕紀	上野静子	黒岩俊雄	荒木ゆきえ	小泉京子
酒見利幸	上野一彦	菊池裕	久住 ^{松用} 久美	荻野洋子	広瀬裕	広瀬千鶴子
坂口瑠璃子	坂口幸代	和田嘉之	中島洋子	山下洋	布村マキ子	山田正哉
柳知洋	柳丹己	山口信弘	河嶋五郎	河嶋久美子	佐野由紀	木村律子
丸悦子	宮崎敬子	波多野収	波多野富美江	中根圭子	才田美恵	渡辺万知子
案西邦子	案西優子	笹野淳子	笹野洋介	水越幸博	岡田忠彦	堀田勝利
堀田正子	猪瀬愛一郎	猪瀬厚子	宮田和子	小池美智子	宮崎寛	宮崎真希男
吉永忍	岡田泉	鷹野一雄	鷹野令佳	武谷直人	上真奈美	吉岡豊子
円谷フミ子	栗原陽子	平山隆浩	豊山肇代	加藤美登里	大木幸雄	渡辺福男
行本宏毅	関根弘司	樋口一郎	樋口滋子	中尾弥蔵	中尾愛子	八木一雄
八木三八子	高橋育男	野本光枝	藤田房子	志村幸子	志村陽子	大木美津子
田中とよ子	木下美鈴	鈴木孝之	森川淳一	杉本育美	川島仁	大坪孝子
桜井美和	小林秀則	持田正子	石川美弥子	伊藤一男	橋本大二郎	橋本まさみ
白井進	荻野正伸	中沖数雄	中沖知江子	矢沢幸子	矢沢尚子	池谷隆徳
高野真	江原朱美	須田美貴子	渋谷美雅子	小沢喬	新井とよ子	米山美穂
米山薫	遠藤睦子	八木裕一	八木健二	鈴木正子	太田悦子	津佐富士絵
藤田きよ子	下玉利佳明	古川紀夫	古川登美子	本保順次	翠川敦子	小山定昭
大柿志津子	斉藤麻衣子	斉藤秀爾	中田貴男	中田容子	山川美紀	村本直美
村本智美	室井昇治	室井晴美	佐藤幸子	本間光昭	渡部さかえ	坂巻淳子

月森崇文 武田有司

■ 昭和57年 ■

増本朝子	小武海一喜	小武海光枝	田 畑 学	手塚なほみ	三原迪子	三 浦 勝
大木忠男	田 中 誠	間野雅之	山口修史	小山百合子	押阪雅夫	常広治彦
長岡和明	田畑麻夜	鴻野 ^(門) 宏子	加藤益男	酒井雄子	渡辺純二	三原由美子
柳 和 奈	青柳香苗	丸 弘 之	萩原夏美	植木武裕	中野政則	中野好子
田中祥子	井 上 聰	井上悦子	竜口美津子	三浦基子	龍尾信水	龍尾春江
重留律生	重留静代	野 崎 明	美藤根実	松井孝夫	永江久美子	永江茂則
相沢直蔵	青木孝子	高嶋三枝子	岡田千里	岡田もとな	小沢孝子	木村好利
佐 藤 圭	野田聡子	野田郁子	伊 藤 実	三安宏彰	寺田信之	加賀美夢路
小野咲子	小野聖樹	叶 陽 一	久保田智子	吉野良彦	吉野知栄子	大平治子
森田浩章	鎌倉義之	島崎勝吉	中 村 茂	生垣亜希子	内山節之	段 次 男
安原絵美	桜井完途	萩野直美	鈴木和彦	石川弥生	草野忠征	角田信夫
江原衣伊子	儀間美奈子	前田繁子	角田秀美	斉藤真紀子	村木よ音子	本沢龍也
藤田昭典	江藤智恵	小島淳子	田口邦雄	田口春美	小沢道子	鈴木正暉
鈴木絹子	神山広美	桜井裕子	小祝陽子	清 水 彰	小出敦子	小出治子
桑原玲子	高山玲子	古河喜美子	小 野 剛	山川瑠美	阿部里子	樽見由美子
坂巻淳子	原 恭 司	原 千 織				

■ 昭和58年 ■

大 川 濃	平沢正憲	木村^(藤井)玄	浅見耕司	押阪ゆう子	木村草彦	新 堀 篤
千田茂夫	津田俊一	内藤恵美子	江原加良子	川上美子	坂本伸氏	坂本千幸
堀越英雄	堀越千代	柳橋ユウ一	佐藤亜紀	市川真鯉	川島伸二	川島和之
藤沢栄治	萩原麻里	龍神一夫	龍神悠紀子	浅野間 ^(龍神) 道子	龍神かおり	河島博子
西田和正	西田信子	菊池純子	野島直美	松 尾 恵	丸山としえ	秋庭エミ子
桜井新吾	桜井利香子	重留慎弥	田中徹二	竜口美津子	青木重雄	岡 博 一
岡喜代子	佐藤博之	上 釜 博	上釜里香	青山悦子	深井隆二	米沢聖美
飯 岡 健	八幡定男	八幡昌子	伊藤光子	宮下久夫	川久保喜一	尾崎雅弘
尾崎敬子	小池正博	石垣武志	橋本泰和	大坪直美	中村恵子	中村光代
野口卓子	木村順子	各務みかこ	浅野敏雄	浅野睦子	佐々木靖子	斉藤郁雄
板 垣 良	宮沢弘二	渡 辺 清	渡辺英子	藤原弘子	宮下敏子	宮下大輔
長谷川充宏	玉崎明介	玉崎由美	野村弘子	小池千枝子	岩間礼子	土肥政子
解田芙美子	内田優子	滝田幸恵	益田弘子	田口邦雄	田口博久	田口裕子
鈴木敦子	市川寛司	鈴木正光	前田成子	前 田 光	内田初子	友野淑子
小山秋子	宮 崎 忍	野村奈美	杉野秀行	監物利広	鈴木英一	

■ 昭和59年 ■

井上美子	市 川 寛	望月淳一	望月八重子	河口洋文	関口啓子	山田恵美子
岡野敏春	岡野小夜子	林 利 法	岡山俊吉	岡山宣子	渡辺博幸	小嶋宗紀
北爪順也	白砂悦男	宮崎茂子	中曾根丈郎	浅見清美	西田陽平	金子眞澄

遠藤久美雄	藤根りつ子	白井恵子	安永貴美子	安永知恵子	安部康子	関口信男
伊野みずほ	富永津弥子	荒川弓子	内藤あづさ	和田照夫	和田泉	酒井章好
酒井道子	堀内潤子	細村幸男	松沢千代治	押味さつき	押味ゆかり	秋野由美子
柿沼敬子	小関繁雄	阿部陽子	阿部恵子	中村洋子	加藤典子	田口祐子
小沢正路	鷹野あずさ	白石由香	浅見美由紀	榎田いづみ	遠藤ふみ子	斉藤寿江
前田晶	内藤初子	内藤あや	村上知己	村上絵美	山地眞由美	宮崎淑子
手塚玲子	田所勇雄	田所玉樹	笹ノ間繁安	笹ノ間春美	石川世樹	石川あさ子
両川玲子						

■ 昭和60年 ■

斉藤純子	澤田正男	早野美知子	谷古宇勝美	岡田牧子	酒見尚子	仲俣京子
佐野正司	青山信子	遠藤知恵	武田幸博	野田弥生	三原麻里子	渡辺二六雄
渡辺尚子	野崎英司	宮川光夫	山田久司	村島勝子	関沢朝子	関沢美穂
野村賢治	野村政恵	南風原英充	南風原泰子	平沢久美	柳田修	柳田裕美
柳田由希	吉田稔治	常広玲子	加藤幸子	柴王佑	野田耕一	井川律人
近美和	園川郁子	小池雅子	青山隆	永江紀美子	小林ひでみ	武田ゆかり
渡辺宏	北村佳子	藤田チイ子	斉藤広子	中川とも子	斉藤まゆみ	井福民子
沼かよ	沼千嘉子	山浦美紀子	江畑久子	野沢ひろみ	岡庭由美	市川俊二
市川光子	柳田亜紀子	猪瀬真樹	猪瀬裕子	坂口繁	坂口寛子	長瀬二三子
長瀬伸也	山田澄子	島内真理子	宮沢稔	大和久福夫	大和久ちたか	浦山志郎
浦山道子	笹垣優	賀山敏昭	賀山洋子	佐々木則子	西谷広樹	西谷和美
平山賀子	田中主税	田中成子	堀越智子	浅見美代子	佐藤恵美子	菊池修
菊池真理子	嘉納美代子	野沢敦子	松田美智	森田安男一		

■ 昭和61年 ■

阿萬哲大	阿萬実枝子	里見洋子	松原秀樹	山田哲男	藤田成子	光井きさ子
酒見義恵	伊藤 ^(高橋) ユミ	広瀬陽	井上瑛子	北川美栄子	中村武	中根明也
小川悦子	鶴丸信	鶴丸悦子	広瀬玲子	保延京子	保延美稀	赤坂久枝
西川禎夫	山崎文子	石橋健男	石橋静子	押川政尋	押川千鶴	勝村勲
黒田昌弘	里見全紀	東海林久子	辻川洋子	中山てい子	中山順子	野口一世
野口カオル	松原洋子	望月和美	山口亜土武	中村真治	佐藤能里子	長井俊一
藤井麻里	南家みや子	尾島光子	中村芳子	横山伸一	横山恵美子	斉藤宏子
森山直美	山本潤一	渡辺良子	高崎稲子	越川美智子	佐藤君枝	東川二紀子
大山裕宣	山田洋子	大野崎利恵子	伊東一男	泉名まち子	石山敏明	石山佐知子
小原三枝子	森田吉行	森田俊枝	森田洋子	村田真知子	水井正子	近松昭男
近松恵理子	竹内美佐	野沢勝雄	鈴木直子	桑原和子	小黒信夫	小黒みどり
秋永博	手塚淳子	森川忍	本間慶子			

■ 昭和62年 ■

稲用一	田中通隆	吉田チイ子	永江達司	大海紀子	篠崎祐里子	高村昌江
手塚英子	中田節子	山口典子	伊藤知代子	辰野真由美	増本弘毅	尾花京子

奥本喜美代	小永光啓子	坂本和義	永井悦男	湯浅順子	青野かほる	佐野正一
佐野久美子	杉山敏行	杉山美知子	十嶋文	林明代	馬場理	村形張司
東日出男	鷺谷節子	河村恵美子	木口恭子	西田勉	西田愛子	西田亮子
蛤谷一通	南風原美紀子	宮地真	柳沢輝子	工藤清秋	工藤政子	野中聖子
中村二三夫	中村稔子	中村真治	佐藤和之	佐藤博子	下地恒慶	鈴木寛三
野村泰司	小黑信夫	小黑みどり	浅見隆	浅見輝美		

■ 昭和63年 ■

川路俊一	川路育子	永倉誠	永倉(新聞)里美	鈴木裕一	今井奨	斉藤勝之
荒牧孝臣	川田留美	鈴木ひろみ	中俣京子	筑紫悟	窪寺麻紀	橋本弘子
高田直子	荒木こずえ	福田篤史	山崎亮一	岡林宏哲	坂本月夜子	内藤まや
松本珠美	杉山健一	杉山亜希	野中光子	市川祥恵	津田泰子	田代雅靖
金丸敏真	金丸光子	中津浩信	古川勝也	古川尚美	古川友紀	清野育朗
清野美智子	日野美智恵	宮沢信一郎	佐藤義明	佐藤治子	中林恵	川上琴美
井上たみ子	今井正枝					

■ 平成元年 ■

古村浩三	古村和子	古村敏之	新沼美智代	佐藤初江	安彦藤作	国分洋
鈴木孝夫	田中美紀子	浜良一	浜睦子	道本(工藤)尚子	高木嘉明	井上奈美
大松慶子	佐藤幸男	小林理花	大津秀弥	古村順子	川路朋美	川路育美
新沼則夫	浅田千春	秋庭晴美	上野一樹	増沢佳菜子	塚本小智子	青木昭
西井正孝	明珍孝子	友田映子	友田梢	友田みづえ	井上晴雄	田中正子
田中まゆみ	田中利明	佐藤自子	佐藤直子	土屋千代子	土屋香織	伊藤郁夫
福田泰典	福田みゆき	太田育子	窪田孟	横尾等	栗原英男	栗原明美
原山利幸	大武正治	西川京子	加藤悦子	齐藤良隆	豊永小夜子	国分重子
秋本宏	藤田哲生	桑原哲哉	中島真弓	氏原邦博	八島春記	井上由希
高橋良男						

■ 平成2年 ■

朝倉守	森田護	金丸アツ子	太田忠之	太田玲子	斉藤裕子	若林尚昭
谷田部徹	井上正	望月真弓	望月和彦	名久井明夫	斉藤文子	藤樫健一
坪山広子	荒木忍	秋庭義弘	山田建彦	山田千晶	近藤誠	近藤真理子
土屋秀和	原田敏枝	粕谷和男	四元正一	西村裕夫	西村順子	西井裕一
井上薫	君島英昭	川床剛	山崎栄三	山崎英子	明珍加世子	伊藤舞
杉山富雄	地引勲	地引伊津子	奥さち子	黒羽次夫	黒羽潤子	風早昭正
風早ひろみ	横川友子	平松哲雄	平松弘子	植草新一郎	植草寿美子	植草弘一郎
松井里美	梅崎悟	大木紀子	秋元ミヤ子	頭川協	南真弓	金成美香
小松裕明	小堺一生	金丸雅人	金丸洋介	池田裕子	池田長八	谷田部剛
射場昭年	山崎健吾	西山富美子	西山岳洋	西山美帆	西山麻里	生山久美
竹沢真由美	松井英憲	望月修	望月房子	遠藤竜太	上原正人	松井栄一
松井公子	林暢介	林みほ	澤田節恵	佐藤修久	佐藤宏文	中井正清

中井芙美代	吉田忠男	鹿島勝	鹿島記代	三瓶健一	篠木一絵	斉藤登美子
綾香佐代子	小宮妙子	美山咲子	庄司弘美	竹内敬子	竹内幸子	鈴木蓉子
荻野和男	荻野令子	文岩富江	文岩俊浩	長谷川道代	加賀谷陽子	勅使河原忠夫
勅使河原黎子	宮台トモ子	宮台貴子	小町功	石川雅一	小林宏江	早坂邦子
竹内昭夫	佃勇吉					

■ 平成3年 ■

稲橋サカエ	浜敬子	横井満子	佐藤忠夫	堀内愛子	ト部健人	大掛憲一
山田裕啓	山田裕美子	沢田壮一	永江晴一郎	高橋リエ	池田郁郎	森田真由美
岩本圭子	金子昌司	金子ひとみ	原田圭子	的場昭年	中谷敏行	中谷弘子
斉藤孝子	太田紀久子	太田奈津子	中田ゆき子	肥沼也寸志	池川俊彦	中井朝美
島田邦子	美山園子	竹内洋二	ト部薫	金子茂生	金子京子	小島美好
川副聡	小町敏幸	小町和子	鈴木孝子	田辺宗平	田辺恵子	高梨喜久次
道上千文	今井美貴子	石田進一	大野小百合	宮原直美	江藤雅子	本田国利
北島まゆみ	清水由喜子					

■ 平成4年 ■

大塚昭子	中澤孝泰	中澤秀美	椎津稔	小松学	小松恵子	高田豊
釜付功	釜付礼子	椎津圭子	村田英明	森長米子	大塚笑美子	藤田真智子
千葉恵子	高橋洋介	中澤正江	森光子	落合美恵子	石井和世	天野幸子
秋元良子	田島雅彦	飯塚健	大平秀幸	雨宮由紀	伊藤史子	大木徹
豊富訓子	新井洋恵	井ノ口仁一	井ノ口ひろ子	渡辺健次	本多国利	細田令子
神保晴子	神保典子	国分秀樹	斉藤英美	本保清恵		

■ 平成5年 ■

栗坂秀夫	西村憲治	上田敏夫	吉岡信子	田辺学	山岸 ^(吉田) 容子	金子陸平
佐々木和彦	太田康晴	土屋幸蔵	木下清美	岡林博子	増田あゆみ	神山智恵子
本田房子	森長一宏	岩坂保明	山下紀子	柴田哲男	仲道喜久男	仲道豊子
仲道あや	湯村康成	藤田明美	斉藤大介	溝口武	宮古春子	工藤千夏
工藤仁果	黒宮忠	澤田恵	丸山剛	雨宮里子	増田庸文	上田ひろみ
田中つや子	吉田千晴	日名小朋子	分部三枝子	大木理恵	小川充彦	羽田野美知子
平手孝子	大岩ますみ	小松裕美子	小町美穂	小町久美	岸野宮次郎	上原慎一郎
亀崎節子	亀崎修康	奥本量子	田中寛之	山下裕史	山下さちこ	鳥越律子
長谷川奈美子	宮脇ミイ子	森七生美				

■ 平成6年 ■

野崎克己	小泉聡	愛甲啓也	田中敏雄	清水聡	清水聡一郎	清水孝二郎
村上智彦	村上恵子	村上尚子	田村悦子	藤根史子	白井健二	富田真司
岡田尚子	千葉佳子	築嶋俊隆	築嶋利恵子	笹倉久仁彦	笹倉悦子	今田士郎
酒井美知子	酒井一彦	森庸子	森田豪	原田信行	原田康子	今井新一
玉崎御代子	浜智之	八木下和恵	金丸麻衣子	村上佳子	遠藤美智子	小山誠

田辺祥子	田辺裕一	若林祐子	嶋崎和彦	嶋崎晴美	蓮井範子	塩谷真理子
石嶋歌子	磯部拓二	松本年博	坪山彩花	秦野嘉子		

■ 平成7年 ■

市川洋次郎	川合英夫	北久保京子	高井実	熊谷清	新沼径	大高操
池田穂積	池田真	多田野隆史	江嶋尚哉	飯川奈津枝	佐藤甫	椎津健太郎
崎野哲哉	崎野由希子	井滝美津枝	中島寛	中島富士子	遠藤京美	今井喜久夫
今井教子	関田喜代江	関田徳子	篠敦子	小山誠治	立石秀子	渋谷誠
渋谷良枝	小原達夫	小原美保子	阿部良枝	横内春義	卜部倫子	土屋百合子
石野紗綾子	斉藤理絵					

■ 平成8年 ■

伊藤建和	伊藤直美	阿部昌史	畑篤子	小桧山隆	愛甲恵子	大竹隆介
稲橋征夫	曾々木学	伊藤功	小澤千秋	小澤美代子	越阪部勝江	高橋浩美
石橋三枝子	井出悦子	富田誠	富田和子	遠藤京子	萩谷健	但野和子
但野和宏	比留間一彰	但野洋志	雨宮秀明	小山陽治	畑恒治	小松博之
小松三枝子	熊谷幸枝	村木登	横本千波	吉田智子	太田藍	

■ 平成9年 ■

石田勝弘	戸田志郎	山口広重	田口輝彦	小嶋大吾	清水博子	濱野高秋
渡辺章	中島正人	井上典子	早野誠治	太田航	村岡由美子	山地広美
工藤哲也	石井道範	畑幸江	村岡勝幸	荒木聖	山田洋子	山田雄太
内藤洋平	高橋功	高橋広美	坂本辰哉	上田理沙	岡本英也	泉真紀子
但野照和	道本直樹	分部美香	井上唯	山田光貴	武藤栄	倉田紀子
金田精一	金田孝子	内田正夫	清水みき子	小宮聡織	市川則夫	市川直樹
藤井繁樹	佐野雅子					

■ 平成10年 ■

佐藤佑太	矢野武彦	矢野明美	刈間久美子	小桧山鈴香	進藤牧人	北久保真道
坂本忠光	田宮幸子	坂田直也	福田慎二	泉浩之	山原大輔	皆川隆輔
猪瀬隆広	増田吉巨	斉藤志織	田桐正彦	田桐美佳	北久保早苗	安藤叔子
永野健一	日向栄美子	日向貴子	比留間博	田中圭	愛甲良太	大林由紀子
上原祐作	鈴木陽祐	大川未青	太田雅裕			

■ 平成11年 ■

佐藤修一	大竹正史	田辺修	田辺郁子	勘米良トシ子	矢崎潔	渡辺きよみ
大木桂子	横井美秀	岡田雅登	平川初美	平川寛人	山原啓輔	宮崎樹一
宮崎葉子	坂本久美	荒牧秀行	古沢早苗	小川順子	北久保賢人	佐々木大延
柴田節子	柴田朝子	柴田博	本部聖子	友永景子	卜部誠	山下永
鑑水みゆき						

■ 平成12年 ■

東 修	吉 川 真	伊 藤 一 男	伊 藤 春 美	上 嶋 康 弘	小野津ノリ子	滝 景 子
木下和樹	河 嶋 杏 子	久松美由紀	久松成美	阿 部 満	小武海圭子	木村桂子
佐藤絵里香	上田いつ子	木下充由	浜野太輔	河 嶋 文 子	大泉武司	久保田和子
間野絵里子	石原里美	金 木 久				

■ 平成13年 ■

松井和則	濱野豊子	神 保 惠	岩 淵 毅	松木義三	平井知代子	和田純子
萩原みつ	及川由美	大木和弥	横 山 亘	宮崎弘美	古村里江子	原口勝行
岩淵はるえ	堀田正章	堀田直美	玉谷芳彦	玉谷智子	平井伸幸	蒲生しとか
尾石洋子	尾石和弥	藤崎芳郎	藤崎裕子	和田一哉	伊達寛朗	伊達千幸
平井沙季	岡田安奈	岡田直樹	熊谷恵美			

■ 平成14年 ■

岩 切 京 一	岩切加代子	五十嵐のり子	土江まゆみ	土江萌翔	小林修二	岸川まち子
邑並知子	林 昭 男	森脇京子	中島侑哉	久松友美	石田晴康	秋山洋子
堀田八重子	江幡美枝	岩切京太	五十嵐康輔	細田隆雄	佐藤秀美	上遠野やす子
仲 晃 平						

■ 平成15年 ■

松井咲子	伊地知裕	大川長子	志村佳夫	佐伯美代子	遠藤照枝	宗林佐奈栄
石原啓五	石原益代	池 田 彰	河 原 茂	河原千秋	松原純夫	伊地知さとみ
渋谷裕子	田中扶規子	江川裕一	越後健二	越後克子	栗城ひとみ	小西隆行
田中浩一	田中典子	当麻良明	土 方 薫	松原久美子	青山拓史	青山エリ
伊地知彬	後藤琢哉	後藤敦子	小松範行	渋谷 正	内田益次郎	遠藤幹男
西村元気	波多野進	波多野雄	小山里子	小山龍一	渡辺弘美	渡辺勇貴
江川昭子	江川真樹	江川美穂	佐野弘幸	佐野聖子	佐 野 要	野村靖夫
長谷川洋一郎						

■ 平成16年 ■

菅 井 實	山田智靖	仙波明子	岩切ゆか	渡辺恵美子	渡邊ナナミ	石原滋樹
津久井悦子	塩谷知美	伊地知健太	伊地知雄太	大塚笑美子	阿部治人	阿部多恵子
仙波紗彩	三反田博也	阿部昌大	明 孝 夫	杉 本 豊	花澤隆則	小 澤 治
佐伯恵理子	佐 伯 緑	玉谷祥平	堀田明希	木村圭子	田口真奈美	邑並直人
邑並祐人	岡田孝子	木崎朗子	木崎直子			

■ 平成17年 ■

松井紀子	松井唯美	竹内貴子	山田仁美	富田和子	河野麻理	松井ひとみ
山本義章	坂 口 繁	飯川奈津枝	小林裕子	中川君代	西村秀和	藤田(村岡)雅美
中村亮太	小林勇樹	荒木秀雄	浜野大輔	寺田真奈美	松島江利子	吉良仁志
吉良和子	早野貴子	岩井明美	牧山康雄	中 川 栄	中村千代子	松島まゆみ

横山 亘	竹内恒就	神 由 美	小島幸一郎	小島恭子	奥田美文	鬼形和子
青野安裕	青野征子	関田正子	林 深 雪	樋口一郎	樋口美佳	樋口貴大
樋口智大						

■ 平成18年 ■

久保田暁子	森 小 百 合	金子美代子	市原順次郎	小玉浩靖	北村弘正	西田時次
市原大二郎	阿部恵子	阿部紗弓	吉 良 透	渡 正 士	渡 則 子	渡 元 春
玉置みな子	板垣秀明	井上幹夫	梅澤靖彦	高橋由里子	駒井勇人	清水由美子
金山翔太郎	松木喜美子	樋口仁美	本間圭亮	池口裕子	池口公貴	國分守光
北村康一郎	稲垣達也	稲垣由紀	井 手 巖	河原卓也		

■ 平成19年 ■

小林亜紀子	小林南奈	高木太輔	高木由紀子	藤田和彦	竹内一能	桑原威博
木村麻由美	田島隆夫	谷口貴紀	長谷川正禎	森 弘 嗣	三反田千秋	並木行男
奥 島 真	奥島喜美	松島佳奈子	山根容子	渡日向子	上村真人	近藤晴久
仙波良太	仙波健太	平原直樹	小西留美	小林倫美	杉野美枝	谷口ゆかり
土方節也	御園生清	吉岡由起江	吉岡優奈	吉田登志子	荒谷栄子	桑原良枝
桑原詩織	平原恭子	土方伸浩	土方みどり			

■ 平成20年 ■

朝 倉 和	岩 崎 弘	小 桧 山 駿	山本康之	市 原 魁	春日千代子	谷村美和
岩元清水	永 倉 祥	西村拓治	西村由紀子	奥野香代子	高木幹太	武藤利恵子
森美沙子	長廻隆志	松島康彦	足立昌信	筒井和行	堀 江 昇	八田浩子
小 田 博	八田爽歩	平原大雅	星野友子	星 野 明	星野裕也	星 野 茜
田中寛之	田中梨加子	日野奈美	松原優良	朝倉隆夫		

■ 平成21年 ■

阿部眞一郎	阿部夕里	高島健造	高島恭子	田 中 卓	谷村武史	谷村洸祐
野口和裕	藤江直行	梅 野 茜	橘 治 美	平山明久未	平山博章	須 田 成
須田真優美	小黒かほる	小黒佑太郎	高橋明美	高 橋 雛	安 野 勉	伊地知彬
高 橋 了	高橋ペロニカ	小野寺里美	小野寺美乃	神裕一郎	神龍之介	神玲央奈
平原恭子	宇津木和美	宇津木浩市	小西巖裕	馬場大助	山内浩司	山内幸子

■ 平成22年 ■

川 添 勝	小 林 豪	小桧山ほの香	宮川由理恵	宮川友里亜	近 内 貴	嶋田雄二
嶋田稜真	杉 本 勝	吉 田 正	吉原宗孝	有賀昭夫	石森由利	石森幸雄
岡戸久美子	永 倉 萌	那須メリーサ	森田美紀	武内智美	山田勝己	山田夏子
内田友信	周藤健太	宮川由希実	大平秀幸	北村修三	木原誠二	堤 明 美
山田紗愛	梅野美緒	東條朋子	根本博治			

■ 平成23年 ■

小泉由佳	滝沢真理子	滝沢真珠子	辻出徹	平塚英司	松井望海	岩切大樹
吉田早苗	吉田紳	吉田慧	上川朋子	酒井多朗	丹羽ひとみ	松本健一
阿部修	板倉花連	西村彩花	平沢みほ	平沢みさき	平沢もとか	平山雅章
谷田部典子	丸山裕司	斉藤大輔	友利栄子	友利奈月	渡辺美佐子	渡辺幹
谷内薫	谷内サラ	上川晴久	北村康一郎	板倉理恵	平沢はるの	浅見光浩
舟木啓二	舟木江美子					

■ 平成24年 ■

川添楓馬	川添莉奈	菅野浩子	鈴木福志	関田あゆみ	関田ほのか	高木慎平
竹原優樹	田村初枝	富永規子	中丸直也	宮沢節子	田中志郎	野口留奈
森川彰	山内芳江	板倉勇	板倉香	崎田和賀子	崎田実夏子	浅野佳子
岡戸まち子	尾木優志	川口直人	川口洋子	小島力	中里幸雄	南雲妙子
土方桂	朝倉信子	梅原幸路	椎名啓雄	椎名祐貴	蜂屋健次	細渕一
馬淵泉	馬淵渚	丸山有紀子	丸山久瑠美	阿部りる	安藤さとみ	安藤佑悟

ダニエル・ロホン

■ 平成25年 ■

大和田洋子	久保潤一郎	斉則子	斉陽日樹	水谷剛	横山牧人	横山美香
阿部仁士	阿部純子	香川とも子	香川千夏	肥沼也寸志	嶋田綾音	鶴町朋子
長尾明和	野見山淳子	野見山初音	逸見淳	渡邊光太郎	木脇幸洋	木脇幹太
小嶋耕平	中里怜	山田陽一	朝倉未悠	椎名洸太	武内三奈	丸山奈茄美
丸山和加奈	吉岡ひとみ					

40th

東村山
市民テニスクラブ
協議会

4. 役員一覧



役員一覧

※ ●—● 部分は任期期間

元号	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4
職名 西暦	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
名誉会長													太田芳郎							
相談役													浦川親俊							
相談役													阿辺川貞夫							
相談役																	筑紫孝			
会長									柳利夫											
副会長																				
副会長																				
副会長																				
技術部長											武谷直也									今井奨
副部長										長井庸二				吉永洋司			広瀬裕	浅見耕司		
副部長																	武田栄美子	藤岡信照		
副部長																				
副部長																				
会計部長				高瀬欣也				笹野井孝之				早川洋一		岡山俊吉		鶴丸信		河嶋和興		浜良一
副部長							木村美代子		栗原千枝子			松本美智子		酒井雄子		岡田房子			里見洋子	
広報部長				国川哲男			川村英明							佐藤多喜男				黒岩俊雄		
副部長								新井基之			佐藤多喜男		黒岩俊雄		平沢正憲		藤田昭高		山崎栄三	
会計監査員									早川洋一		横山久磨尾		杉山邦夫		増本建一		中根一夫		岡田房子	
副会計監査員										工藤昭		宮沢弘二		新堀篤		高瀬欣也		岡田房子		河嶋和興
事務局長			鈴木謙男	山口迪郎			笹野井孝之						石黒末広	菊池裕		広瀬裕			谷古宇勝美	
事務局員			山口迪郎					儀間進			松井貞二	石黒末広	菊池裕	広瀬裕		谷古宇勝美		林利法		安彦藤作
事務局員															中根一夫		阿萬実枝子		三井ささ子	
事務局員															山口悦子					田中誠
事務局員												武田栄美子	江原匡重		金丸敏真		田中通隆		氏原邦博	
事務局員												浅田元弘	荻野洋子						小武海一喜	
事務局員																				
コート取部長																				
東住クラブ		柳利夫			笹野井孝之					長井庸二					広瀬裕	浅見耕司	河嶋和興			
萩山クラブ																				坂井雅治
本町クラブ					阿辺川貞夫				米沢行夫				桜井宣行		三安孝子		佐藤多喜男		坂井雅治	
思多クラブ				浦川親俊					中根一夫			松井貞二				吉永洋司			川路俊一	
青葉クラブ					米田寛		高瀬欣也		米田寛							藤岡信照			江原由高	
美住クラブ										河野好明									望月淳一	
栄クラブ																				
諏訪クラブ																				浅田元弘

1973.5.3
創立

10
周年

20
周年

[illegible]

▼ 太田名誉会長
逝去 (H6)

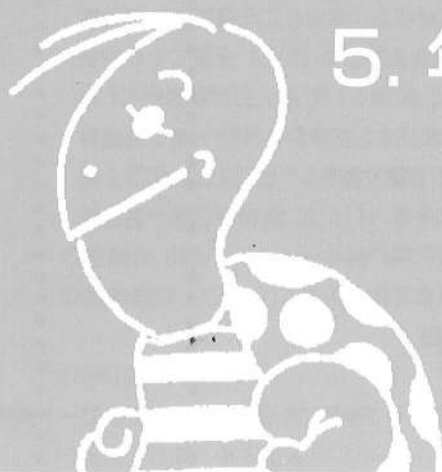
▼ 柳名誉会長
逝去 (H9)

30
周年

40
周年

40th

東村山
市民テニスクラブ
協賛会



5. 年 表

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

1973 年

(昭和 48 年)

5 月

◎ (5/3) 10:00-12:00 創立総会 (於柳宅)

塚村昌治・川見栄・若林愛子他 6 名参加

・名称「東住宅テニスクラブ」(略称、東住クラブ)

・会長(柳利夫) 技術(塚村昌治) 会計(俵郁子)

6 月

・第 10 回春季市民体育大会参加

・会員名簿第 1 号発行 (男 13 名、女 12 名)

・早朝練習 (7:00-9:00) 始まる

・硬庭連主催テニス教室に参加 (男女 8 名)

・練習案内ポスター掲示 (東住宅掲示板)

9 月

・第 10 回秋季市民体育大会参加

・コート予約について「貸出と運用の民主化」を市に要請

12 月

◎第 2 回定期総会 (12/16) 19 名参加 (会員 41 名)

月会費 200 円 (3 ヶ月分前納制)

東村山市硬式庭球連盟
(以下硬庭連) 加盟

1974 年

(昭和 49 年)

1 月

・打ち初め (1/3)

4 月

◎臨時総会 (4/7) 恩多コート脇

早朝練習開始と現況確認

5 月

・会員名簿第 2 号配布

8 月

・全会員に「硬庭連主催の初心者教室に全面的な協力を」要請文配布

9 月

◎臨時総会 (9/1) 32 名参加

当面の練習日程: 秋季大会ダブルス組合せ

10 月

◎臨時総会 (10/27) 22 名参加 (会員 49 名)

会則の提案 (継続審議): 恩多クラブ (11/1 付) の新設

役員の選出: 新日本体育連盟への加盟の検討開始

11 月

・会員名簿第 3 号の発行 (含恩多クラブ)

☆恩多クラブ新設

12 月

◎第 3 回定期総会 (12/15) 26 名参加

①東住と恩多の分離を確認

②練習は合同

③休部制度の創設

④新日本体育連盟、加盟 (1975.1.1 付) を承認

恩多コート照明点灯

1975 年

(昭和 50 年)

1 月

・打ち初め (1/4)

◎臨時役員会 (1/26)

①コート面数 3 面へ

②土日練習パターン定着化

2 月

・コートの予約とボール当番制の導入

・新体連「飯田藍テニス教室」6 名参加

3 月

・東住・恩多クラブ機関紙創刊 (名称「ガット」担当: 武谷)

4 月

第 12 回春季市民大会 武谷・山口組 優勝

5 月

◎臨時役員会 (5/4)

①スポーツ障害保険加入

②夏季合宿

③ナイター練習実施

恩多運動公園 2 面増設

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 6月 ・ガット第2号発行（市役所・新体連に配布）
- 7月 ・第1回夏季合宿（7/25-27）忍野村 28名参加
- 8月 ・“水曜ナイター”開始（8/13）水曜 19:00-21:00
◎第4回定期総会（8/31）33名参加（男21, 女12名）
本町クラブ創設：運営委員会、機関紙部会確立
- 9月 ・第1回東住クラブ、恩多クラブ対抗戦
（男子ダブルス2, 同シングルス3）ナイター
- 10月 ◎臨時総会：本町クラブ 12/1 創設
名称：東村山市民テニスクラブ協議会と改称
・ガット第3号発行
- 12月 ・打ち納め（恩多A.B.Cコート）午後懇親会
- 1976年 （昭和51年）
- 1月 ・打ち初め（1/10）恩多コート
- 2月 ・新体連主催“房前博人教室”5名参加 世田谷総合体育館
・「ガット」第4号 発行名義：市民テニスクラブ協議会
- 3月 ・新体連“飯田藍テニス教室”4名参加
- 5月 ・東住クラブ総会（5/9）東住宅集会所：夏季合宿 片品村
・第13回春季市民大会 男12組 女5組参加
- 7月 ・硬庭連：第1回指導者教室（太田芳郎・森清吉）
- 8月 ・第2回夏季合宿（8/12-14）（男12, 女9, 子供12）
・硬庭連：初心者教室（8/21）恩多コート
- 10月 ◎役員会（10/17）：ガット発行隔月とする
- 12月 ◎臨時総会（12/19）：新入会員募集年2回、会費6ヶ月前納
- 1977年 （昭和52年）
- 1月 ・打ち初め（1/8）恩多コート
・出席簿設置、各人記入
- 2月 ◎役員会：運営委員会構成を決定
会長、事務局長、会計部長、技術部長、広報部長、各クラブ会長
- 5月 ◎第5回定期総会（5/8）東住宅17棟：会則と予算決定
- 7月 ・第3回夏季合宿（7/22-24）那須グリーンウッドテニスランチ
（男19, 女8, 子供4）
- 9月
- 10月 ◎臨時総会（9/23）市民センター
- 11月 硬庭連：第1回太田杯争奪市内団体戦（以下太田杯団体戦）
- 12月 ・第1回太田杯争奪東村山対柏崎戦（11/12-13）特集（ガット10月号）
・納会（12/18）午後 総会・懇親会
- 1978年 （昭和53年）
- 1月 ・打ち初め（1/8）38名参加
・房前教室開催（1/29, 2/5, 2/12, 2/19, 2/26）
- 2月 ◎第6回定期総会
- 3月 ・ガット12号より編集長川村英明：月刊化、広報部の確立
- 4月 ☆市営久米川コート5面開設（4/29）式典
- 5月 ・定期練習を久米川コートへ移す（ナイターを除く）
・ミニ合宿：河口湖丸富荘

太田芳郎氏

硬庭連会長に就任

森清吉氏

硬庭連副会長に就任

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 6 月 ・ 久米川コートの日よけ・ベンチ作り
- ・ 新入会員説明会開催
- 7 月 ・ 第 4 回夏季合宿：那須グリーンウッドテニスランチ
- 8 月 ・ クラブ対抗戦実施
- 9 月 ・ 浦和市 “常盤ファミリーテニスクラブ” 親善試合（第 2 回）
- 11 月 第 2 回太田杯団体戦
- 12 月 ・ 打ち納め（12/23）久米川コート、東住宅 17 棟集会所

志賀弘昭氏逝去（11/10）

1979 年 （昭和 54 年）

- 1 月 ・ 打ち初め（1/4） 32 名参加
- ・ 新入会員説明会（1/7）
- 2 月 ◎第 7 回定期総会（2/4）：美住クラブ新設：ナイター 3 面へ
- 3 月 ・ 美住クラブ創立（3/10）
- ・ 三多摩新体連主催大会 栗原・下谷組 初優勝
- 5 月 第 3 回太田杯男子団体戦
- 第 1 回太田杯女子団体戦
- 6 月 ・ 新入会員説明会（6/24）
- 7 月 ・ 第 5 回夏季合宿（7/27-29）那須グリーンウッドテニスランチ
- 11 月 ・ 浦和市 “常盤ファミリーテニスクラブ” 親善試合（第 3 回）
- 12 月 ・ 土曜日午前 3 面使用開始
- ・ 打ち納め

1980 年 （昭和 55 年）

- 1 月 ・ 打ち初め（1/5） 57 名参加
- ・ 新入会員説明会（1/6）
- 2 月 ◎第 8 回定期総会（2/10）於市役所大会議室 34 名参加
- ・ 房前教室開催（2/16, 17, 23, 24）
- 3 月 ・ 指導者教室（3/15, 20）
- 本井満コーチ 蝶間林利男サブコーチ、中川英明 24 名参加
- 5 月 ・ 太田芳郎先生夫妻の喜寿・傘寿を祝う会開催（5/3）
- 第 4 回太田杯男子団体戦
- 第 2 回太田杯女子団体戦
- 7 月 ・ 第 6 回夏季合宿（7/25-27）柏崎市 大家 39 名参加
- 8 月 ・ ミニ合宿（8/9-10）：北軽井沢 太田山荘
- ・ ミニ合宿：河口湖
- ・ 親善試合：対市役所チーム
- 12 月 ・ 打ち納め（12/20）新入会員説明会

1981 年 （昭和 56 年）

- 1 月 ・ 打ち初め（1/4） 75 名参加
- ◎役員会：新入会員受け入れは欠員補充程度
- 名誉会長：太田芳郎、相談役：浦川親俊、阿辺川貞夫
- ・ 硬庭連・軟庭連でコート利用計画調整
- 2 月 ◎第 9 回定期総会（2/8）

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 5月 ● 第5回太田杯男子団体戦
● 第3回太田杯女子団体戦
- 6月 ● ・ミニ合宿(6/5-7) 蓼科高原
- 7月 ● ・第7回夏季合宿(7/24-26) 那須 11名参加
- 10月 ● ◎役員会：全会員の上限を450名とする
- 11月 ● ・指導者教室 本井満コーチ
- 12月 ● ・新入会員説明会 80名参加
● ・打ち納め(12/19) 久米川コート
- 1982年 (昭和57年)
- 1月 ● ・打ち初め(1/3) 久米川コート 65名参加
- 2月 ● ◎第10回定期総会(2/21) 市民センター 31名参加
● 会費値上げ：10周年記念事業費100万円計上決定
● 新日本体育連盟脱会
- 3月 ● ・指導者教室(3/14) 本井満コーチ 16名参加
- 5月 ● ・10周年記念祝賀行事企画委員会開始(5/9)：年史(誌)編纂、
● マーク制定、顕彰、記念植樹、試合、祝賀会の担当責任者決定
- 6月 ● 第6回太田杯男子団体戦
● 第4回太田杯女子団体戦
- 7月 ● ・第8回夏季合宿(7/23-25) 箱根後楽園 37名参加
- 9月 ● ・10年誌編集委員会 一橋大学関春南教授訪問、協力要請
- 10月 ● ・10年誌編集委員会座談会開催(10/23)
● ・東村山市民スポーツセンター落成記念式典(10/31)
● 社会体育優良団体として顕彰される
- 12月 ● ・10周年記念式典と祝賀会(12/12) 市民センター
● 招待者16名参加 200余名参加
● 浦川親俊、阿辺川貞夫 両相談役を顕彰
● ・新入会員説明会(12/26) 48名参加
- 1983年 (昭和58年)
- 1月 ● ・打ち初め(1/5)
● ・新入会員：95名(東19、恩18、本18、青17、美23)
- 3月 ● ◎第11回定期総会(3/6) 40余名参加 会員数406名
● 各クラブ運営費予算化(交付金スタート)
- 5月 ● 太田杯団体戦(5/21,28)
● 7回男子優勝 恩多A 準優勝 本町
● 5回女子優勝 恩多A 準優勝 本町
- 6月 ● ・10周年記念誌、ワッペン配布
● ・市民テクラブ対抗戦(6/26)
● Aチーム1位 恩多A 2位 東住 3位 青葉
● Bチーム1位 本町 2位 恩多B 3位 美住
- 7月 ● ・夏季合宿(7/22-24) 忍野 大白荘 20名参加
- 9月 ● ・ネーム入りトレーナー作成

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 12月
 - ・新入会員受付(12/4-11) 久米川コート
 - ・クラブ対抗戦(12/18)
 - ・忘年会(12/18) 東住クラブ担当 スポーツセンター
 - ・打ち納め(12/25)

1984年 (昭和59年)

- 1月
 - ・打ち初め(1/7)
 - ・新入会員:70名(東9, 恩6, 本15, 青12, 美28)
- 2月
 - ・房前教室(2/21, 22, 24) スポーツセンター第一体育館
- 3月
 - ◎第12回定期総会(3/4) 40名参加 会員348名
 - ①事務局体制の充実—女性の参加
 - ②クラブ運営費増額
- 5月
 - 太田杯団体戦(5/27, 6/7)
 - 8回男子優勝 東住A
 - 6回女子優勝 恩多A 準優勝 本町
- 6月
 - ・太田名誉会長夫妻 ダイヤモンド婚祝賀会(6/17)
 - 120名参加 NHKラジオ・朝日新聞で報道
- 7月
 - ・市民テマーク入り半袖テニスウェア申込受付(3840円)
 - ・「なるほどザ・テニス」ガットへ連載開始 武谷技術部長
 - ・夏季合宿(7/27-29) 九十九里チロリン村 大人8名参加
- 8月
 - ・50年度新入会員へのアンケート結果報告
- 11月
 - ・市営コート代値上げ発表(1時間240円→300円)
 - ・新入会員募集(11/1-12/16)
- 12月
 - ・部内大会(12/9):ミックスダブルス戦 技術部主催
 - ・新入会員オリエンテーション(12/16) スポーツセンター 新入会員84名の内、76名参加
 - ・夏季合宿についてのアンケート調査
 - ・打ち納め(12/23)

1985年 (昭和60年)

- 1月
 - ・打ち初め(1/6)
- 2月
 - ◎第13回定期総会(2/17):太田名誉会長挨拶
 - 夏季合宿アンケート結果報告:運輸省跡地計画
- 5月
 - 太田杯団体戦(5/19, 26)
 - 9回男子準優勝 東住A
 - 7回女子優勝 恩多 準優勝 本町A
- 6月
 - ・ガット100号達成:記念記事 太田名誉会長、柳会長、川村前広報部長
 - ・テニス保険加入
 - ・ガット創刊号紹介
- 11月
 - ・新入会員募集(11/1-30)
 - ・合宿(11/8-10) 23名参加 本井・蝶間林・高橋コーチ
- 12月
 - ・新入会員説明会(12/8) 71名参加(新入会員81名)
 - ・太田芳郎名誉会長より著書120冊寄贈
 - ・部内対抗戦中止(12/8)
 - ・忘年会(12/22):61名参加 :本町クラブ担当
 - ・打ち納め(12/22)

☆会員同士結婚第1号
坂井雅治・小林紀子

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 1986 年 (昭和 61 年)
- 1 月
- ・打ち初め (1/11)
 - ・会員数 346 名 (内新入会員 81 名) (東 54, 恩 71, 本 74, 青 44, 美 103)
- 2 月
- ◎第 14 回定期総会 (2/16)
 - 慶弔金を会則で明示
- 3 月
- ・用具相談日設定 (月 1 回): フジショップの協力
- 4 月
- ・ガット連載記事「初心者への注意と基礎的練習法」開始
- 5 月
- ・ガット連載記事「なるほどザ・テニス」最終回
 - ・ガット配布率向上策: 各クラブ毎の配布とする
 - 太田杯団体戦 (5/18, 25)
 - 10 回男子団体戦 (5/18) 準優勝 恩多
- 7 月
- 8 回女子団体戦 (5/25) 優勝 恩多 A
 - ・15 周年記念行事実行委員会
- 8 月
- (各クラブ 2 名、事務局・技術部各 1 名 計 12 名)
 - ・美住クラブ分割化検討: 現状のままとする
- 11 月
- ・毎日テニス選手権大会 武谷千枝子優勝 (45 歳以上)
 - ・15 周年記念行事予定決定 ('87/6/14) 昭和の森コート 6 面
 - ・朝日タウンズ芝原トーナメント (11/14)
 - 女子ダブルス優勝 武田栄美子・吉永基子組
 - 女子シングルス優勝 武田栄美子
- 12 月
- ・新入会員オリエンテーション (12/7)
 - 新入会員 (内訳: 東 6, 恩 6, 本 6, 青 15, 美 20)
 - ・忘年会 (12/14) スポーツセンター 青葉クラブ担当
 - ・15 周年記念行事実行委員長 上野一彦 (恩多) 決定
 - ・ガット「初心者への注意と基礎的練習法」最終回
 - ・打ち納め (12/19)
- 1987 年 (昭和 62 年)
- 1 月
- ・打ち始め (1/4)
 - ・会員数 320 名 (内訳: 東 41, 恩 67, 本 59, 青 50, 美 103)
 - ◎第 15 回定期総会 (2/15): 40 名参加
- 2 月
- ①会費年払い
 - ②合宿は各クラブ主体
 - ③ガット配送業者委託
 - ・市民テ所有 ガット張り機・球出し機 放出予定
- 3 月
- ・「ガット」郵送開始
- 4 月
- 太田杯団体戦 (5/24, 5/31)
- 5 月
- 9 回女子優勝 恩多 A 準優勝 本町 A
 - 11 回男子優勝 恩多 A
 - ・創立 15 周年記念テニス大会 (6/14) 127 名以上参加
- 6 月
- 昭和の森テニスクラブ (屋内 6 面 屋外 3 面) 紅白試合
 - 功労賞 太田名誉会長 柳会長 武谷技術部長
 - 記念品 ネームカード 各クラブ色別
 - ・創立 15 周年記念第 1 回ジュニア大会 (6/17) 久米川コート
 - 優勝 加藤・遠藤 準優勝 江原・田畑 3 位 中根・広瀬

☆会員同士結婚第 2 号
木村宏・藤井玄

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 7月
 - ・自動球出機を都立東村山高校、都立東村山西高校へ寄贈
 - ・本町クラブ合宿(7/25) 西軽山荘 17名参加
- 8月
 - ・コート草取り(8/1, 2, 8, 9)
- 10月
 - ・本町対青葉親善対抗試合(10/25): 東邦運送コート
 - ・第9回朝日レディース都大会優勝 武田・曾雌組
- 11月
 - ・新入会員募集(11/1-30)
 - ・久米川コートに新しい物置設置
 - ・第9回朝日レディース全国決勝大会3位 武田・曾雌組
- 12月
 - ・新入会員オリエンテーション(12/13) 新入会員27名(内訳: 東6, 恩7, 本5, 青4, 美5)
 - ・会費1年分前納制とする
 - ・忘年会(12/13) 久米川ボウル 美住担当 85名参加
 - ・打ち納め(12/27)

1988年 (昭和63年)

- 1月
 - ・打ち初め(1/10)
 - ・1年単位の初級者・初心者スクール開始
- 2月
 - ◎第16回定期総会(2/21) : 会員数289名
 - ①会費年払いに伴う会則変更
 - ②クラブ編成問題討議
- 4月
 - ・美住クラブ お花見懇親会 大人28名参加、子供6名参加
- 5月
 - 太田杯団体戦(5/22, 5/29)
 - 男子優勝 恩多A 準優勝 東住A
 - 女子優勝 恩多A 準優勝 青葉B
- 8月
 - ・本町クラブ合宿(8/5-6) 西軽山荘
 - ・美住クラブ合宿(8/20-22) 山中湖
- 9月
 - ・入会案内作成
- 11月
 - ・新入会員受付
 - ・森教室(11/26-27) 中級対象 コーチ: 朝日生命コーチ陣
 - 第2回市民テ ジュニア大会
 - 優勝 平沢・杉山 準優勝 古川・杉山 3位 田端・黒岩・川上 4位 山口・荒木
- 12月
 - ・新入会員オリエンテーション(12/11)
 - 新入会員66名(内訳: 東6, 恩11, 本16, 青12, 美21)
 - ・市民テ財政: 単年度の支出が収入を超過
 - ・忘年会(12/18) 久米川ボウル 担当 東住クラブ

☆会員同士結婚第3号
間野雅之・鍵山典子

1989年 (昭和64年 平成元年)

- 1月
 - ・打ち初め(1/7)
- 2月
 - ◎第17回定期総会(2/19) 会員数262名
 - ①6, 10, 11月ナイター中止
 - ②クラブ交付金、1200円で人数比率で配布
 - ③休部者の半年間の復帰可
- 5月
 - 太田杯団体戦
 - 男子優勝 青葉A 準優勝 恩多A
 - 女子優勝 恩多A 準優勝 青葉A

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 7 月
 - ・クラブ再編成について審議 10 月を目処に継続審議
 - ・青葉・本町合同合宿 (8/26-27) 山中湖 青 12 名参加 本 9 名参加
 - ・美住クラブ合宿 (8/26-28) 道志村
- 8 月
 - ・改正した会則作成・配布
 - ・東住クラブ対策審議 (4 クラブ体制案、5 クラブ体制案)
 - ・東住クラブ廃止、恩多クラブと合併
- 9 月
 - ・新入会員募集 (11/1-30) : 入会案内しおり公民館配布
- 10 月
 - ・恩多クラブ合宿 (11/11-12) 九十九里センター
- 11 月
 - ・忘年会 (12/3) スポーツセンター 担当恩多 98 名参加
 - ・新入会員オリエンテーション (12/10) 新入会員 128 名
- 12 月
 - ・ジュニア練習試合 (12/17) 最優秀ペア 佐藤・川路組
 - ・打ち納め (12/24)

1990 年 (平成 2 年)

- 1 月
 - ・打ち初め (1/16)
 - ・会員数 : 353 名 (内訳 : 恩 94, 本 97, 青 56, 美 106)
- 2 月
 - ◎第 18 回定期総会 (2/18)
- 3 月
 - ・早朝復活 : 代替コート適用
 - ・コート取りチーフ合同会議開催 (3/3)
 - ・森教室 (3/31)
- 4 月
- 5 月
 - 太田杯団体戦 (5/20,5/27)
 - 男子優勝 恩多 A 準優勝 本町 A
 - 女子優勝 青葉 A 準優勝 美住
- 7 月
 - ・スクール用キャスター 2 個購入
- 8 月
 - ・本井教室 (7/7-8) スポーツセンター 25 名参加
 - ・青葉クラブ合宿 (8/25-26) 河口湖
 - ・美住クラブ合宿 (8/26-27) 道志村 28 名参加
 - ・本町クラブ合宿 (8/25-26) 中軽井沢 20 名参加
- 9 月
 - ・名札変更 (来年度会員より透明 U 字アクリル板) 決定
- 10 月
 - ・恩多クラブ親睦大会 (10/10) 立川ルーデンス 24 名参加
- 11 月
 - ・新入会員募集 (11/10-11/25) : 人数制限 50 名
 - ジュニアは会員の子供に限る : 11 歳から中学 3 年まで
- 12 月
 - ・忘年会 (12/2) スポーツセンター 担当 本町 81 名参加
 - ・新入会員オリエンテーション (12/2)
 - 新入会員 54 名 (内訳 : 恩 8, 本 8, 青 11, 美 27)
 - ・部内大会 (12/6) 技術部主催 優勝 恩多 準優勝 青葉
 - ・会員数 350 名 (内訳 : 恩 98, 本 75, 青 57, 美 120)
 - ・打ち納め (12/25)

1991 年 (平成 3 年)

- 1 月
 - ・打ち初め (1/6)
 - ・本町クラブ総会 (1/15) 美住クラブ総会 (1/19)
- 2 月
 - ・青葉クラブ総会 (2/10)
 - ◎第 19 回定期総会 (2/17)
 - ①春・秋の大会時期民間コート確保
 - ②会員均等化は運営委員会で検討

☆会員同士結婚第 4 号
永倉誠・新開里美
浦川親俊相談役逝去
(81 歳)

阿辺川貞夫相談役逝去

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 3 月
 - ・美住クラブ スキー合宿 (3/23-24)
 - ・青葉クラブ 狭山団地クラブと練習会 (3/24)
- 4 月
 - ・「会員均等化委員会」初会合 会長 山本豊 副会長 今井奨
- 5 月
 - ・美住クラブ練習会 (5/4) 東邦生命グラウンド 46 名参加
 - ・第 5 回均等化委員会報告 : 5 クラブに分ける
- 太田杯団体戦
 - 男子準優勝 青葉 A
 - 女子優勝 恩多 A
- 6 月
 - ・青葉クラブ 女子練習会 (6/13)
 - ・均等化委員会
- 7 月
 - ・均等化委員会報告 (7/15)
- 8 月
 - ・均等化委員会答申 (8/4) 1 クラブ 60-70 を想定 5 クラブ制
 - ・恩多・本町合同合宿 (8/24-25) 山中湖 30 名参加
 - ・青葉クラブ合宿 (8/31-9/1) 山中湖 30 名参加
 - ・美住クラブ合宿 (8/24-26) 山中湖 29 名参加
- 10 月
 - ・クラブ再編成討議
 - 本町クラブ→萩山クラブ
 - 恩多クラブ→恩多クラブ
 - 青葉クラブ→青葉クラブ
 - 美住クラブ→美住クラブ
 - 諏訪クラブ→新設 (美住クラブを分割・再編)
- 11 月
 - ・青葉クラブ練習会 (11/3) J S S
 - ・ミックスハンディ戦 (11/17)
 - ・新入会員募集 : 50 名募集
 - ・本町クラブ練習会 (11/24) 西武球場コート
- 12 月
 - ・クラブ対抗戦 (12/1) 技術部主管
 - ・忘年会 (12/8) スポーツセンター 担当 青葉クラブ
 - ・新入会員オリエンテーション (12/2) 42 名
(内訳 : 恩 1, 萩 15, 青 11, 美 7, 諏 8)
 - ・諏訪クラブ発足総会 初代会長 浅田元弘
 - ・美住練習会 (12/22) 東邦生命グラウンド
 - ・打ち納め (12/29)
- 1992 年 (平成 4 年)
 - 1 月
 - ・打ち初め
 - 2 月
 - ・指導者講習会 (2/11) J S S 森川コーチ
 - ◎第 20 回定期総会 (2/16) 会員数 344 名
 - ①諏訪クラブ発足
 - ②本町クラブが萩山クラブと改称
 - ・太田名誉会長「自叙伝」30 冊購入 希望者に配布
 - 5 月
 太田杯団体戦
 - 男子優勝 恩多 A
 - 女子優勝 恩多 A
 - 6 月
 - ・20 周年記念テレホンカード用写真撮影 (6/21)
 - 7 月
 - ・青葉・萩山合同合宿 (7/24-25) 山中湖 47 名参加

太田芳郎名誉会長
東村山名誉市民第 1 号
(11/28)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 8 月
- ・ 恩多クラブ合宿 (8/22-23) 山中湖 28 名参加
 - ・ 諏訪クラブ合宿 (8/22-24) 忍野村
 - ・ 技術部員用帽子を作成
 - ・ 久米川コート清掃 約 50 名参加
 - ・ 記念品テレホンカード : 功労者表彰 柳利夫会長・武谷直也副会長
 - ・ 「ガット」No188 号 創立 20 周年特集号 (10/1)
- 10 月
- ・ 忘年会 (12/5) 担当 美住クラブ 102 名参加
- 12 月
- ・ 親善イベント (12/13): ミックス主体試合 主催 技術部
 - ・ ターゲットテニス: 甘酒サービス 70 名参加
 - ・ 技術部とスクール生の懇親会 (12/20)
 - ・ 久米川自治会館 47 名参加
 - ・ 本井教室 (12/19-20) スポーツセンター&久米川コート
 - ・ 本井・蝶間林コーチ 38 名参加
 - ・ 日本テニス協会機関誌 JTA news No132 市民テ紹介記事
- (平成 5 年)
- 1993 年
- 1 月
- ・ 打ち初め (1/10)
 - ・ 森教室 (1/30-31) 久米川コート 参加費 4000 円
 - ・ スクール生過剰のため 26 名を卒業生とする
 - ◎第 21 回定期総会 (2/21) 70 名以上参加 会員数 302 名
- 2 月
- ① 1994 年より会費値上げを決定
 - ② 早朝 12 - 2 月をオフ
 - ③ ナイター練習を有料とする
- 太田杯団体戦
- 5 月
- 男子優勝 恩多 A
 - 女子優勝 恩多 A
- 8 月
- ・ 萩山クラブ合宿 (8/21-22) 忍野村 25 名参加
 - ・ 諏訪・美住合同合宿 (8/21-23) 富士テニスロッジ 52 名参加
 - ・ 青葉クラブ合宿 (8/28-29) 塩原 36 名参加
 - ・ 恩多クラブ合宿 (8/28-29) 忍野村 22 名参加
 - ・ 技術部合宿
 - ・ 久米川コート整備 (9/18) テープ張替 フェンス修復
- 9 月
- ・ 「ガット」200 号発行 (10/1) 太田名誉会長寄稿
- 10 月
- ・ 森川教室 (10/11) 技術部球出しレッスン
- 12 月
- ・ 忘年会 (12/4) 担当 諏訪クラブ
- 1994 年
- (平成 6 年)
- 1 月
- ・ 打ち初め (1/9)
 - ◎第 22 回定期総会 (2/20) 会員数 344 名
- 2 月
- ① 水曜ナイター会費 5000 円、ビジター 500 円
 - ② 運営委員会役員の選出、2 年ごとの各クラブ持ち回り
 - ・ 本井教室 (3/5, 26) 当初予定 1/29-30 が雪のため延期
- 3 月
- ・ 本井満・蝶間林利男コーチ
 - ・ 恩多コートに市民テ倉庫設置

太田芳郎名誉会長逝去
享年 94 歳 (3/29)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 5 月 ・柳会長都民体育大会総合開会式で表彰さる（5/22）（東京都体育功労者）
太田杯団体戦
男子準優勝 恩多 A（5/22）
女子準優勝 青葉 A（5/29）
- 8 月 ・萩山クラブ合宿（8/20-21）忍野村 26 名参加
・諏訪・美住合同合宿（8/20-22）富士テニスロッジ 48 名参加
・青葉クラブ合宿（8/27-28）山中湖 26 名参加
・恩多クラブ合宿（8/27-29）新潟市 15 名参加
- 11 月 ・技術部イベント（11/6）
- 12 月 ・運動公園 C・D コート給水槽建設のため取り壊し（12/1）
・忘年会（12/3）担当恩多クラブ スポーツセンター 75 名参加
- 1995 年 （平成 7 年）
- 1 月 ・打ち初め（1/8）
◎第 23 回定期総会（1/29）会員 311 名 43 名参加
名誉会長・相談役の位置づけと会費不要を明文化
- 3 月 ・森川教室（3/21）技術部球出しの仕方レッスン
・故太田名誉会長 1 周忌墓参（3/26）：市教育委員会・体協・市民テ有志
- 5 月 10 数名参加
太田杯団体戦
男子優勝 恩多 A 準優勝 萩山 A（5/21）
女子優勝 青葉 A 準優勝 萩山 A（5/28）
- 6 月 ・本井教室（6/24-25）スポーツセンター：本井・熊本・蝶間林コーチ
- 8 月 ・萩山クラブ合宿（8/19-20）忍野村 23 名参加
・諏訪・美住クラブ合同合宿（8/19-21）富士テニスロッジ
・青葉クラブ合宿（8/26-27）忍野村 34 名参加
・恩多クラブ合宿（8/26-28）白子海岸 20 名参加
- 11 月 ・技術部イベント（11/5）混合ダブルス 80 数名参加
- 12 月 ・忘年会 担当 萩山クラブ プリヂストンクラブ 69 名参加
- 1996 年 （平成 8 年）
- 1 月 打ち初め（1/7）
◎第 24 回定期総会（1/28）
各クラブ会員数の開きが検討課題
- 3 月
- 5 月 太田杯団体戦
男子 A 優勝 恩多 A 準優勝 青葉 A
男子 B 優勝 美住 B 準優勝 美住 C
女子 A 優勝 青葉 A
女子 B 優勝 青葉
- 6 月 ・市町村選手権で曾々木・小檜山組優勝
・本井教室（6/22-23）スポーツセンター

上釜宏一氏逝去（3/26）

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 8月 ・萩山クラブ合宿(8/24-25) 山中湖
 ・諏訪・美住合同合宿(8/17-19) 富士テニスロッジ 60 数名参加
 ・青葉クラブ合宿(8/24-25) 軽井沢 18 名参加
 ・恩多クラブ合宿(8/24-26) 静岡厚生年金休暇センター 17 名参加
 9月 ・技術部合宿(9/7-8) 忍野村 16 名参加
 11月 ・技術部イベント(11/4) 80 名参加
 12月 ・忘年会(12/8) 担当青葉クラブ スポーツセンター 52 名参加

1997 年 (平成 9 年)

- 1月 ・打ち初め(1/5)
 ◎第 25 回定期総会(1/26)
 2月
 3月 ・森川コーチ指導者レッスン(3/20)
 ・市町村大会で曾々木・小檜山組 3 連覇
 5月 太田杯団体戦(5/18, 6/1)
 男子 A 優勝 恩多 準優勝 美住 A
 男子 B 優勝 諏訪 B 準優勝 美住 D
 女子 A 優勝 青葉 A 準優勝 諏訪 A
 女子 B 優勝 青葉 B 準優勝 萩山 B
 6月 ・久米川コート清掃(6/22, 29) 排水溝清掃・草刈り
 7月 ・青葉クラブ合宿(7/12-14) 31 名参加
 ・諏訪クラブ合宿(7/12-14) 新潟湯沢 42 名参加
 柏崎プロスタッフ TC と合同
 8月 ・七中コート清掃(8/1)
 ・萩山クラブ合宿(8/2-3) 軽井沢 26 名参加
 ・恩多クラブ合宿(8/23-25) 静岡厚生年金休暇センター 24 名参加
 ・美住クラブ合宿(8/23-25) 富士テニスロッジ 49 名参加
 9月 ・本井教室(9/6) スポーツセンター 21 名参加
 ・技術部合宿(9/13-14) 富士テニスロッジ 15 名参加
 10月 ・Meiji テニスフェスタ(10/10-11) 若手男女各 8 名参加
 11月 ・第 1 回柳杯ミックスダブルス団体戦(11/16)
 14 チーム参加 優勝 美住 A 準優勝 恩多 A
 12月 ・忘年会(12/6) 担当 美住クラブ スポーツセンター 76 名参加

柳利夫名誉会長逝去
(2/27)

1998 年 (平成 10 年)

- 1月 ・打ち初め
 ・故柳名誉会長の追悼文集「すまん」発行
 ◎第 26 回定期総会(1/25) 会員数 325 名
 20 周年記念剰余金を 25 周年記念行事会計に計上
 2月 ・J S S 森川コーチによる指導者講習会(2/11) 17 名参加

中根一夫氏逝去(1/12)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 5 月 太田杯団体戦 (5/18, 6/1)
 男子A優勝 美住A 準優勝 恩多A
 男子B優勝 美住C
 女子A優勝 恩多A 準優勝 青葉A
- 7 月 ・本井教室 (7/17-18) 西武ドーム (屋外)
- 8 月 ・青葉クラブ合宿 (8/1-2) 軽井沢 16名参加
 ・諏訪クラブ合宿 (8/8-10) 軽井沢 29名参加
 ・恩多クラブ合宿 (8/21-22) 春日温泉 23名参加
 ・美住クラブ合宿 (8/22-24) 富士テニスロッジ 56名参加
 ・萩山クラブ合宿 (8/29-31) 佐久
- 9 月 ・技術部合宿 (9/11-12) 春日温泉
- 11 月 ・「ガット」25周年特集号 (11/1)
 ・市民テ 25周年記念式典 (11/8)
 記念品配布、折り畳み式キャスター 4台購入
 ・第2回柳杯ミックスダブルス団体戦 (11/8) 14チーム
 優勝 美住A 準優勝 恩多A
- 12 月 ・忘年会 (12/5) 担当諏訪 スポーツセンター 83名参加
- 1999 年 (平成 11 年)
- 1 月 ・打ち初め (1/10)
 ◎第 27 回定期総会 (1/24) 会員数 324 名
 ①議論白熱、2 階ロビーにて延長審議
 ②早朝コートを通年利用
 ③強化練習スクール新設
- 5 月 太田杯団体戦 (5/18, 6/1)
 男子A優勝 美住A 準優勝 萩山A
 女子A準優勝 青葉A
 女子B優勝 青葉A 準優勝 萩山B
- 6 月
- 7 月 ・本井教室 (7/17-18) 西武ドーム (屋外) 18名参加
 ・J S S 森川コーチによる指導者講習会 (7/20) 15名参加
 ・諏訪クラブ合宿 (7/31-8/2) 片品温泉 14名参加
- 8 月 ・萩山クラブ合宿 (8/7-8) 小諸布引温泉 24名参加
 ・恩多クラブ合宿 (8/21-22) 車山高原 28名参加
 ・青葉クラブ合宿 (8/21-22) 軽井沢 20名参加
 ・美住クラブ合宿 (8/23-25) 富士テニスロッジ 53名参加
 ・七中清掃 (8/29)
- 9 月 ・技術部合宿 (9/11-12) 車山高原 25名参加
- 11 月 ・第 3 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (11/7)
 優勝 美住A 準優勝 恩多A
- 12 月 ・忘年会 (12/4) 担当 恩多 スポーツセンター 75名参加

筑紫孝 (元相談役) 逝去

☆会員同士結婚第 5 号
 小嶋大吾・河野まこと

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

2000 年

(平成 12 年)

1 月

・打ち初め (1/9)

◎第 28 回定期総会 (1/23) 会員数 305 名

①会則改定、新入会員の資格に会員の家族を加える

②ジュニア会員は小 4 から中 3 の会員であることを明文化

③運営委員会メンバーに会計副部長を追加

3 月

・本井教室 (3/25-26) 西武ドーム：本井満・田中信弥コーチ 15 名参加

5 月

・東京都チャンピオンシップ 小檜山 (美住) 第 3 位

太田杯団体戦 (5/14, 5/21)

男子 A 優勝 美住 A 準優勝 青葉 A

男子 B 準優勝 美住 C

6 月

・森川教室 (6/4) J S S コート 技術部員 13 名参加

7 月

・諏訪クラブ合宿 (7/29-31) 富士テニスロッジ 12 名参加

8 月

・萩山クラブ合宿 (8/12-13) 小諸 15 名参加

・恩多クラブ合宿 (8/19-20) 車山高原 18 名参加

・青葉クラブ合宿 (8/19-20) 軽井沢 19 名参加

・美住クラブ合宿 (8/19-21) 富士テニスロッジ 45 名参加

9 月

・技術部合宿 (9/9-10) 車山高原 12 名参加

11 月

・第 4 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (11/7) 12 チーム参加

優勝 美住 A 準優勝 諏訪 A

12 月

・忘年会 (12/2) 担当 萩山 久米川ボウル 68 名参加

2001 年

(平成 13 年)

1 月

・打ち初め (1/7)

◎第 29 回定期総会 (1/21) 会員数 302 名

クラブ運営費の特別調整費全額と親睦費の一部を予備費に計上する修正案

3 月

が可決

・JSS 森川コーチ指導者レッスン (3/11) 16 名参加

4 月

5 月

・本井教室 (5/3-4) 西武ドームコート

太田杯団体戦 (5/18, 20)

男子 A 優勝 美住 A 準優勝 諏訪 A

男子 B 優勝 恩多 B

女子 A 優勝 恩多 A

女子 B 優勝 恩多 B

7 月

・東村山西高校コート 3 面が使用可能となる

・久米川コート清掃 (7/21)

・諏訪クラブ合宿 (7/21-22) 柏崎との自主交流 23 名参加

8 月

・恩多クラブ合宿 (8/25-26) 小諸スターダスト 18 名参加

・青葉クラブ合宿 (8/25-26) 軽井沢 15 名参加

・美住クラブ合宿 (8/25-27) 富士テニスロッジ 29 名参加

・七中草刈り (8/26)

9 月

・萩山クラブ合宿 (9/1-2) 山梨アドバンテージ 13 名参加

12 月

・第 5 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (12/2, 9) 12 チーム

I 部優勝 美住 A 準優勝 恩多 A 3 位 諏訪 A

II 部優勝 諏訪 C 準優勝 恩多 B 3 位 青葉 B

・忘年会 (12/8) 担当 青葉 久米川ボウル

石黒安子氏逝去 (1/15)

浅見耕司氏逝去 (4/25)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

2002 年

(平成 14 年)

1 月

・打ち初め (1/6)

◎第 30 回定期総会 (1/20) 会員数 302 名

休部会員は各クラブ会長の承認によりコート使用可 (有料)

2 月

・「ガット」300 号記念記事 (2/1)

3 月

・森川教室 (3/17) J S S コート

4 月

・技術部合宿 (4/13-14) 軽井沢 16 名参加

5 月

・本井教室 (5/5-6) 4 コマ 95 名参加 本井・山本コーチ

・市民テ 30 周年記念行事担当決まる。以下の実行委員会

「市民テの未来像を考える会」：記念行事：記念誌

・久米川コートの試合は全てノーアドとする

太田杯団体戦 (5/26, 6/2)

女子 A 優勝 恩多 A 準優勝 萩山 A

女子 B 優勝 青葉 B 準優勝 諏訪 B

男子 A 優勝 恩多 A 準優勝 諏訪 A

6 月

・久米川コート草取り (6/23) 約 40 名参加

・恩多コートロッカー更新

7 月

・諏訪クラブ合宿 (7/27-28) 小諸スターダスト 30 名参加

8 月

・萩山クラブ合宿 (8/24-25) サンピア佐久 24 名参加

・恩多クラブ合宿 (8/24-25) 小諸スターダスト 12 名参加

・美住クラブ合宿 (8/24-26) 富士テニスロッジ 16 名参加

・七中清掃 (8/31) 18 名参加

・青葉クラブ合宿 (8/31-9/1) 軽井沢 15 名参加

12 月

・第 6 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (12/1, 8, 15) 12 チーム参加

I 部優勝 恩多 A 準優勝 美住 A

II 部優勝 諏訪・萩山 B 準優勝 青葉 B

・忘年会 (12/14) 担当 美住 スポーツセンター

2003 年

(平成 15 年)

1 月

・打ち初め (1/12)

・コート取りチーフ・担当説明会 (1/18) 約 30 名参加

◎第 31 回定期総会 (1/26) 90 名以上参加

①今まで「ガット」印刷・配布を頼んでいた業者が業務停止を宣言

②新方式によるコート予約申し込み始まる

2 月

・第 1 回市民テの未来像を考える会実行委員会

3 月

・「ガット」自主印刷・配送

4 月

・技術部合宿 軽井沢 12 名参加

5 月

・本井教室 (5/4, 5) 西武球場テニスコート 延べ 90 名参加

コーチ：本井満 坂口エミ子 柳昌子

太田杯団体戦

女子 A 優勝 恩多 A 準優勝 萩山 A

女子 B 優勝 諏訪 B 準優勝 青葉 B

男子 A 準優勝 諏訪 A

男子 B 準優勝 美住 C

6 月

河野好明氏逝去

(6/9)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 7 月 ・ 第 7 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/5-6) 150 名参加
 ・ 青葉クラブ合宿 (7/26-27) グリーン軽井沢 19 名参加
- 8 月 ・ 諏訪クラブ合宿 (8/2-3) サンピア佐久 21 名参加
 ・ 美住クラブ合宿 (8/23-24) 19 名参加
 ・ 萩山クラブ合宿 (8/23-24) サンピア佐久 27 名参加
 ・ 恩多クラブ合宿 (8/30-31) 20 名参加
 ・ 7 中草取り (8/30) 20 名参加
- 11 月 ・ 30 周年記念行事 (11/23) 記念誌配布
 キッズレッスン 50 名参加 親善試合、パーティー 140 名参加
- 12 月 ・ 美住クラブ (12/13) 総会・忘年会
 ・ 萩山クラブ (12/26) 総会・新人歓迎会・忘年会
 ・ 閲覧のためガットを一部ファイルして久米川コートに置く
 ・ 忘年会 (12/10) 市民センター 110 名参加
- 2004 年 (平成 16 年)
- 1 月 ・ 打ち初め (1/11)
 ◎第 32 回定期総会 (1/25) 81 名参加
 ・ 「クラブ会員数均等化」「市民テホームページ作成」専門委員会発足
- 3 月 ・ 第 1 回クラブ会員数均等化専門委員会 (3/20)
- 4 月 ・ コート取り説明会 (4/4)
 ・ 技術部合宿 (4/10-11) 15 名参加
- 5 月 ・ 本井教室 (5/3-4) 西武ドーム
 ・ 第一回 H P 作成専門委員会 (5/8)
 太田杯団体戦 (5/16, 23)
 男子 I 部優勝 恩多 A
 II 部優勝 美住 A 準優勝 恩多 A
 女子 II 部準優勝 青葉 B
- 7 月 ・ 第 8 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/3-7/4)
 I 部優勝 恩多 A 準優勝 美住 A
 II 部優勝 青葉 B 準優勝 諏訪 B
 III 部優勝 混合 D 準優勝 混合 E
 ・ 運営委員会へ会員数均等化委員会答申 (7/11)
 ・ 青葉クラブ合宿 (7/24-25) 軽井沢グリーンテニス 14 名参加
 ・ 諏訪クラブ合宿 (7/31-8/1) 水上高原プリンスホテル 21 名参加
- 8 月 ・ 萩山クラブ合宿 (8/21-22) 佐久ウエルサンピア 21 名参加
 ・ 美住クラブ合宿 (8/28-29) 軽井沢 30 名参加
 ・ 恩多クラブ合宿 (8/28-29) 石和「かすがい」33 名参加
- 12 月 ・ 忘年会 (12/11) 東村山カクリボウル 64 名参加
 ・ 市民テホームページアップ (暫定プロバイダ)
- 2005 年 (平成 17 年)
- 1 月 ・ 打ち初め (1/9)
- 2 月 ◎第 33 回定期総会 (1/23) 57 名参加
 会員数均等化委員会答申の総会提案ならず
 ・ 市民テニスクラブホームページアップ (確定プロバイダ)
<http://www.higashimurayamatennis.com/>
<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html> (携帯)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 3月 ・技術部森川教室 (3/20)
- 4月 ・技術部合宿 (4/9-10)
- ・久米川クレーコート、人工芝化を求める請願署名開始
- ・本井教室 (5/4-5) 国立グリーンヒル 27 名参加
- 5月 太田杯団体戦 (5/15, 22)
- 男子Ⅰ部準優勝 恩多A
- Ⅱ部優勝 萩山A 準優勝 萩山B
- 女子Ⅰ部優勝 美住A 準優勝 恩多A
- Ⅱ部優勝 美住B 準優勝 萩山B
- ・「久米川コート人工芝化を求める」請願書提出署名 721 名
- 6月 ◎臨時総会開催 (会員数均等化) (6/19) 73 名参加
- 複数案について投票の結果再編成することを決定
- 7月 ・第9回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/3)
- Ⅰ部優勝 青葉A 準優勝 美住A
- Ⅱ部優勝 青葉B 準優勝 美住B
- Ⅲ部優勝 混合B 準優勝 混合E
- ・青葉クラブ合宿 (7/24-25) 軽井沢サニービレッジ
- ・諏訪クラブ合宿 (7/30-31) 水上プリンス 18 名参加
- 8月 ・美住クラブ合宿 (8/20-21) 武尊高原ピノ・ノワール
- ・恩多クラブ合宿 (8/27-28) たつのパークホテル 39 名参加
- ・萩山クラブ合宿 (8/27-28) ウエルサンピア佐久 27 名参加
- ・「久米川クレーコート改修を求める請願」提出
- 12月 ・久米川コート改修請願東村山市議会で可決 (12/2)
- ・忘年会 (12/10) 市民センター別館 大人 88 名・子供 12 名参加
- 2006 年 (平成 18 年)
- ・本年度より新編成クラブ
- 萩山クラブ (萩山・恩多)
- 青葉クラブ (青葉・秋津)
- 栄クラブ (栄・富士見)
- 諏訪クラブ (本町・野口・諏訪・久米川)
- 美住クラブ (廻田・美住・多摩湖)
- 1月 ・打ち初め (1/8)
- ◎第 34 回定期総会 (1/22) 56 名参加
- 3月 ・技術部合宿 (3/18) フラワーヒルテニスガーデン
- 4月 ・技術部合宿 (4/8-9) 佐久サンピア
- 5月 ・本井教室 (5/3-4)
- 太田杯団体戦 (5/7, 21)
- 男子Ⅱ部優勝 青葉B 準優勝 諏訪B
- 女子Ⅰ部優勝 栄A 準優勝 萩山A
- Ⅱ部準優勝 萩山B
- 7月 ・第 10 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/17)
- Ⅰ部優勝 諏訪A 準優勝 青葉A
- Ⅱ部優勝 栄B 準優勝 諏訪B
- Ⅲ部優勝 混合B 準優勝 混合G
- ・青葉クラブ合宿 (7/29-30) 軽井沢サニービレッジ 19 名参加
- ・諏訪クラブ合宿 (7/29-30) 水上高原プリンスホテル 21 名参加

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 8月 ・ 萩山クラブ合宿 (8/19-20) 石和かすがい 39 名参加
 ・ 栄・美住クラブ合同合宿 (8/26-27) 軽井沢塩沢山荘 31 名参加
- 9月 ・ 「ガット」 ネット配信を試行 (対運営委員)
 ・ 技術部森川教室 (9/30) フラワーヒルテニスガーデン
- 12月 ・ 忘年会 (12/16) 市民センター別館 75 名参加
- 2007 年 (平成 19 年)
- 1月 ・ 打ち初め (1/14)
 ◎第 35 回定期総会 (1/21) 67 名参加
 会長 川路俊一 副会長 小武海一喜
- 3月 ・ 技術部森川教室 (3/17) 萩山フラワーテニスガーデン
- 5月 ・ 本井教室 (5/3-4) 国立グリーンヒル 13 名参加
 太田杯団体戦 (5/5, 13)
 男子Ⅰ部準優勝 栄A
 Ⅱ部優勝 栄B 準優勝 萩山C
 女子Ⅰ部準優勝 萩山A
 Ⅱ部優勝 諏訪B 準優勝 栄B
- 7月 ・ 第 11 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/16)
 Ⅰ部優勝 美住 準優勝 諏訪
 Ⅱ部優勝 栄 準優勝 萩山
 ジュニアの部も開催
 ・ 栄クラブ合宿 (7/21-22) 山中湖ニューみなみ 25 名参加
 ・ 青葉クラブ合宿 (7/28-29) グリーン軽井沢 13 名参加
- 8月 ・ 美住クラブ合宿 (8/18-19) 片品 てんとう虫 23 名参加
 ・ 諏訪クラブ合宿 (8/25-26) 菅平 ソンタック
 ・ 萩山クラブ合宿 (8/25-26) 石和 ホテルかすがい 33 名参加
- 9月 ・ 中越沖地震見舞い金拠出
 ・ 4 月 -9 月久米川コート整備実施実績 296 時間
- 12月 ・ 忘年会 (12/1) 市民センター別館
- 2008 年 (平成 20 年)
- 1月 ・ 打ち初め (1/6)
 ・ ジュニアクラス保護者説明会 (1/6)
 ◎第 36 回定期総会 (1/20)
- 2月
- 3月 ・ 久米川コート整備について体育協会と契約 (テニス連盟の下請け) (3/28)
- 4月 ・ 創立 35 周年記念行事実行委員会発足 (4/19)
- 5月 ・ 本井教室 (5/3-4) 国立グリーンヒル 59 名参加
 太田杯団体戦 (男子雨天延期, 女子 5/18)
 女子Ⅰ部準優勝 青葉A
 女子Ⅱ部優勝 青葉B 準優勝 青葉B
- 7月 ・ 青葉クラブ合宿 (7/12-13) 軽井沢ゆうすげ温泉 23 名参加
 ・ 諏訪クラブ合宿 (7/26-27) 富士山中湖ホテル 14 名参加
- 8月 ・ 栄クラブ合宿 (8/2-3) 北軽井沢良山荘 22 名参加
 ・ 萩山クラブ合宿 (8/23-24) シーサイドホテル九十九里 39 名参加
 ・ 美住クラブ合宿 (8/23-24) 群馬てんとう虫 21 名参加

9 月久米川コート改修工事
 10 月施設使用料 5 割値上

井上正氏逝去(享年 74 歳)

- 11 月
- ・ 太田杯団体戦 (男子 11/9)
 - ・ 男子Ⅰ部優勝 萩山 A 準優勝 青葉 A
 - ・ 男子Ⅱ部準優勝 美住 B
 - ・ 35 周年記念行事ジュニアレッスン・チーム対抗親善試合 (11/23)
 - ・ 忘年会 & 35 周年祝賀会 (11/29)
- 12 月
- ・ 美住クラブ (12/13) 総会・忘年会
 - ・ 萩山クラブ (12/20) 総会・新人歓迎会・忘年会
 - ・ 閲覧のため「ガット」を一部ファイルして久米川コートに置く
- 2009 年 (平成 21 年)
- 1 月
- ・ 打ち初め (1/11)
 - ・ 栄クラブ (1/10) 総会・新入会員歓迎会・新年会
 - ・ 諏訪クラブ (1/17) 総会・新入会員歓迎会・新年会
 - ・ 青葉クラブ (1/25) 総会 & 練習会・新入会員歓迎会
 - ◎第 37 回定期総会 (1/18) 会員数 347 名
 - ①コート取り担当者への通信費支払い
 - ②コート整備受託金の使途
 - ③本井教室の存続等々
 - ・ 第 1 期スクール開催
 - ・ 名札は小さくて角が丸いプラスチック製に変更
- 2 月
- ・ 萩山クラブ (2/21) 新年会
 - ・ 運営委員会は早朝テニスについて、ソフトテニスとの調整役を正式に石原さんに委嘱
 - ・ 2009 年度会員名簿郵送 (2 月末)
- 3 月
- ・ ナイター会員募集 (3/1-3/31)
 - ・ 柳泉園コート抽選 (3/3) 17 名参加
 - ・ 第 13 回柳杯実行委員会発足 (3/28)
 - ・ 3 月号ガット 各クラブの町について市 HP 掲載の一部を紹介
- 5 月
- ・ 太田杯団体戦 (男子 5/10 女子 5/17)
 - ・ 男子Ⅰ部優勝 美住 A 準優勝 萩山 A 三位 栄 A
 - ・ Ⅱ部準優勝 諏訪 A 三位 萩山 B
 - ・ 女子Ⅰ部優勝 青葉 A
 - ・ Ⅱ部優勝 青葉 C 準優勝 青葉 B
- 6 月
- ・ 第 2 期スクール開催 (6/14-)
 - ・ 普通救命講習会 (6/21) 技術部主催 39 名参加
 - ・ コート整備費使途について担当者との会合 (6/21)
 - ・ 本井教室 (6/27・28) 50 名参加 東村山西高等学校
- 7 月
- ・ チャレンジスクール (7/12) 7 中
 - ・ 青葉クラブ合宿 (7/11-12) 軽井沢 ゆうすげ温泉 26 名参加
 - ・ 諏訪クラブ合宿 (7/25-26) 河口湖 セントビレッジ
- 8 月
- ・ 萩山クラブ合宿 (8/22-23) 菅平 ソンタック 34 名参加
 - ・ 美住クラブ合宿 (8/22-23) 群馬県 ペンションてんとう虫 20 名参加
 - ・ 栄クラブ合宿 (8/29-30) 山中湖 リゾートイン愛

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 10月 ・ 2010 年スクール生募集 (10/1-10/31)
 ・ 第 3 期スクールはコート確保ができれば 10/1 から開始
- 11月 ・ ガット 11 月号特別ページ「コート整備について」掲載 (川路会長記)
 ・ 技術部他テニスクラブと対抗試合 (11/7) 立川ルーデンス
 ・ 新入会員オリエンテーション (11/7) スポーツセンター 35 名
 ・ 第 13 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (11/23) 西武ドーム
 I 部優勝 萩山 B 準優勝 諏訪 A
 II 部優勝 諏訪 D 準優勝 諏訪 C
 ・ 諏訪クラブ (11/28) 忘年テニス大会 東村山西高 夕方から忘年会
- 12月 ・ 忘年会 (12/12) 萩山クラブ担当 久米川ボウル 70 名参加
 ・ U 字溝の清掃 (12/12-19)
 ・ 萩山クラブ総会 (12/19)
 ・ 青葉クラブ総会・忘年会 (12/19)
 ・ 美住クラブ総会・忘年会 (12/26)
 ・ 打ち納め (12/27)
 ・ 公共設備予約システム変更に伴い 1/15 迄に個人登録更新手続きのため、
 今月号のガットに限り全世帯に個人用申請用紙を同封・発送 (12/13)
- 2010 年 (平成 22 年)
- 1月 ・ 年始コート (1/2-3) 西武ドーム 60 ～ 70 名参加
 ・ 打ち初め (1/10)
 ・ 第 1 期スクール (1/10-)
 ・ 諏訪クラブ総会・新年会・新入部員歓迎会 (1/16)
 ・ 栄クラブ総会・新年会・新入部員歓迎会 (1/17)
 ・ 2/15 から予約システム更改のため次期委員へ説明会実施 (1/17) コート
 取り実行委員会
 ◎第 38 回定期総会 (1/24) スポーツセンター大会議室 会員数 339 名
 ・ テニス保険加入 (あいおい損保)
 ・ 恩多コート利用についてソフトテニス連盟と打ち合わせ
- 2月 ・ コート確保のため残り 2 枠を提供できる人は会長迄連絡
- 3月 ・ コート整備、荒木田粉碎作業にご協力を！毎週土曜日 13:30-
 ・ ナイター会員募集 (3/1-31)
 ・ 3 月よりスクール開始時間変更
 ・ 前半技術部練習会、後半一般のチャレンジ練習会 (3/14)
 ・ 東村山西高等学校開放委員会 (3/17) 28 ブロックのうち市民テ 20 ブロック
 ・ 広報部 会員名簿発送
- 5月 ・ 新システムに伴い個人コマ従来の 2 コマから 4 コマヘルール変更を行う
 太田杯団体戦 (5/5, 9)
 男子 I 部優勝 美住クラブ 準優勝 萩山クラブ
 II 部優勝 諏訪クラブ
 女子 I 部優勝 青葉クラブ

- 6 月
- ・久米川コートコンディション維持のため順次塩カリ散布実施
 - ・第2期スクール(6/6-)
 - ・チャレンジスクール(第2日曜)
 - ・携帯用HP掲載方法を変更 広報部
 - ・会費検討会(8月末目途に検討結果報告)
 - ・第14回柳杯実行委員会発足
 - ・市民大会予備日確保は運営委員会では行わない
- 7 月
- ・本井教室(7/3-4) 東村山西高等学校コート
市民テ全体のイベントとして位置づけ参加費無料
技術部アシスタント等として参加
後半、本井コーチ・岡川コーチとダブルス体験
 - ・「コート整備マニュアル」作成
平日の人に負担集中、土曜日朝一に実施にすべきと認識してほしい
 - ・久米川コート草取り 次回からお茶を出すことに決定
 - ・青葉クラブ合宿(7/24-25) 軽井沢 ゆうすげ旅館
 - ・諏訪クラブ合宿(7/24-25) 河口湖 セントピレッジ
- 8 月
- ・美住クラブ合宿(8/21-22) 片品 ペンションてんとう虫
 - ・萩山クラブ合宿(8/28-29) 車山高原 スカイパークホテル
 - ・栄クラブ合宿 山中湖
 - ・来年度のコート整備引き受けは会員負担が大きいため総会で検討
- 9 月
- ・第14回柳杯ミックスダブルス団体戦(9/4) 昭和の森テニスコート 130名参加
Jrは会長責任での参加を可能にする
来年度の柳杯は9/4開催時にアンケートを取り検討
当日回収は50通 久米川コートでも回収
I部優勝 萩山クラブA 準優勝 諏訪B
II部優勝 萩山クラブC 準優勝 諏訪E
- 10 月
- ・新会員募集(10/1-)
- 11 月
- ・新会員オリエンテーション 37名(11/13) スポーツセンター大会議室 26名参加
 - ・チャレンジスクール(11/4-)
 - ・第3期スクール(11/21-)
 - ・久米川コートの倉庫の片づけと草取り実施(11/21)
 - ・「ガット11号」会費検討委員会より 川路会長宛の検討結果報告掲載。
検討資料等は別紙(HP)掲載
 - ・11/1より中学生の個人登録・申し込みが可能
一般会員と同様中学生のIDを使用する コート取り実行委員会
 - ・忘年会(11/27) 栄クラブ担当 サンパルネ
ディナーショー<洒落たジャズの生演奏><ゲーム>

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

- 12月
- ・「ガット 12月号」2010年柳杯アンケート結果掲載 73枚回収
 - ・コート取り委員会からの資料「テニスコートの利用について」会員への周知徹底を図るため名簿に組み入れる
 - ・諏訪クラブ忘年会(12/4)
 - ・チャレンジスクール(12/12)
 - ・美住クラブ総会・忘年会(12/18)
 - ・スクール生対象イベント(12/23午後)西武ドーム
- 2011年 (平成23年)
- 1月
- ・年始コート(1/2-3)西武ドーム
 - ・打ち初め(1/9)
 - ・コート取り実行委員会(1/16)新・旧委員の引き継ぎおよび打ち合わせ
 - ・青葉クラブ(1/15)総会・新年会および新入会員歓迎会
 - ・栄クラブ(1/15)総会・新年会
 - ・諏訪クラブ(1/15)総会・新年会
 - ・萩山クラブ(1/22)総会・新年会
 - ◎第39回定期総会(1/23)スポーツセンター大会議室 51名参加 会員数329名
 - 運営委員会から提案事項(規約の一部変更)
 - 第19条第4項によりコート取り実行委員会を「コート取り部」とする。
- 2月
- ・チャレンジスクール(2/13) 7中
 - ・臨時技術部会開催(2/20)
 - 本井教室・スクールイベントについて
- 3月
- ・ナイター会員募集(3/1-31)
 - ・コート取り部第1回打ち合わせ(3/12)
 - ・チャレンジスクール(3/13) 7中
 - ・久米川コート整備受託(ソフトテニス連盟)に関する引き継ぎ実施(3/16)
 - ・第1期スクールは東日本大震災のため中止
 - ・東村山市体育協会は3/11の東日本大震災のため春季大会中止を決定(3/13)
 - ・＜緊急連絡＞市民テは連盟を通じて募金活動に参加する
 - 募金日程 春季市民大会参加費の返金処理日に募金箱設置
 - 3/27(クラブ室)・4/3(研修室)
 - ・第15回柳杯実行委員会発足(3/27)
- 4月
- ・節電のため4/1以降ナイターコート開放中止(市HP)
 - ・コート整備費から東日本大震災の義援金35万円を体育協会を通じて拠出(4/18)
- 5月
- ・5/1より当面の間(市HPより)恩多コートナイター利用は土・日・祝日21時、平日19時まで
 - ・コート予約データのため久米川コート出欠簿の記帳依頼(名前・男女・クラブ名)
 - ・3/11東日本大震災のため太田杯中止

長廻隆志氏逝去(12/23)

- 6 月
- ・ガット 6 月号 市民テ出欠簿集計 2011/1/2-5/4
開催日数 30 平均出席者 32.5 名 男 19.5 名 女 13.1 名
 - ・第 2 期スクール開催 (6/5)
 - ・イベント企画委員会 (6/18) 全体合宿について全員にアンケート実施
- 7 月
- ・本井教室 (7/2) 45 名参加 (7/3) 35 名参加 技術部協力 東村山西高等学校
 - ・第 15 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/17) 西武ドーム
I 部優勝 萩山クラブ A 準優勝 青葉クラブ A
II 部優勝 萩山クラブ B 準優勝 萩山クラブ F
 - ・青葉クラブ合宿 (7/23-24) 軽井沢 サニービレッジ
 - ・諏訪クラブ合宿 (7/30-31) 河口湖 セントビレッジ
- 8 月
- ・栄クラブ合宿中止
 - ・東久留米市と交流会 (8/3) 西武ドーム 技術部
 - ・萩山クラブ合宿 (8/20-21) 九十九里 シーサイドホテル
 - ・美住クラブ合宿 (8/20-21) 片品 てんとう虫
- 10 月
- ・新入会員募集案内 (10/1-10/31)
- 11 月
- ・11 月中に個人 ID カードの更新手続きをする
 - ・新入会員オリエンテーション (11/12) スポーツセンター 42 名参加
 - ・青葉クラブ (11/26) 総会
 - ・忘年会 (11/26) 青葉クラブ担当 久米川ボウリング場 53 名参加
- 12 月
- ・ガット 12 月号「全体合宿」の検討経緯と結果について イベント企画委員会報告掲載 (6/18, 9/10, 11/12) 時期尚早との結論 川路会長記
 - ・スクール生イベント (12/3)
 - ・第 3 期スクール開催 (12/4-)
 - ・管理担当引き継ぎ会開催 (12/21) コート取り部
 - ・萩山クラブ・諏訪クラブ忘年イベント合同開催 (12/17)
 - ・萩山クラブ (12/17) 忘年会・歓迎会
 - ・諏訪クラブ (12/17) 忘年会
- 2012 年 (平成 24 年)
- 1 月
- ・年始コート (1/2・3) 西武ドーム
 - ・打ち初め (1/8)
 - ・第 1 期スクール開始 (1/8-)
 - ・第 1 回コート取り部会 (1/15)
 - ・栄クラブ (1/14) 総会・新年会
 - ・諏訪クラブ (1/14) 総会・新年会
 - ・美住クラブ (1/14) 総会・新年会
 - ・萩山クラブ (1/21) 総会・新年会
 - ◎第 40 回定期総会 (1/22) スポーツセンター大会議室 会員数 330 名
- 2 月
- ・ガット 2 月号 市民テ出欠簿集計 (2011/1/2 - 12/25)
活動日数 80 日 総参加数 2223 名 31.5 名 / 日
男子延参加数 1383 名 19.5 名 / 日
女子延参加数 840 名 11.0 名 / 日
 - ・青葉クラブ (2/26) 新入会員歓迎会
 - ・「柳杯について」2 月、3 月の運営委員会で検討 (2/12)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

3 月

・「柳杯について」 結論

今年の柳杯は例年通りクラブ対抗ミックスダブルス戦と決定

8 月以降に課題を踏まえて試合形式を検討

・東村山西高等学校開放調整 (3/14) 市民テ割当 9 ブロック

・第 1 回 40 周年記念誌編集委員会発足 (3/17) : 毎月第 3 週土曜日開催

・第 16 回柳杯実行委員会発足 大会実施後アンケート調査を実施予定

・7 中施設使用申請書提出

4 月

・ホームページでクラブ紹介の更新を 5 月にアップしたい。各クラブ紹介文を提出依頼

5 月

・各クラブ会員数不均衡であるため、役割分担に不均衡が生じている。

是正すべく検討する。会員も会長に意見を届けてほしい (5/6)

萩山 82、青葉 57、栄 44、諏訪 72、美住 48

太田杯団体戦 (男子 5/13、女子 5/20) 久米川コート

男子Ⅱ部優勝 諏訪 B

女子Ⅱ部優勝 青葉 B 準優勝 青葉 C

前会長松井さんを偲んで喪章をつける

6 月

・ガット 6 月号「前松井会長を偲んで」追悼文 川路会長、藤岡

・第 2 期スクール開催 (6/3-)

7 月

・本井教室 (7/7) 41 名参加 (7/8) 46 名参加 東村山西高等学校

・ガット 7 月号 柳杯運営方法アンケート用紙同封

100%回収を目指す 柳杯当日提出、または久米川コート回収箱 (7/31)

・第 16 回柳杯ミックスダブルス団体戦 (7/16) 西武ドーム

A リーグ優勝 萩山クラブ 準優勝 諏訪クラブ

B リーグ優勝 萩山クラブ 準優勝 青葉クラブ

・40 周年記念誌編集委員会は 20-40 代の若い委員 5 名参加追加選出

・各クラブ会員数不均衡による役割分担不均衡について

原則として会員数の格差が 1.5 倍になった時、1 増 1 減の方向で分担の人数是正をする。

8 月

・7 中草取り (8/25) 16 名参加

・栄クラブと美住クラブ合同合宿 (8/18-19) 群馬県川路村 ペンション高鳥 25 名参加

・萩山クラブ合宿 (8/25-26) 山中湖 32 名参加

・青葉クラブ合宿 (8/25-26) 山中湖 リゾートイン愛 11 名参加

・恩多コートのロッカー購入設置

9 月

・柳杯アンケート回収 (9/30 までに集計、最終的方向を示す準備中)

10 月

・40 周年記念誌編集委員会より

全会員の顔写真と一言メッセージの撮影。テーマ「私にとっての市民テ」

・40 周年記念イベント各クラブ実行委員選出

・来年度は記念イベントのみ実施。柳杯は再来年度実施と決定

松井貞二 (前会長) 逝去
(5/7)

中川栄氏逝去 (9/3)

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

記 事

11 月

- ・新入会員オリエンテーション（11/4）スポーツセンター大会議室
- ・記念誌は記念イベントを掲載するため忘年会に配布
- ・第1回40周年記念イベント打ち合わせ（11/17）スポーツセンター研修室
- ・第3期スクール開催（11/18-12/24）
- ・諏訪クラブ合宿（11/23-24）サンピア沼津
- ・西高の団体登録について

現状は3団体で26枠を三分割している。全体のコート利用状況と駐車
場を利用できないことを考え、現状通り市民テ一つで登録する

12 月

- ・忘年会（12/2）美住クラブ担当 市民センター 2F
- ・萩山クラブ（12/8）忘年会
- ・青葉クラブ（12/8）総会・忘年会
- ・諏訪クラブ（12/8）忘年会
- ・臨時運営委員会「総会に向けて」（12/16）
- クラブ再編について 1年かけて検討し2014年初めには新たな方針で
スタートする
- ・スクールイベント（12/9）

2013 年

（平成 25 年）

1 月

- ・年始コート（1/2-3）西武ドーム
- ・打ち初め（1/6）
- ・萩山クラブ（1/12）総会・新年会
- ・青葉クラブ（1/12）新年会
- ・栄クラブ（1/12）総会・新年会
- ・諏訪クラブ（1/12）総会・新年会
- ・美住クラブ（1/12）総会・新年会
- ・コート取り担当者説明会（1/14）
- ◎第41回定期総会（1/20）スポーツセンター大会議室 46名参加
会員数 333 名
- ・赤字回避のため26年度から緊縮予算に切り替える方向で予算内容を検討

2 月

- ・40周年イベント実行委員会報告（2/3）：日程7/14（日）雨天中止
- 記念パーティーは忘年会の中で40周年の祝賀の内容を組み込む
- ・クラブ編成について

委員会を立ちあげる 2014年から新しいクラブ組織他

3 月

- ・ナイター会員募集（3/9 締切）19名登録
- ・7中施設団体使用申請書提出（3/10）
- ・第1回クラブ再編委員会（3/17）
- クラブ再編に関する臨時総会開催日を9/29に決定
- ・東村山西高等学校利用打ち合わせ会（3/18）25年度11ブロック確保

4 月

- ・会員名簿送付

逸見淳氏逝去（3/26）

年 月

市民テニスクラブのあゆみ

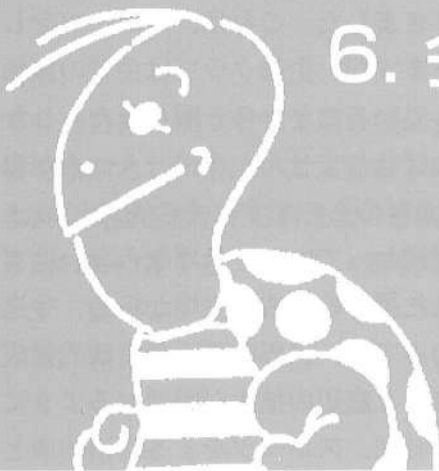
記 事

- 5 月
- ・40 周年記念イベント実行委員会報告
 - 7/14 8 時 30 分 -17 時 運動公園テニスコート 団体戦
 - 参加資格 市民テ会員（ジュニア・スクール生大歓迎！）
 - ・東村山高等学校 学校開放委員会（5/7）
 - 全 20 コマ中市民テ 14 コマ割当
- 6 月
- ・第 2 期スクール開催（6/2-）
 - 太田杯団体戦（男子 6/29, 女子 6/23）
 - 男子Ⅱ部 三位 青葉 B
 - 女子Ⅰ部準優勝 青葉 A 三位 諏訪・萩山
 - Ⅱ部準優勝 栄 A
- 7 月
- ・本井教室 7/6 36 名参加 7/7 24 名参加 東村山西高等学校
 - 技術部員サポート
 - ・40 周年記念イベント開催（7/14）124 名参加 運動公園テニスコート
 - ・クラブ再編に関する答申案を運営委員会へ提出（7/15）
- 8 月
- ・クラブ再編決定後スムーズな会計処理を行いたいため、会費振り込みは 9 月中に！ご協力を。
- 9 月
- ・久米川コート劣悪コンディションの対応。
 - 要望書作成（32 ページ）
 - 今井硬庭連理事長と川路会長で（不明）へ申し入れ（9/6）
 - ・コート代・ボール代の先読み予算での超過可能性について検討
 - ◎クラブ再編臨時総会（9/29）

40th

東村山
市民テニスクラブ
協賛会

6. 会 則



東村山市民テニスクラブ協議会 会則

前 文

市民スポーツクラブの歴史の浅い日本で、広く市民に門戸を開いた私たちの市民テニスクラブが、市民の間に深く根ざすことは、今日とりわけ意義深いといえます。市民が等しくスポーツを行う権利は、生存権の保障された民主憲法のもとで当然保障されねばなりません。私たちの市民テニスクラブは、テニスの基礎技術の修得を柱に、その応用も追求する場であると同時に、テニスを通じての健康保持とその増進の場であり、そしてコミュニティーづくりの場であるといえます。

戦前は、日本の「する」スポーツは軍国主義の教育の場として、主に学校教育に位置づけられていました。戦後は、軍国主義の直接の影響はなくなったとはいえ、相変わらず日の丸至上主義で規定されてきました。

スポーツの場としては、以前からの学校クラブ以外に、近年、企業クラブ、それにレジャー産業としての民営施設ないしはそれに付属するクラブが発展してきました。これは、スポーツをしたいという要求が市民の中に増えてきたことの一定の反映ではありますが、企業クラブは企業の宣伝効果を、民営施設ないしはその付属クラブは営利を直接の目的としていることから、限られた人しか利用できず、大多数の市民の要求を満たすには誠に不十分といわねばなりません。市民一人一人が自らの健康を自ら守る自衛手段として、スポーツを行う権利は本来固有のものです。そのためには、「いつでも」「どこでも」「だれでも」がスポーツのできる環境が備わっていなければならないはずです。環境の整備は本来、国や地方自治体の仕事です。また、秀れた選手の育成の立場からも、今迄の極端な精神主義やスパルタ式しごき、それに少数者の英才教育のみでは、世界的選手の持続的養成は不可能だとの認識も一般化され始め、スポーツの総合的な建て直しと底辺の拡大が叫ばれるようになってきました。とはいえ、スポーツをする場所、スポーツをする時間、スポーツをする経済的ゆとり、そしてスポーツの効果的な上達に欠かせない指導者等々が極めて不足しているのが実情です。ただあるのは、スポーツをしたいと願う多数の市民です。

私たちのクラブは、テニスをやりたいという自らの要求を満たすために、自らが手を取り合ってその実現を図っていく自主的なクラブです。そして皆で決めたことは、個々の事情を考慮して皆で実行する民主的なクラブです。コートでの技術練習では、全員が基礎技術を修得できるよう配慮します。技術の指導にあたっては、より上手なクラブ員がその任につきます。また指導者を意識的に育てていきます。

指導する人も指導される人も、効果的な技術練習ができるよう知恵を出し合い協力し合います。全員は一人のために、一人は全員のために協力します。これは、単に技術練習にあてはまるだけでなく、クラブ運営やクラブづくりにもあてはまります。そしてこれらを通して、クラブ員相互の親睦と理解を深めていきます。それだけにとどまることなく、市民のテニスをやりたいという要求には積極的に応えていきます。テニスをやりたいという要求の障害になるものに対しては、クラブ員全員が知恵と力を出し合うだけでなく、広く市民とも連帯してその除去に努めます。

私たちは、以上の内容の充実を実践をもって図っていく新しいスポーツマン精神を追求する集団の一員として、以下の会則と細則にのっとり活動します。

(名称と構成)

第1条 本会は東村山市民テニスクラブ協議会（略称「市民テニス協」）と称し、市内の各地域クラブで構成する。

第2条 本会の事務所は会長宅に置く。

(目的および事業)

第3条 本会は硬式テニスの技術の向上とその普及ならびに、会員の健康保持・増進とスポーツマン精神の涵養を図り、併せて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。またテニス大会や講習会へ積極的に参加する。

1. 定期的な技術練習
2. 試合ならびに技術の記録・分析・評価・学習会
3. 各種テニス大会
4. 各種テニス講習会
5. 機関紙「ガット」の発行
6. その他本会の目的達成に必要な事業

(会員の資格)

第5条 本会の会員は前文そして第3条の目的に賛同する東村山市在住者、既に在籍する者とその家族を原則とし、市民テニス協傘下の各クラブで承認された者とする。

第6条 本会に入会を希望する者は次の事項を明記し各クラブ会長宛に入会金と1年分の会費を添えて申し込むものとする。ただし、第10条による名誉会長・相談役については、その必要はない。

1. 氏 名
2. 性 別
3. 生年月日
4. 住 所
5. 電話番号
6. テニス歴（硬式・軟式）

(脱 会)

第7条 本人の申し出により所属クラブの会長の承認を得ていつでも脱会することができる。また連絡なしに1ヶ年の会費を前納しなかった場合は、原則として脱会したものとみなす。脱会に当たっては、前納した入会金、会費は返済しないものとする。

(休会と復帰)

第8条 本人の申し出により所属クラブ会長の承認のもとに休会することができる。復帰する場合は、6ヶ月を単位として7月から復帰でき、事前に所属クラブの会長に通知しなければならない。休会中の会費と会務は免除され、復帰に際しては、入会金は必要なく、当クラブ基準のテニス保険に個人負担で加入の上、6ヶ月の会費を納入するものとする。

(会員の所属クラブ)

第9条 各会員は原則的には居住地区別に区分されたクラブに籍を置くものとする。

(役員)

第10条 本会には次の役員を置く。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 名誉会長・相談役 | 若干名 |
| 2. 会長 | 1名 |
| 3. 副会長 | 若干名 |
| 4. 事務局長 | 1名 |
| 5. 事務局員 | 若干名(コート取りの取りまとめ1名を含む) |
| 6. 会計部長、副部長 | 各1名 |
| 7. 技術部長 | 1名 |
| 8. 広報部長 | 1名 |
| 9. 会計監査 | 2名 |
| 10. コート取部長 | 1名 |

なお、副会長と事務局員は運営委員会で必要と認めた場合置くことができるものとする。

(役員の選出方法)

第11条 各役員は運営委員会で互選し、総会の承認を必要とする。ただし運営委員は各クラブから推薦するものとする。

(役員の任務)

第12条 本会の役員の任務は次の通りとする。

1. 会長は会を代表し会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは職務を代行する。
3. 事務局長は運営委員会を代表し、会務を執行する。
4. 事務局員は事務局長の実務を分担する。
5. 会計部長は歳入・歳出、予算の執行を管理する。
6. 技術部長は技術部の任務を統括する。
7. 広報部長は機関紙「ガット」の企画、編集をはじめ広報その他の任務を統括する。

(役員の任期)

第13条 本会の役員の任期は何れも1年とする。ただし再任を妨げない。役員中欠員を生じた場合、運営委員会で必要と認めたとき、第11条に基づいてこれを補充することができる。ただし、任期は前任者の残任期間とする。役員は任期満了後でも後任者の就任があるまではその職務を行う。

(会議)

第14条 本会の会議は次の五種とする。

1. 総会
2. 運営委員会
3. 技術部会

4. 広報部会

5. コート取部会

第15条 運営委員会は第10条の2～8の役員と傘下各クラブの代表者より構成され、会長がこれを召集する。また運営委員の半数以上が必要と認めたときには、会長はこれを召集しなければならない。

第16条 技術部会は技術部長と各クラブの技術部員とで構成され、部長がこれを召集する。また部員の過半数が必要と認めたときには、部長はこれを召集しなければならない。

第17条 広報部会は広報部長と各クラブの広報部員とで構成され、部長がこれを召集する。また部員の過半数が必要と認めたときには、部長はこれを召集しなければならない。

第18条 コート取部会はコート取部長と各クラブのコート取部員とで構成され部長がこれを召集する。また部員の過半数が必要と認めたときには、部長はこれを召集しなければならない。

第19条 運営委員会の任務は、次の通りとする。

1. 本会の目的達成に必要な事項の審議ならびに、総会で決定された事項の具体化と実行
2. 役員の選出
3. 東村山市在住者以外の会員の承認
4. 会員のクラブ分け
5. クラブの編成と再編成
6. 各専門部の掌握
7. その他緊急な会務の処理

第20条 総会に付議しなければならない事項は次の通りとする。

1. 役員の承認
2. 事業計画および重要な会務
3. 歳入・歳出、予算・決算に関する事項
4. 規約の変更に関する事項
5. 他団体への加盟とそれからの脱退
6. その他必要な事項

第21条 運営委員会、総会における決議は出席者の過半数で決する。

第22条 総会は毎年度末に開催する。

(経 費)

第23条 本会の経費は入会金、会費、寄付金およびその他の収入をもってこれにあてる。入会金、会費は別に定める。

第24条 本会の事業によっては実費を徴収することができる。

第25条 本会の会計年度は1月に始まり12月に終了する。

〔付 則〕

1. 第23条による費用は次の通りとする。

(1) 一般会員	(1 年)	17,000円
(2) 家族会員	(1 年)	11,000円
(3) 家族ジュニア会員	(1 年)	6,000円
(4) 単独ジュニア会員	(1 年)	17,000円
(5) 休部会員	(1 年)	2,000円
(6) 入会金	(1 年)	3,000円

ただし、ジュニア会員とは1月1日現在の学年が小4から中3の会員を指す。なお、単独ジュニア会員の募集はしない。

2. 弔慰金に関しては、次の通りとする。

市民テニス協会員（本人）死亡の場合

香典料・・・・・・1万円 （会費より支払）

請求者・・・・・・本人所属するクラブ会長とする。

3. 市民テニス協傘下の各クラブにおける役員構成、運営等は本会則に準ずるものとする。

4. クラブ再編成の検討は、次の場合により実施する。

クラブ会員数に2倍以上のひらきが生じたとき、または、クラブ会員数のアンバランス等により、クラブ運営の支障が生じている旨、クラブ会長より申し入れがあったとき。

5. 本会則は1984年 1月 5日より実施する。

6. 1987年 2月15日 一部改定

7. 1989年 2月19日 一部改定

8. 1995年 1月29日 一部改定

9. 1997年 1月26日 一部改定

10. 2000年 1月23日 一部改定

11. 2005年 6月19日 臨時総会をへて一部改正

12. 2011年 1月23日 一部改定

40th

東村山
市民テニスクラブ
協賛会

7. 編集後記





40周年記念イベント実行委員会

石原 啓五 (諏訪クラブ)
井上 美子 (美住クラブ)
川添 勝 (萩山クラブ)
森 小百合 (萩山クラブ)
杉本 勝 (青葉クラブ)
岩切 加代子 (青葉クラブ)
飯川 奈津枝 (栄クラブ)
石原 滋樹 (栄クラブ)
橘 治美 (諏訪クラブ)
横井 満子 (美住クラブ)
渡辺 章 (青葉クラブ)

40周年記念誌編集委員

小池 邦彦 (青葉クラブ)
桑原 まさ子 (栄クラブ)
小檜山 隆 (萩山クラブ)
太田 玲子 (青葉クラブ)
河嶋 ちよ子 (萩山クラブ)
谷古宇 勝美 (栄クラブ)
小松 学 (諏訪クラブ)
清水 博子 (諏訪クラブ)
浅田 元弘 (美住クラブ)
手塚 なおみ (美住クラブ)
石原 啓五 (諏訪クラブ)
野口 和裕 (青葉クラブ)
高木 太輔 (萩山クラブ)
河野 好太郎 (栄クラブ)
渡辺 章 (青葉クラブ)
大竹 正史 (萩山クラブ)
藤岡 信照 (青葉クラブ)
阿萬 哲大 (青葉クラブ)
松井 貞二 (萩山クラブ)

編集後記



10年にいっぺんくらいは、来た道、振り返ってもええのんちゃうか。

振り返るだけかい。もっと前向きにいきやなあかんでえ。おもしろいこと、まだまだ、一杯あるで、これからも。

こいけくにひこ



寄稿文〇〇は、私の琴線をゆさぶった。若い人達の温かく力強い思いに感動し、そこに市民テ40年の歩みと成長を確実にみた。歴史が育んだ組織力のすごさの一つだ。社会体育に貢献している。50周年にはまた、どんな感動があるのだろう。役立たずとはいえ、市民テへの愛を深めた編集作業でした。

桑原まさ子



今回の記念誌は全員参加をテーマに作成しました。それぞれの市民テに対する思いや関わり方などが垣間見える仕上がりだと思っています。ここに40周年を通過点とし、50周年への新たな挑戦が始まりました！ドラマチックにアグレッシブにテニスライフを楽しんで行こうじゃありませんか！

RYU



10年前、30年のあゆみは何気なく頂きましたが、今回40年のあゆみの編集委員活動をして大変さがわかりました。最初の活動、各クラブの写真撮影はすぐに終わると思って高をくくっていましたが、約10ヶ月かかりました。なかなか思うようには行かなかったです。その他の活動については、あまりお手伝いは無かったかな？40周年の編集委員の皆さまお疲れ様でした。また、市民テ40周年おめでとうございます。

小松学



写真集めが大変でした。最初はメールを送っても返信なかなか来なかったり、撮影会を開いても思ったほど人が集まらなかったりでさんざん。

でも最後は皆さんのご協力でなんとかまとまりました（ご協力いただいた方に感謝）。クラブの会長さんはしめ役員さんのご苦労が身にしました写真集めでした。

谷古宇勝美



私の主な仕事は、青葉クラブ会員皆様の写真撮影とコメントを頂くことでした。

お蔭様でほとんどの方の顔と名前が一致するようになりましたが、クラブ再編でまたわからなくなりそうです。でもわからない時は、記念誌を見ればいいですね。

太田玲子



ベテランのおじさん、おばさんや若手の面々が2年近くかけて、かんかんがくがく、みなさん楽しみながらつくりました。ひと味違う記念誌になりました。ご覧ください。あまんとつお



40周年記念誌の編纂に携わり色々と思い出しながら、また、新たに歴史を勉強なおしたりと、市民テの組織力の凄さを感じました。

50周年記念誌が、どのようなメンバーで、どんな記念誌が……楽しみです。

浅田元弘

OTK 45

40周年記念誌に関わった全ての人の協力で素敵な記念誌が出来ました。特に実行委員の人達はテニスする時間を惜しんでとても頑張ってくれたことに感謝m(_ _)m。そして、10年後には僕は「OTK55」になっています。来年度の総会で否決されなければ次期事務局長かも。大竹正史



30周年に続いて40周年の編集にも携われた事はとても嬉しく思いました。次の50周年もとは思いますが…。残念な事は同じ顧問として参加される予定の松井貞二さんが完成を見られなかったことです。

藤岡信照



市民テ40年の歴史が先人の多くの方々の努力のたまものと改めて感じました。今回は二世の寄稿文に市民テの未来を感じ嬉しく思います。編集の一員として参加させて頂きありがとうございました。記念誌が手元に届くのを楽しみにしています。

河嶋ちよ子



40周年記念誌作成にあたり、これまでの市民テの歴史や支えてこられた方について勉強させていただきながらですがお手伝い致しました。私は市民テに入り7年たちましたがギモンに思っていたことや各部会の活動内容についてより詳しく知ることができました。市民テをもっともっとみじかに感じられる記念誌になったと思います。

高木太輔



役員に無理矢理おしつけられました。仕事が冬の商売なので9～3月は土曜日も出勤で土曜日の集会はむずかしかった。そんなわけで全く何のお役にも立たず申し訳なく思っています。

手塚なほみ



途中からの参加なので、あまり役には立ちませんでしたが、自分自身にとって勉強になりました。次の50周年が楽しみです。ありがとうございました。

河野好太郎



40周年記念誌に携わって自分が想像していたよりも大変でした。仕上がりを見て嬉しさが10倍！

清水博子



40年のあゆみ

2013年12月1日 発行

頒価 1,000円

編集 市民テ40周年記念誌編集委員会

発行 東村山市民テニスクラブ協議会

会長 川路俊一

印刷 株式会社雄進プラス

162-0041

新宿区早稲田鶴巻町110玉井企画ビル6F



東村山市民テニスクラブ協議会